

# 第4次小川町生涯学習推進計画



令和8年3月  
埼玉県小川町



## あいさつ

小川町では平成28年に「第3次小川町生涯学習推進計画」を策定し、多様な学習活動の環境づくりや、学習活動の促進、学習を通じたまちづくりの推進に取り組んでまいりました。この間、私達を取り巻く環境は、デジタル化の進展やコミュニティの希薄化、価値観の多様化など、大きく変化しています。



こうした中、「第3次小川町生涯学習推進計画」が令和8年3月に終期を迎えることから、町の最上位計画である「小川町第6次総合振興計画」に合わせ、この「第4次小川町生涯学習推進計画」を策定いたしました。

生涯学習とは、人々が生涯のあらゆる時期に、様々な場所や方法で自主的に行う学習の総称です。また、現代的な生涯学習に求められるものは、「知識の習得」のみならず、「社会変化への適応」や「社会とのつながりづくり」へと変容しています。

本計画では、「学びにつながるきっかけづくり」、「多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実」、「学びを活かせる仕組みづくり」、「学びを豊かにする環境づくり」、これら4つの分野別取組を柱としています。

これらの取組を着実に実施し、町民一人ひとりが、豊かな学びを通じて自己の成長を実感し、人々がつながり、学びを活かして支え合える地域社会の礎となるよう計画を推進してまいります。町民の皆様には、行政と一体となり生涯学習を推進していただきますよう、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画策定にあたり、貴重なご意見をいただきました生涯学習推進計画策定会議委員の皆様をはじめとする多くの皆様に、心より感謝を申し上げます。

令和8年3月

小川町長

島田康弘



# 目次

第1章 計画の概要	1
1 計画策定の趣旨	1
2 計画の位置付け	2
3 計画の期間	2
第2章 計画を取り巻く現状	3
1 時代潮流	3
2 国の動向	4
3 県の動向	5
4 小川町の状況	6
第3章 町民・団体アンケート調査結果	10
1 調査の概要	10
2 調査結果	10
第4章 計画の方向性	16
1 基本理念	16
2 基本施策	16
3 町民・団体アンケートを踏まえた分野別取組	18
4 施策体系	20
第5章 分野別取組（前期基本計画）	22
分野別取組1 学びにつながるきっかけづくり	22
分野別取組2 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実	25
分野別取組3 学びを活かせる仕組みづくり	28
分野別取組4 学びを豊かにする環境づくり	31
第6章 計画の推進に向けて	35
1 生涯学習推進体制	35
2 協働による計画の推進	35
3 進捗管理と評価	36
第7章 資料編	37
1 アンケート調査結果	37
2 小川町生涯学習推進計画策定会議委員名簿	69



# 第1章 計画の概要

## 1 計画策定の趣旨

近年、少子高齢化や核家族化の進展とともに、地域コミュニティにおける交流の希薄化が進むなど、社会環境が変化し、一方で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や世界情勢の不安定化など、予測が困難な時代となっています。こうした中、インターネットやSNS<sup>※1</sup>の普及等による情報化社会の進展等により、ライフスタイルが劇的に変化し、生涯学習のニーズは、複雑化・高度化しています。これらに対応し、誰もが生涯にわたり学び続けることができ、学んだことを活かして活躍できる生涯学習社会を実現することが重要です。

教育基本法第3条では、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」とする生涯学習の理念が示されています。また、同法第12条には、「個人の要望」と並んで「社会の要請」に応える社会教育を国及び地方公共団体が奨励しなければならない旨の規定があります。

国は、第11期中央教育審議会生涯学習分科会において生涯学習及び社会教育の現状や果たしうる役割、振興方策等が議論され、令和5年6月に「第4期教育振興基本計画」が閣議決定され、生涯学習及び社会教育の目標等を示しました。

埼玉県では、県民が、いつでも、どこでも学ぶことができ、その成果を生かし、生涯にわたり活躍し続けられる社会の実現を図るため、生涯学習を推進するための方針を定める「埼玉県生涯学習推進方針」を令和5年3月に策定しました。

小川町では、生涯学習に関する施策を総合的・効果的に推進するための指針である「第3次小川町生涯学習推進計画（後期基本計画）」を策定し、和紙文化・史跡・自然等の地域資源を活用した講座や体験型学習・交流の拡充、「おがわ学」を開始するなど、町民の学習活動を通じたまちづくりを推進してきました。

これらを踏まえ、町民一人ひとりが、身近な場所で、学習活動に取り組むことができる機会の充実に努めるほか、学習の成果が広く活かせる仕組みを構築するとともに、情報提供や施設整備など、学習支援体制の充実に図り、学びを通じた住民相互の交流活動や得られた知識を地域社会に還元できる生涯学習を推進するため、生涯学習、社会教育の施策の指針となる「第4次小川町生涯学習推進計画」を策定するものです。

なお、生涯学習とは、一般には人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習の意味で用いられ、広範にわたることから「第4次小川町生涯学習推進計画」では、「小川町教育行政重点施策」に基づき、生涯学習、社会教育分野の推進を基本とした計画とします。

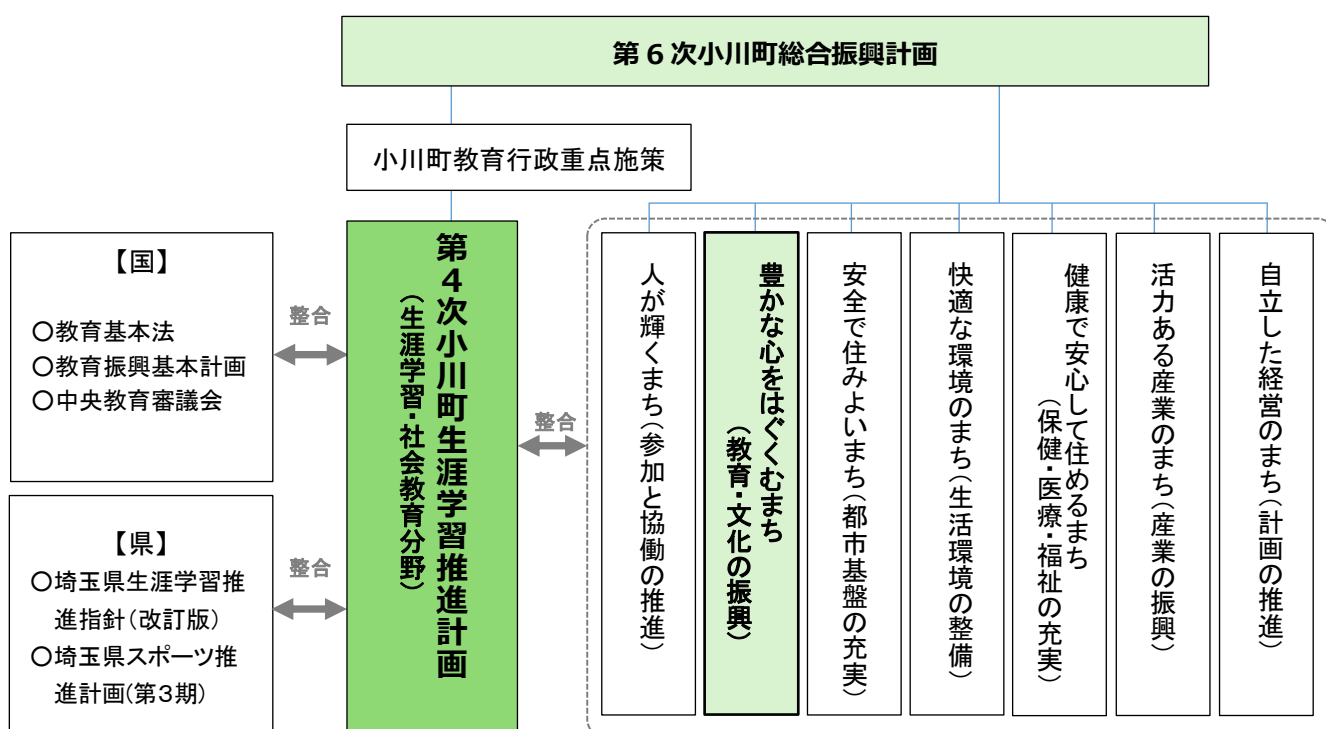
※1 SNS：ソーシャルネットワーキングサービス。学習情報の周知、参加者募集、活動報告、受講者コミュニティ形成に有効な発信手段

## 2 計画の位置付け

教育基本法第3条では、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と生涯学習の理念を示しています。

本計画は、上位計画である総合振興計画の個別計画に位置付けられ、「生涯学習」の着実な推進を図るものであり、小川町の生涯学習、社会教育の施策の方向性を示すものとなります。

なお、計画の策定にあたっては、「小川町教育行政重点施策」はもとより、国の「教育振興基本計画」や「埼玉県生涯学習推進指針（改訂版）」との整合を図ります。



## 3 計画の期間

計画の期間は、令和8年度から新たに開始する「小川町第6次総合振興計画」の計画期間との整合を図り、令和8年度から令和17年度までの10年間とします。

## 第2章 計画を取り巻く現状

### 1 時代潮流

#### (1) 人生100年時代の到来

出生率の低下や平均寿命の延伸などにより、少子高齢化が急速に進展しています。

人生100年時代と言われる中で、長い人生をより充実させるためには、様々なライフステージごとに生涯にわたる多様な学習の機会が重要です。

また、社会の構造的な変容に対応するため、社会人の学び直しをはじめとする学習の必要性が増大しています。人生100年時代においては、全ての人が元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会をつくる必要があります。特に、社会的な課題の解決に向けて生活基盤を確かなものとする上で「学校教育以外の学び」の重要性が再認識されています。

#### (2) 情報化の急速な進展

新型コロナウイルス感染症の流行等により、人々の学習環境やコミュニケーション環境に大きく変化が生じました。デジタル社会の進展への対応の必要性が増大し、デジタルデバイド<sup>※2</sup>の解消や、国民全体のデジタルリテラシー<sup>※3</sup>向上が喫緊の課題となっています。

これらの情報化の急激な進展により、従来の教室や書籍での学びに加え、オンラインでの学習や、モバイルアプリ等を活用した学習が進んでいます。

#### (3) 社会やライフスタイルの変化等

家族の在り方の変化や生活様式の多様化などによる地域社会における人と人とのつながりの希薄化は、家庭や地域での教育力の低下につながっています。個人の学びを地域に還元し、交流を通じて相互に学び合う機会を創出することや、地域、学校、行政が協力し、地域の歴史・文化を次世代等に伝えていくための取組の強化が必要です。

また、貧困家庭の子ども、外国人、障がい者やその家族、社会的に孤立しがちな若者や高齢者などを取り巻く課題が顕在化し、ニーズも多様になっています。こうした中、立場や事情にかかわらず、だれもが地域で支え合いながら安心して暮らせる社会が求められており、その実現を支える地域コミュニティが一層重要とされています。

<sup>※2</sup> デジタルデバイド：インターネットやパソコンのような情報通信技術を使える人と使えない人の間に生まれる差、つまり情報格差のこと

<sup>※3</sup> デジタルリテラシー：デジタル機器や情報を安全・効果的に扱う基礎力。情報検索、オンライン受講、情報モラル等を含む

## (4) 持続可能な開発目標 (SDGs) の実現

持続可能な開発目標 (SDGs : Sustainable Development Goals) とは、平成 27 (2015) 年 9 月の国連サミットにおいて、全会一致で採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に掲載された世界共通の目標で、健康や教育、経済成長、気候変動に関するものなど、多岐にわたる 17 の目標と 169 のターゲットが設定されており、令和 12 (2030) 年までの達成を目指すものです。

## 2 国の動向

### ★「第 4 期教育振興基本計画」の閣議決定 (令和 5 年 6 月)

教育振興基本計画は、教育基本法に示された理念の実現と、我が国の教育振興に関する施策の総合的・計画的な推進を図るために策定する計画です。第 4 期教育振興基本計画においては、2040 年以降の社会を見据えた教育政策のコンセプトとして「持続可能な社会の作り手の育成」及び「日本社会に根ざしたウェルビーイング<sup>※4</sup>の向上」を掲げ、5 つの基本方針と 16 の教育政策の目標が示されています。

#### 【5 つの基本方針】

- ① グローバル化する社会の持続的な発展に向けて学び続ける人材の育成
- ② 誰一人取り残されず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進
- ③ 地域や家庭で共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進
- ④ 教育 DX<sup>※5</sup> (教育デジタルトランスフォーメーション) の推進
- ⑤ 計画の実効性確保のための基盤整備・対話

### ★「第 11 期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理」(令和 4 年 8 月)

生涯学習が果たしうる役割として、「職業や生活に必要な知識を身につけ自己実現を図るためのものとし、他者との学び合い・教え合いにより豊かな学びにつながるもの」、社会教育の役割として「学びを通じて「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の循環を生み、持続的な地域コミュニティを支える基盤となるもの」としています。

---

※4 ウェルビーイング：単なる健康や満足にとどまらない、心身・社会の“よい状態”。学びを通じて個人と地域が豊かに暮らせる状態を指す概念

※5 教育 DX：デジタル技術で教育の在り方そのものを変える取組。学習機会の拡張、個別最適化、業務効率化などを含む

人生100年時代・VUCA<sup>※6</sup>の時代においては、こうした従来の役割に加え、「ウェルビーイングの実現」、「社会的包摂の実現」、「デジタル社会への対応」、「地域コミュニティの基盤」が重要であると示されています。

### 3 県の動向

#### ★「埼玉県生涯学習推進指針（改訂版）」（令和5年3月）

①人口減少・少子高齢化の進展、②デジタル技術の進展、③相互理解の推進を県の現状における課題として捉え、個人の豊かな生活の実現と、多様な地域社会の共創につながるための支援の在り方として、「人づくりを支える」、「つながりづくりを支える」、「地域づくりを支える」の三つを指針の柱として示されています。

#### ★「埼玉県スポーツ推進計画（第3期）」（令和5年3月）

基本理念を「スポーツがはぐくむ 輝く埼玉」とし、重点的に推進する施策として、働く世代・子育て世代など、スポーツ実施率の低い層がスポーツをする機会の充実、子どもや若者をターゲットとした新しいスポーツの推進、スポーツ科学を活用したアスリートの競技力向上、スポーツを通じた地域の活性化が掲げられています。



リニューアルした「道の駅おがわまち」

<sup>※6</sup> VUCA（ブーカ）：Volatility/Uncertainty/Complexity/Ambiguity の頭字語。不確実で複雑な社会環境を表し、「変化に適応する学び」の必要性を示す

## 4 小川町の状況

### (1) 町の沿革

小川町は埼玉県の中央部に位置し、町域の南部と北西部は山地で、北東部は丘陵及び台地を形成しています。山地部は町域の6割を占め、槻川・兜川の二河川が、西部山地から東流し、市街地は盆地内の中央部に形成されています。

江戸時代、市街地中心の小川村は、江戸から秩父に至る秩父往還「川越通り」と八王子から上州に至る道の交差点にあっていたため、物資集散の地として繁栄し、毎月1と6のつく日に市が立てられました。

このころ特産物の和紙は、漉屋が426軒にも及ぶ一大生産地となり、また小川素麺も名が知られ、それぞれ仲買商人によって江戸をはじめ各地へ販売されました。

明治22(1889)年の市制・町村制施行により、小川町・大河村・竹沢村・八和田村が成立しました。

昭和30(1955)年には、旧4町村の合併により現在の小川町が成立し、翌昭和31(1956)年1月に寄居町の一部が編入となり、現在の町域が確定しました。合併時には25,000人前後の人口が、昭和50年代以降大型住宅団地が造られ人口が1万人も急激に増加となりました。これにより、学校教育施設も、東小川小学校・みどりが丘小学校・上野台中学校・櫻台中学校と4校が新設されました。

和紙・建具・裏絹・酒など特産物の多い本町では、平成2(1990)年に小川和紙をはじめとした県内各地の伝統工芸品を展示する埼玉伝統工芸会館を建設しました。

小川町とその周辺は京都に地形が似ているばかりでなく、槻川下流には京都嵐山を思わせる峡谷や南西部の都幾山には比叡山延暦寺になぞられる県内屈指の古刹慈光寺があります。また、特産物の小川絹は、以前京都へも出荷され、染色も行われました。そのため、昔から武蔵の小京都と呼ばれてきました。平成8(1996)年からは全国京都会議に加入しています。

平成26(2014)年、小川町・東秩父村で継承されてきた「細川紙」は、島根県の「石州半紙」、岐阜県の「本美濃紙」とともに「和紙：日本の手漉和紙技術」としてユネスコ<sup>※7</sup>無形文化遺産に登録されました。また、同年、下里・青山板碑製作遺跡が国指定史跡となりました。

平成28(2016)年には、「ひとが輝き まちも輝く ふるさと小川の学び」を基本理念とした「第3次小川町生涯学習推進計画」が策定されました。この計画に基づき、地域資源(和紙文化、史跡、自然環境など)を活用した講座や体験型学習、交流活動の充実が図られました。

令和元(2019)年には、小川町立小・中学校及び埼玉県立小川高等学校の児童生徒が、小川町の地域資源を題材として、地域の歴史や文化、産業等について知り、段階的に学びを深めていきながら、地域活動への参画などを行っていく「おがわ学」がスタートし、子どもたちの小川町へ対する愛着や誇り、地域課題の解決に取り組む能力を育てています。

---

<sup>※7</sup> ユネスコ(UNESCO): 国連の教育・科学・文化機関。無形文化遺産などの国際的な認定・保護で、学習素材や地域資源の価値を示す拠り所

令和2（2022）年には、SDGsの理念を踏まえた「小川町SDGsまち×ひとプロジェクト」がスタートし、定期的な研修会を開催しています。

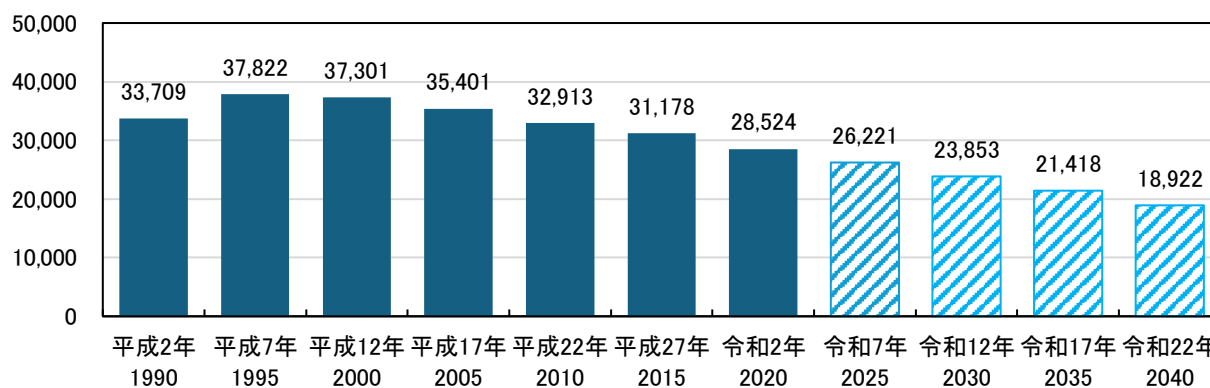
令和4（2024）年8月には、地域の方々や教職員を対象にした講座として、探究的な学びを深める「大人・教職員のためのおがわ学セミナー」が開始されました。

このように、小川町は伝統文化や地域資源を活用した学習機会の提供など現代的な学びを両立させながら、生涯学習社会の実現に向けた歩みを着実に進めています。

## （2）人口の推移

国勢調査によると、人口のピークは平成7（1995）年の37,822人となっており、その後は減少傾向で推移しています。令和2（2020）年現在は28,524人となっており、ピーク時よりも約9,300人減少しています。

今後も減少傾向での推移が見込まれていますが、小川町総合振興計画では自然減の抑制と社会増の確保を図ることにより、人口減少傾向の緩和を目指すことが示されています。



（出典：平成2年～令和2年までは「国勢調査」、令和7年以降は「日本地域別将来人口（令和5年推計）」）

## （3）生涯学習関連施設の概要等

小川町における主な「生涯学習・社会教育施設」、「社会体育施設」の概要及び利用状況を以下に示します。

### ① 生涯学習・社会教育施設（令和7年度時点）

小川町立中央公民館 大塚コミュニティセンター	施設概要	町民の学習や文化活動の拠点として、各種教室・講座・展示会・貸館業務などを通年で実施 開館時間：午前9時～午後9時30分 休館日：第3月曜日・年末年始（中央公民館） 火曜日・祝日・年末年始（大塚コミュニティセンター） 建物内訳：（中央）講座室1～5、（大塚）研修室A～D					
	利用状況（人）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
	中央公民館	21,379	13,126	16,886	17,755	19,205	21,451
	大塚コミセン	6,745	3,402	4,207	4,870	5,657	6,057

小川町立大河公民館	施設概要	町民の学習や文化活動の拠点として、各種教室・講座・展示会・貸館業務などを通年で実施 開館時間：午前9時～午後9時30分 休館日：月曜日・祝日・年末年始 建物内訳：和室、会議室3室、料理実習室、体育室、音楽室					
	利用状況 (人)	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
		13,146	5,680	9,243	9,205	8,495	11,333

小川町立竹沢公民館	施設概要	町民の学習や文化活動の拠点として、各種教室・講座・展示会・貸館業務などを通年で実施 開館時間：午前9時～午後9時30分 休館日：月曜日・祝日・年末年始 建物内訳：娯楽談話室、会議室2室、料理実習室、和室、集会室、講習室他					
	利用状況 (人)	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
		10,171	5,085	7,432	9,679	9,996	10,200

小川町立八和田公民館	施設概要	町民の学習や文化活動の拠点として、各種教室・講座・展示会・貸館業務などを通年で実施 開館時間：午前9時～午後9時30分 休館日：月曜日・祝日・年末年始 建物内訳：会議室2室、和室、料理実習室、創作室、視聴覚ホール2室他					
	利用状況 (人)	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
		14,977	6,774	11,098	12,380	14,171	16,324

小川町立図書館	施設概要	町民の読書活動や学習支援の拠点として幅広い年代が利用。蔵書数は約28万冊。電子図書館サービス、子ども向けイベント、ブックリサイクル等開催。 開館時間：午前10時～午後6時（金曜日は午後7時まで） 休館日：月曜日・第4木曜日・年末年始他					
	利用状況 (人)	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
		111,852	54,927	73,452	82,895	89,788	91,248

小川町和紙体験学習センター	施設概要	1300年の歴史を誇る小川和紙の伝統を体験できる施設。和紙作りの工程を学びながら、実際に紙すき体験が可能。 開館時間：午前9時～午後4時 休館日：火曜日					
	利用状況 (人)	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度
		2,237	1,467	2,321	2,581	3,899	3,381

## ② 社会体育施設（令和7年度時点）

小川町総合運動場	施設概要	ソフトボール2面、サッカー1面、200mトラック8コース、芝生スタンド、ゲートボール2面、クレートコート10面 面積（多目的グラウンド）13,020㎡ （ゲートボール場）1,450㎡ （テニスコート）6,662.3㎡ 利用時間：午前8時～午後6時（10～2月は午後5時まで）					
	利用状況（人）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		-	9,609	11,823	10,786	13,204	13,188

小川町立武道館	施設概要	柔剣道場、弓道場（射場・的場3人立ち）、管理室、更衣室、トイレ 面積613.38㎡ 利用時間：午前6時～午後9時					
	利用状況（人）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		-	3,533	5,413	4,650	5,945	6,325

町営八幡台グラウンド	施設概要	多目的グラウンド（野球1面） 面積10,200㎡ 利用時間：日出～日没					
	利用状況（人）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		-	4,607	8,537	6,674	13,354	13,684

運動場照明	施設概要	照明灯（小川小・大河小） 利用時間：日没～午後9時					
	利用状況（人）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		-	2,593	3,265	6,496	8,222	7,700

## ③ 学校開放に関する取り組み

学校開放	施設概要	グラウンド、体育館（町立小・中学校） 利用時間：教育委員会の定めによる					
	利用状況（人）	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
		60,930	31,400	46,681	52,913	56,701	56,185

## 第3章 町民・団体アンケート調査結果

生涯学習推進計画の策定にあたり、PDCAサイクルに基づき、第3次小川町生涯学習推進計画の実施状況を総括し、課題等を把握するとともに、優先的に取り組む分野と具体策の根拠を得ることで、第4次計画の実効性を担保するために調査を実施しました。

### 1 調査の概要

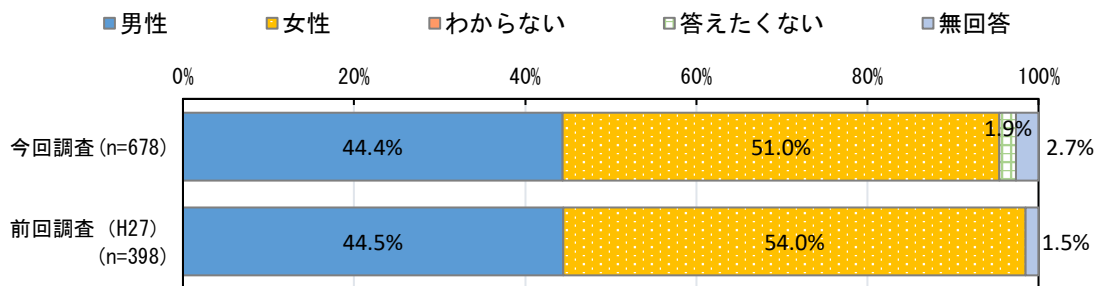
- ① 調査時期 令和6年9月に実施
- ② 調査対象
  - ・小川町に居住する18歳以上の男女（住民基本台帳から無作為抽出）
  - ・小川町内で活動する団体等（所管名簿から無作為抽出）
- ③ 調査方法 郵送での配付・回収
- ④ 回収状況

対象者	配付数	回収件数	回収率
一般町民	1,400 件	678 件	48.4%
関係団体	200 件	166 件	83.0%

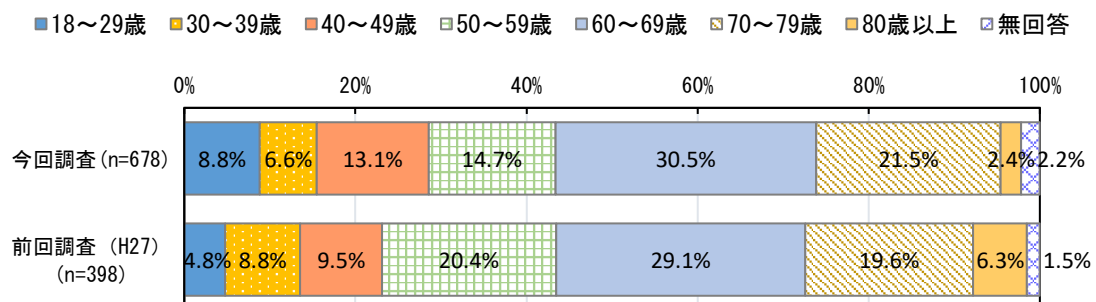
### 2 調査結果

#### 【一般町民調査結果】

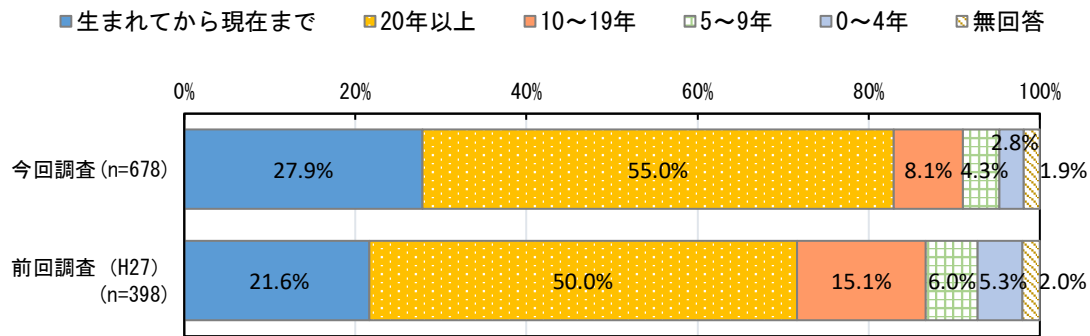
あなたの自認する性別は。(いずれかに○)



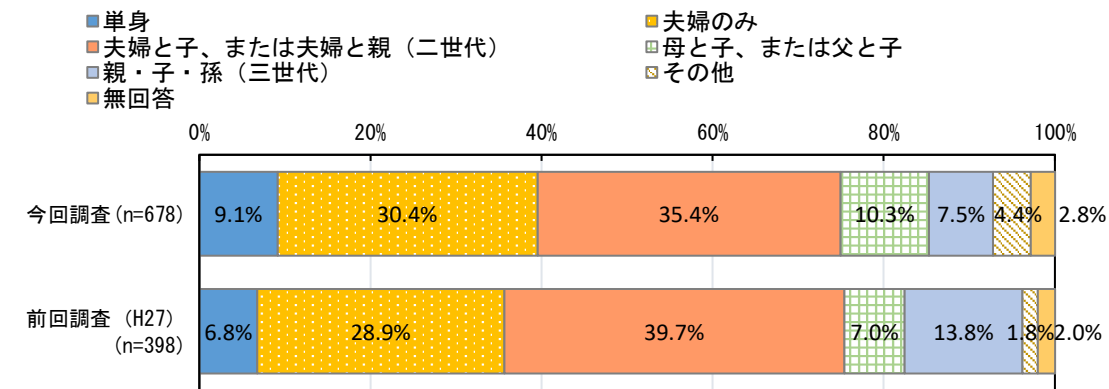
あなたの年代は。(いずれかに○)



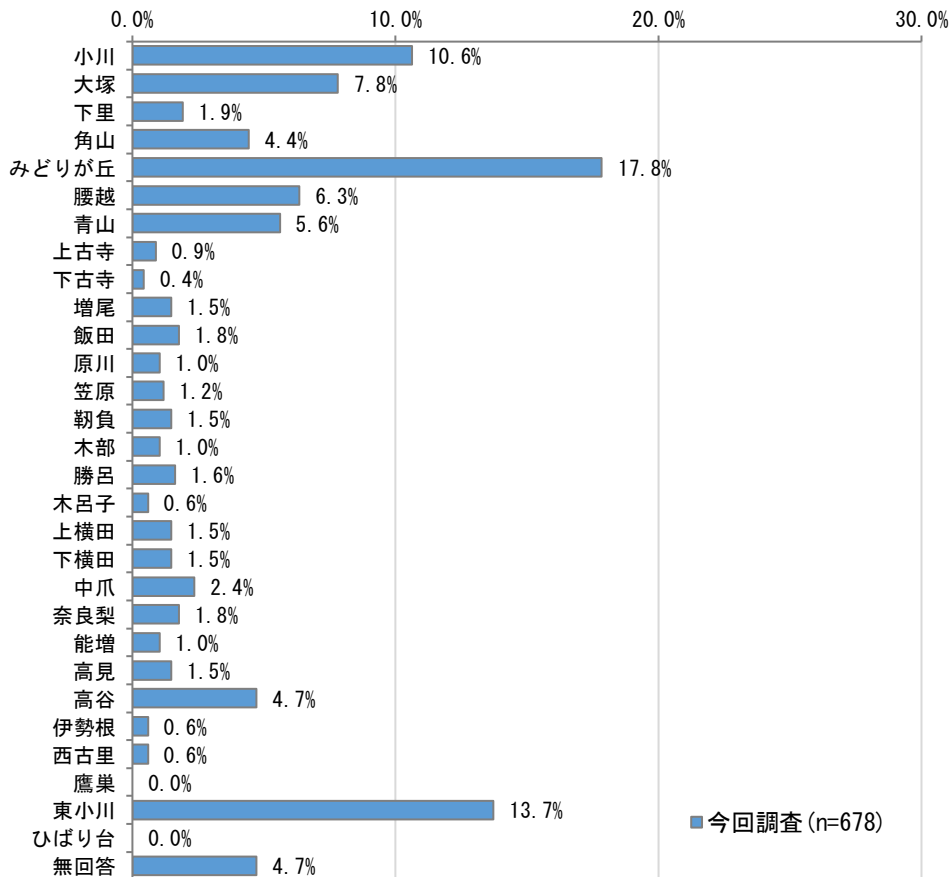
あなたは小川町に住んでどのくらいになりますか。(いずれかに○)



あなたは現在、どのような家族構成で暮らしていますか。(いずれかに○)



あなたの住んでいる地区は。(いずれかに○)



## ●生涯学習の取組状況

本調査において、一般町民の約6割は「何らかの生涯学習に取り組んでいる」(p.37-38問1参照)と回答しています。これは前回調査(平成27年)とほぼ同水準にあります。回答者の8割強が生涯学習活動において「満足」(p.41問1-2参照)とし、国、県と比較してもその割合は高く、町民の生涯学習における意識の高さと行政のこれまでの取組成果が伺えます。

## ●生涯学習の取組内容や学習形態

実施している生涯学習の内容としては(p.37-38問1参照)、「健康・スポーツ」に関することが最多となっており、「趣味なもの」に関することも2割を超えています。また、年代に関わらず趣味を豊かにしたり、健康の維持・増進を図ろうとする割合も高くなっています。なお、「現在の仕事や将来の就職・転職などに役立てるため」の割合(p.39-40問1-1参照)は、20代、30代では過半数を占め若年層を中心に趣味や健康維持を大きく上回っています。

生涯学習に取り組んだ結果、5割以上の方が「人生がより豊かになった」(p.46-47問1-5参照)と感じています。健康維持・増進や仕事・就職への応用など、実益を享受している人も3割を超え、生涯学習が生活の向上に寄与していることが示唆されます。

学習形態としては(p.44-45問1-4参照)、「公民館や図書館などの公の施設における講座や教室」は14.6ポイント減少している一方、「自宅での学習活動」、「情報端末やインターネットの利用」が約4割を占め、インターネットなどを活用した個人学習の割合が高くなっています。また、生涯学習施設を利用していない割合は約4割となっており、人や地域とのつながりの希薄化の進行が伺えます。

## ●生涯学習を行っていない理由

多くの方が生涯学習に取り組む一方、生涯学習を行っていない層も約3割(p.37-38問1参照)を占めています。生涯学習を行っていない理由について(p.53問1-11参照)、「仕事や家事・育児などが忙しくて時間がない」が4割強と最も高く、男性は約3割、女性は約5割となっており、「学び」の時間がないことが、生涯学習の推進において障壁となっています。また、「費用がかかる」とする回答割合も2割を超えており、それぞれのライフステージにおいて、必要な時に必要な学びを通じ成長することが求められており、いくつになっても、学び直しやスキルアップできる学習支援が必要です。

生涯学習を行う目的として「個々の志向」に留まっており、生涯学習の目的は、自分自身のための学習だけでなく、学んだ成果を生かすことにも意義があり、地域社会の活性化にもつながることから、学びを地域で支える人材の育成や地域に還元する機会の確保が求められています。

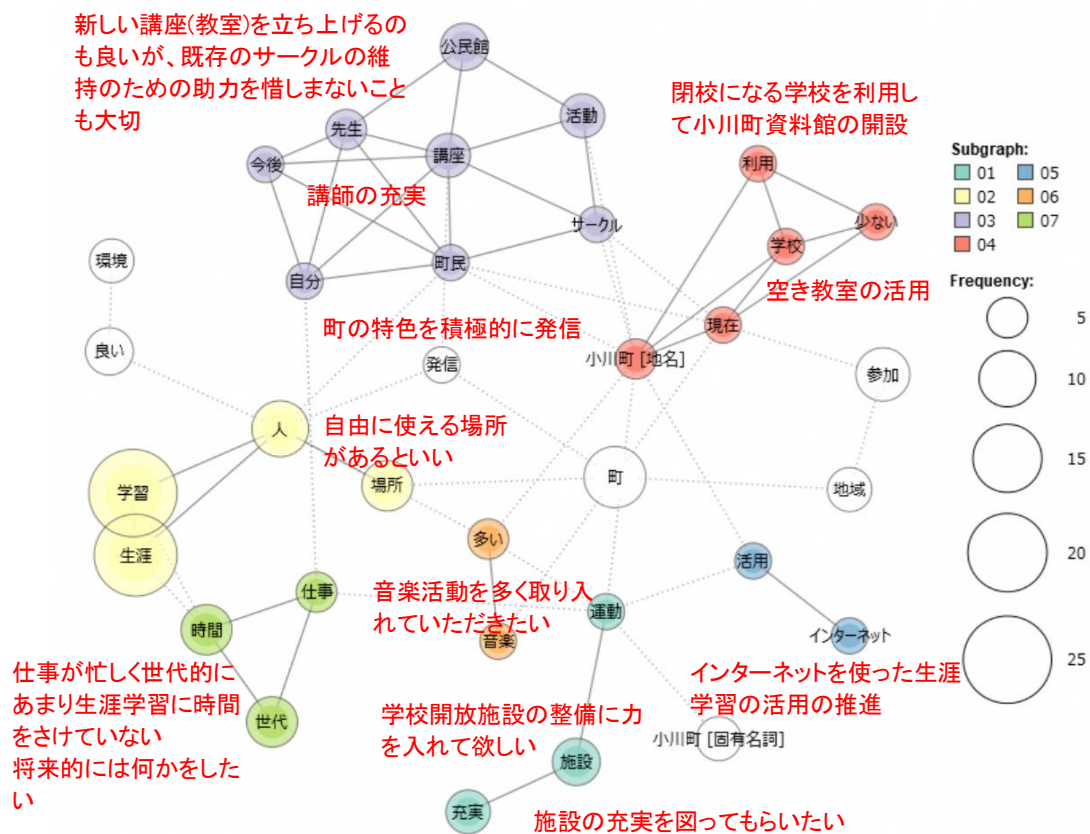
## ●生涯学習の充実にに向けた取組

小川町における生涯学習を一層充実させていくためには（p.57 問4 参照）、「公民館・図書館や生涯学習センターなど公の施設におけるサービスを充実する」が約4割、「住民のニーズや満足度などを把握し、反映していく」が約3割、「体育館やグラウンドなどの学校施設をもっと地域に開放する」が約2割となっています。なお、「住民のニーズや満足度などを把握し、反映していく」については、前回と比較して、10ポイント以上増加しており、「きっかけづくり」や新たな時代潮流に対応した「環境づくり」の重要性が伺えます。

回答者の3割弱が「学習や活動に関する情報の不足」と回答（p.52 問1-10 参照）しており、学習情報の充実と効果的な発信が求められています。一方、住民が情報を受け取る手段として、最も活用されているのはインターネットやSNSとなっています。急速な社会のICT<sup>※8</sup>化によるオンライン学習の高まりなど、町民の学習環境や意識にも変化が伺え、ICTを活用した学習機会の提供をはじめ、デジタルデバイドの解消に向けた取組が求められます。

（自由意見のテキストマイニング分析<sup>※9</sup>）

自由意見をテキストマイニング分析した結果を下記に示します。

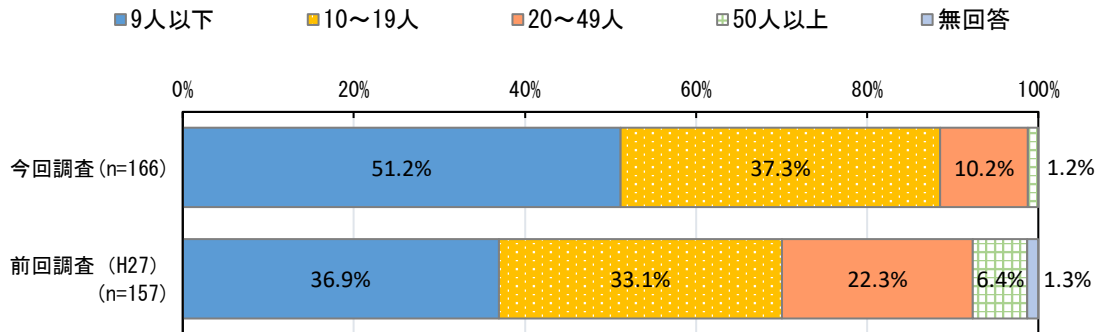


※8 ICT：インターネットやパソコンなどの情報通信機器を用いて行うコミュニケーションを実現する技術

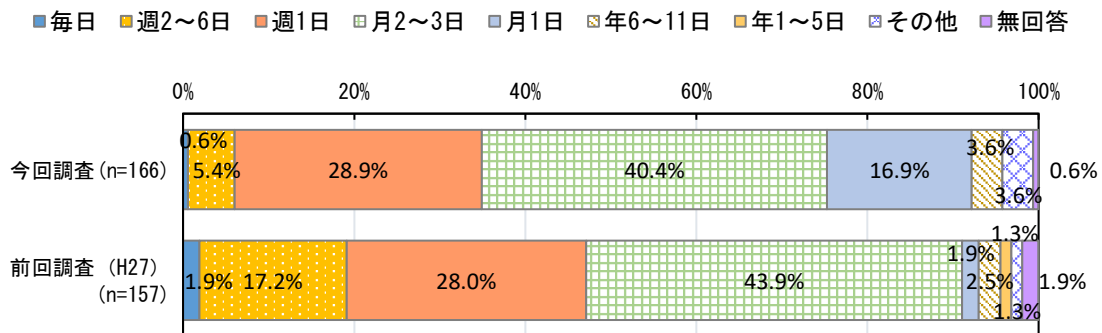
※9 テキストマイニング分析：大量の文章データから頻出する言葉や組み合わせ、感情の傾向などを統計的に抽出・可視化する分析手法。町民の意見の中に含まれる「声になりにくい気づき」や、「地域課題の背景にある共通認識」を見出すことが可能となる

## 【関係団体調査結果】

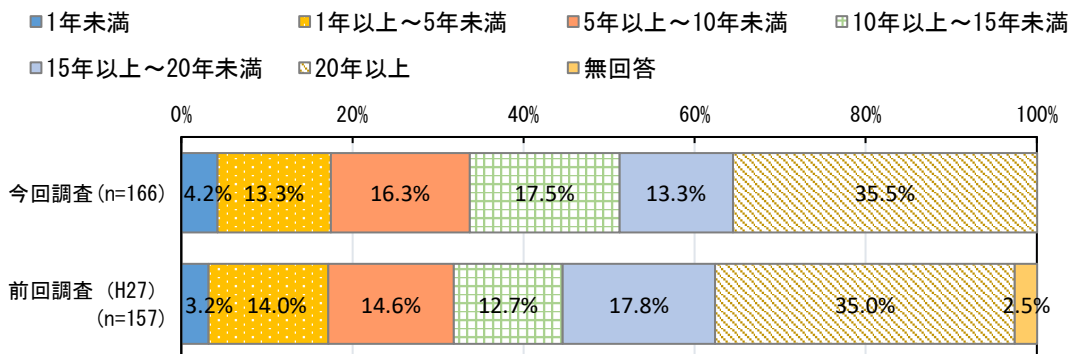
貴団体の会員数は何名ですか。(1つに○)



貴団体の活動頻度はどのくらいですか。(1つに○)



貴団体の活動年数はどのくらいですか。(1つに○)



### ●団体における活動上の課題

団体における活動上の課題については (p.67-68 問7 参照)、「会員が固定化・高齢化している」が約6割を占めが最も高く、前回調査と比較すると7.5ポイント増加しています。今後

においては、より多くの町民に生涯学習活動のきっかけづくりとなる情報を提供するため、行政や社会教育関係団体、地域等が協力した情報の提供や周知が求められます。

●利用頻度が高い生涯学習施設

生涯学習関連施設のうち、団体活動でよく利用するものについては (p.63 問 8 参照)、「公民館」が約7割と最も高く、前回調査と比較すると12.3ポイント増加しています。一方、「小・中学校」は8.1ポイント減少していますが、学校施設の有効活用を求める意見も得られています。

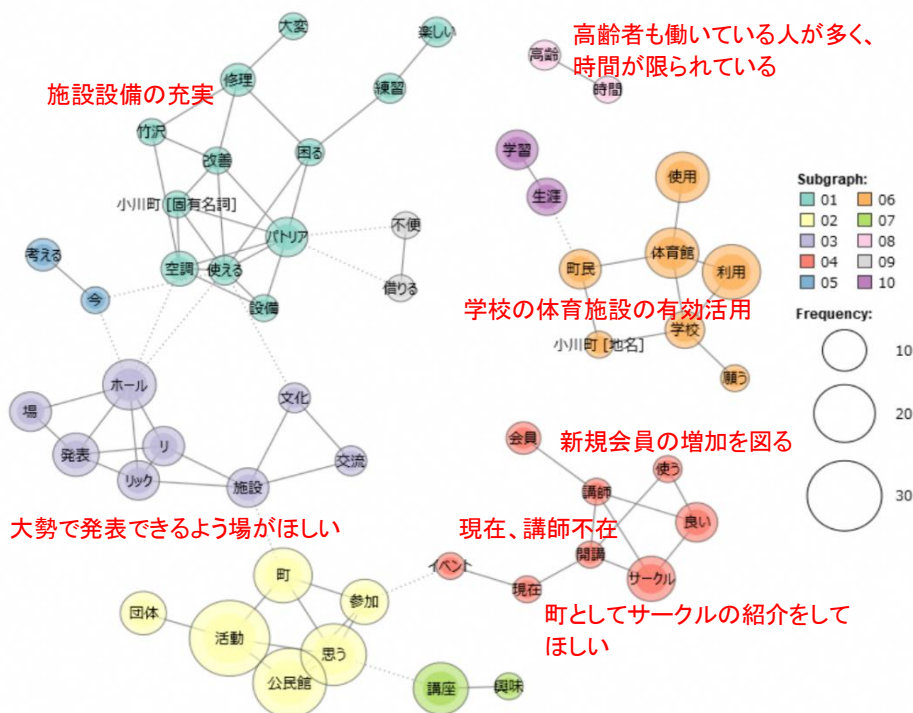
●活動継続に必要な支援

活動を展開していく上で町に望むことはどのようなことかについては (p.68 問 12 参照)、「活動場所の提供・利便性の向上」が約4割と最も高く、次いで「団体の活動情報のPR」、「町と団体が連携したイベントの開催」となっています。前回調査と比較すると、「団体の活動情報のPR」は8.7ポイント減少した一方、「活動場所の提供・利便性の向上」は9.1ポイント増加しており、高齢化による利便性の向上の示唆が伺えます。

生涯学習関連施設は、町民の学習活動を支援するための施設であり、多くの人に利用されています。今後は、社会環境の変化により、生涯学習関連施設に行き、学習活動を行うことができない場合も考えられるため、生涯学習関連施設に行かなくても学習活動が行える仕組みが求められます。また、公共施設マネジメントの方針に基づき、将来のニーズ等を見据えた公共施設の再構築の視点に基づいた施設の在り方の検討が必要です。

(自由意見のテキストマイニング分析)

自由意見をテキストマイニング分析した結果を下記に示します。



## 第4章 計画の方向性

### 1 基本理念

#### 「自立と自尊の教育」

～ふるさとを愛し、自己と他者を尊び、生きがいを広げる町～

小川町教育行政重点施策では「自立と自尊の教育」を基本理念として掲げています。

この重点施策において「8つの施策の柱」を設定し、「教育文化の振興」を推進しています。

本計画の基本理念は、この重点施策を踏襲し、その実現を支えるものであり、生涯学習を通じた町づくりの方向性を明確に示すものです。

本計画の推進により、生涯にわたる学びを通して自己成長を実感し、他者と共に生きがいを分かち合える魅力あふれる町づくりにつなげていきます。ふるさと小川に誇りをもって暮らし続けられる持続可能な地域社会の実現に向けて取り組みます。

### 2 基本施策

本計画では、小川町教育行政重点施策における「8つの施策の柱」のうち、生涯学習や社会教育に係る5つの施策を基本施策として掲げています。

#### 基本施策1 生涯を通じた多様な学習活動の推進

町民の生涯学習活動を支援し、多様な学びの場を提供し、その成果が町づくりに適切につながるよう、生涯学習推進計画の推進と推進体制の強化を図ります。また、生涯学習の拠点づくりを進め、「いつでも」・「どこでも」・「だれでも」が生涯学習に取り組めるよう努めます。

#### 基本施策2 豊かな心と健やかな体を育み、人権を尊重する教育の推進

児童生徒の心身の発達段階に合わせて、社会生活・学校生活を円滑にかつ充実して営むことができるよう心豊かな人間性を育む教育を推進します。また、様々な人権課題への対応や課題解決の取組が求められる中、幼児期から高齢期に至るそれぞれの生活の適時性に沿う多様な教育活動・啓発活動を通して、すべての町民の人権感覚を醸成し、人権尊重の精神を培う教育の推進に努めます。

### 基本施策3 家庭・地域の教育力の向上

変化の激しい社会を生き抜く土台となる力を身に付けさせることができる家庭づくりや子育て支援を行うために、支援体制の整備や各種啓発事業等の充実に努めます。

また、住民同士の繋がりを醸成する視点から地域活動の推進を図り、地域の行事やボランティア活動などへの参加を通じて、子どもたちが地域の一員として育つよう、地域ぐるみの教育活動の支援に努めます。

### 基本施策4 伝統文化の継承と新しい「和紙のふるさと」文化の創造

長い歴史と伝統の中から生まれた豊かな文化と文化財、これらの保存・継承・活用に努めます。

また、文化・芸術活動の発表や交流の場を広く町民に提供するとともに、自主的な文化・芸術活動の支援と地域文化活動の促進に努めます。さらに、細川紙に代表される和紙文化への理解を深め、紙漉き技術の伝承に努めるとともに、新しい「和紙のふるさと」文化の創造に努めます。

### 基本施策5 健康の増進と生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興

町民一人ひとりの心身の健康と明るく豊かな生活を実現するために、広く町民があらゆる機会を通じ、どこでも気軽にスポーツ・レクリエーション活動に参加できる環境・体制づくりを進めます。

また、体力づくりに対する関心を高め、体力の向上、健康の保持・増進が図られるよう努めます。

#### ●小川町教育行政重点施策の「8つの施策の柱」

- |                                       |       |
|---------------------------------------|-------|
| 1 生涯を通じた多様な学習活動の推進                    | 基本施策1 |
| 2 生きる力を育み、確かな学力を身に付ける学校教育の推進          |       |
| 3 豊かな心と健やかな体を育み、人権を尊重する教育の推進          | 基本施策2 |
| 4 教育環境の改善を図り、持続可能な学校づくりに向けた、町立小中学校の再編 |       |
| 5 学校経営改革、安心・安全な学校づくりと教育環境の整備          |       |
| 6 家庭・地域の教育力向上                         | 基本施策3 |
| 7 伝統文化の継承と新しい「和紙のふるさと」文化の創造           | 基本施策4 |
| 8 健康の増進と生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興          | 基本施策5 |

### 3 町民・団体アンケートを踏まえた分野別取組

町民・団体アンケートから明らかになった多種多様な課題を、テキストマイニングなどの手法に基づき分析した結果を踏まえ、次の4つの観点をもとに第4次計画の分野別取組として整理しました。

#### 1 学びにつながるきっかけづくり

生涯学習の重要性の周知と、年代に応じた多様な情報発信、単なる案内にとどまらない「魅力の伝え方」の不足が指摘されています。

現状では、様々な機会・手法を活用して魅力や活動情報を発信し、誰もが気軽に学べる機会提供の推進を図っていますが、情報提供の手段は、最適化や多様化に関して、なお一層の充実が望まれます。

したがって、年代・属性に応じた発信設計と、学習の価値を実感できる訴求を強化など、学びにつながるきっかけづくりに資する取組を推進します。

#### 2 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

各世代に即したメニュー拡充、学習スタイルの多様化への対応、社会人の学び直しニーズが示されています。

現状は、各世代に応じた多様な分野の機会提供や、自主・主体的学習を支える枠組みを掲げているものの、働く世代や多様なライフスタイルに合わせた具体的設計が十分ではありません。よって、分野横断のメニュー再編と受講しやすい設計（内容・方法・時間帯等）の両面から、多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実を図ります。

#### 3 学びを活かせる仕組みづくり

情報サイト登録者・生涯学習団体の活躍機会拡充、地域活動の担い手育成、必要な知識・スキルを学ぶ場、学びを生活課題の解決へつなぐ仕組みを求めています。

現状として、学習成果の発表機会確保や周知に取り組む方針はあるものの、成果が地域課題の解決へと循環する“接続点”が不十分です。

したがって、成果を見える化・共有し、地域活動や協働の場へ結び付ける導線づくりを強化するなど、学びを活かせる仕組みづくりに資する取組を推進します。

## 4 学びを豊かにする環境づくり

魅力ある施設づくり（利便性・交流）、施設情報の効果的な発信、安全で快適な環境、地域団体・民間との連携強化が求められています。

現状は、公民館・図書館の整備充実と、学校・事業者との連携による学習環境の充実を掲げる一方で、施設の魅力発信や連携の広がり、利用しやすさの実感に課題が残ります。

よって、施設の利便性・快適性の向上と情報発信の質的強化、さらに学校・地域・民間の協働体制を具体化し、身近で使いやすい拠点化を進めるなど、学びを豊かにする環境づくりに資する取組を推進します。

## 4 施策体系

### 基本理念

(小川町教育行政  
重点施策)

「自己と自尊の教育」

～みんなを愛し、自己と他者を尊び、生きがいを広げる町～

### 基本施策

(小川町教育行政重点施策より)

#### 基本施策1 生涯を通じた多様な学習活動の推進

- (1) 生涯学習推進体制の確立
- (2) 生涯学習の拠点づくり
- (3) 生涯学習プログラムの充実
- (4) 生涯学習リーダーの育成
- (5) 社会教育関係団体等への支援と連携

#### 基本施策2 豊かな心と健やかな体を育み、人権を尊重する教育の推進

- (1) 豊かな心を育む教育の推進
- (2) 人権尊重の精神を培う教育の推進
- (3) 男女共同参画社会の実現に向けた教育の推進

#### 基本施策3 家庭・地域の教育力の向上

- (1) 家庭教育力向上のための学習機会の充実
- (2) 地域の教育推進体制の充実
- (3) 地域での体験活動の充実
- (4) 子供の読書活動の推進

#### 基本施策4 伝統文化の継承と新しい「和紙のふるさと」文化の創造

- (1) 伝統文化の継承と活用
- (2) 文化財等の保存と活用
- (3) 町民文化活動の支援

#### 基本施策5 健康の増進と生涯スポーツ・レクリエーション活動の振興

- (1) 健康増進とスポーツ活動の充実
- (2) スポーツ推進体制の充実
- (3) スポーツ施設の整備充実と開放

## 分野別取組

基本理念、基本施策実現のために施策項目を4分野に大別し、この体系に基づき指標の動向を確認しつつ、目標達成に向けて取組みを進めます

### 分野別取組 1

注) ◇内の番号は基本施策との関連

#### 学びにつながるきっかけづくり

- (1) 豊かな心を育む教育の推進<2-(1)>
- (2) 人権尊重の精神を培う教育の推進<2-(2)(3)>
- (3) 家庭教育力向上のための学習機会の充実<3-(1)>
- (4) 地域での体験活動の充実<3-(3)>
- (5) 子供の読書活動の推進<3-(4)>



### 分野別取組 2

#### 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

- (1) 生涯学習プログラムの充実<1-(3)>
- (2) 伝統文化の継承と活用<4-(1)>
- (3) 文化財等の保存と活用<4-(2)>
- (4) 健康増進とスポーツ活動の充実<5-(1)>



### 分野別取組 3

#### 学びを活かせる仕組みづくり

- (1) 生涯学習リーダーの育成<1-(4)>
- (2) 町民文化活動の支援<4-(3)>
- (3) 社会教育関係団体等への支援と連携<1-(5)>



### 分野別取組 4

#### 学びを豊かにする環境づくり

- (1) 生涯学習推進体制の確立<1-(1)>
- (2) 生涯学習の拠点づくり<1-(2)>
- (3) 地域の教育推進体制の充実<3-(2)>
- (4) スポーツ推進体制の充実<5-(2)>
- (5) スポーツ施設の整備充実と開放<5-(3)>



## 第5章 分野別取組（前期基本計画）

### 分野別取組1 学びにつながるきっかけづくり

#### 【現状・課題】

町民の多くが生涯学習活動に参加しており、特に健康・スポーツ分野が中心となっています。しかし、仕事や家事・育児による時間の不足、情報不足、施設利用機会の減少などが障壁となり、参加できない層も一定数存在しています。ICTを活用したオンライン学習環境が求められている一方で、デジタルデバイドの課題も顕在化しています。

#### 【取組方針】

町民が気軽に学習に参加できるきっかけ作りのため、多様な媒体を活用し、生涯学習の魅力や活動情報を積極的に発信します。特にICTを活用したオンライン学習情報を充実させ、誰もがアクセスしやすい情報提供を進めます。また、人権教育や子どもの読書活動を推進し、学びの深化に向けた機会の提供に努めます。さらに、親子読書活動や地域での体験活動、「おがわ学」などを通じ、学校・家庭・地域の連携体制強化に努め、様々な制約の課題解消に向けて柔軟な学習機会を収集・提供し、参加の障壁の低減を図ります。

#### 【目標指標】

指標名	令和6年	令和12年
人口1人当たり貸出冊数(冊/年)*	5.22	6.00
人権研修会参加者数(人/年)*	80	210
親子で楽しむおはなし会開催回数(回/年)*	23	22
電子図書館の登録者数(人/年)	99	100
大人・教職員のおがわ学参加者数(人/年)	78	100
多様な学習情報の集約・発信(回/年)	-	12



★第6次総合振興計画に位置づけられた指標等

## 【主な取組】

### （１）豊かな心を育む教育の推進

体験学習や読書活動を重視し、家庭はもとより地域住民や高齢者も含めた交流・参画を促進します。文化・芸術、生涯スポーツ、ICTの活用を視野に入れた学習機会の拡充により、誰もが学び続けられる環境整備に努めます。

さらに「おがわ学」など地域特性を活かした教育や、子ども・若者の居場所づくりを通じて、自己肯定感と地域課題解決力を育みます。



「おがわ学」の授業風景

### （２）人権尊重の精神を培う教育の推進

各小中学校や各公民館において講座を開催するなど、人権教育を強化し、学校・家庭・地域の連携体制の充実を図ります。さらに、様々な人権課題について、男女共同参画及び人権尊重に係る研修会の実施や啓発活動を推進するとともに、SNS等に関するモラル教育を充実させます。

### （３）家庭教育力向上のための学習機会の充実

家庭教育向上の基礎となる親子がふれあう機会の推進を図るため、親子を対象とした講座等の開催に努めます。若年層や子育て世代に実践的で参加しやすい学びの提供に努めます。

### （４）地域での体験活動の充実

地域の自然資源を活かした体験学習や環境保護活動を推進します。地域行事やボランティア参加を促進し、多世代交流の推進に努めます。

また、郷土芸能やスポーツ活動を通じて、地域行事や地域文化の継承を図ります。

### （５）子どもの読書活動の推進

町立図書館における「おはなし会」や電子図書館を活用し、子どもの読書習慣の定着を図ります。学校との連携により学級文庫を充実させるとともに、親子読書活動の支援により家庭での読書環境を整備します。さらに、講座や図書館まつりなど異世代が交流できるイベントを通じて読書の楽しさを広げます。



親子で楽しむおはなし会

### 学んで、地域に、そとつながる小川町

学びのかたちは人の数だけあります。何を、どう学び、その先をどこにつなげるか、選択肢は想像以上に豊かです。最初の一步は小さくてかまいません。興味から始めた学びが、やがて地域の誰かとつながり、暮らしの中で役立っていく。その“ひとつなぎ”を、小川町の資源で描いてみましょう。

#### ポイント 小川町ならではの「学び→つながり」の道すじ（例）

- **歴史・文化に惹かれたら**  
町の講座や公民館・図書館の企画から入口を見つけ、地域の史跡・資料・展示に触れる。学んだ内容はミニ発表会や町のイベントでシェア。運営ボランティアや企画協力に“もう半歩”踏み出してみる。
- **小川の和紙に関心があれば**  
体験学習（紙すきなど）でプロセスを知り、関連の展示や講話で背景を学ぶ。作品展示・紹介記事づくりで発信し、地域行事の手伝い等を通じて「継承・観光・教育」の接点に触れる。
- **暮らしに役立つ学び（健康・子育て・デジタル）**  
まずは短時間・オンライン等で始め、学んだことを家庭や職場で試す。相談窓口や講師・受講者コミュニティに参加し、次は自分が“教える側”やイベントの支援に回る——そんな循環を目指します。



#### ポイント 相談のしかた（ヒント）

- 「何を学びたいのか」だけでなく、「どこで活かしたいか」を話してみると、講座紹介に加えて、地域での連携先（イベント、施設、サークル、ボランティアなど）も見つかります。
- 学びの“事後”を意識して、発表・共有の場（小展示、成果発表会、町広報への寄稿など）を最初から視野に入れると、学びが続きやすくなります。

#### 問合せ先

小川町教育委員会 生涯学習課

〒355-0392

埼玉県比企郡小川町大字大塚 55 番地

Tel 0493-72-1221

Fax 0493-72-7144

E-mail:ogawa117@town.saitama-ogawa.lg.jp



## 分野別取組2 多様なニーズに応じた学ぶ機会の充実

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

### 【現状・課題】

現在提供している講座内容の恒常化や参加者層の固定化が見られ、多様化する町民ニーズへの対応が不十分となっています。特に若年層や働く世代向けのスキルアップや学び直しのための講座の不足が指摘されています。

### 【取組方針】

各世代のライフステージやライフスタイルに合わせた学習を充実させ、特に働く世代や子育て世代が参加しやすい実践的な学習機会を提供します。また、リカレント教育<sup>※10</sup>やリスキリング<sup>※11</sup>、キャリア形成を支援する関係機関と連携し、多様な学習情報を提供します。

### 【目標指標】

指標名	令和6年	令和12年
公民館教室・講座数(回/年)*	51	56
スポーツ教室参加者数(人/年)*	478	550
文化財展の入場者数(人/年)*	754	800
公民館講座・教室の参加者数(人/年)	2,862	2,700
和紙マラソン大会エントリー者数(人/年)	1,160	3,000
リスキリング等情報の発信(回/年)	-	6

★第6次総合振興計画に位置づけられた指標等



※10 リカレント教育：社会に出た後も個々で必要な時期に再び教育を受け、仕事と教育を繰り返す「社会人の学び直し」のこと

※11 リスキリング：職業能力の再開発、再教育

## 【主な取組】

### （１）生涯学習プログラムの充実

歴史や自然、和紙など地域資源を活かした講座や「おがわ学」を充実させ、世代間交流等の大人と子どもが楽しめる学びの機会や体験学習を推進します。社会人のリスキングを支援し、公民館・図書館の機能を強化して学びの拠点化を図ります。

さらに、高齢者向けの学習機会を確保し、ICT活用による柔軟な学習環境とデジタルデバイド解消を視野に取組を研究します。



自然観察会

### （２）伝統文化の継承と活用

本町の伝統文化は和紙に限らず、建具、裏絹、酒等の地場産業・技術が相互に関わり合いながら育まれてきました。小・中学生の体験学習を通じて伝統文化の継承に努めます。和紙の魅力を発信するイベントを実施し、産業や観光と連携した事業を推進します。

さらに、文化財のデジタルアーカイブや伝統文化を活用した学習プログラムを整備し、地域全体での文化継承に努めます。



下里ささら獅子舞

### （３）文化財等の保存と活用

文化財の保存と活用を進め、観光や郷土学習に結びつけます。埋蔵文化財の調査や史跡保存ではデジタル技術を活用し、アーカイブ化や広報・教育を充実させます。

さらに、比企地区を中心とした広域連携や学校教育との協働を強化し、文化財の価値を次世代へ継承します。

### （４）健康増進とスポーツ活動の充実

和紙マラソンや町民参加型スポーツ大会を拡充し、広報を強化して参加を促進します。スポーツ推進委員の研修を充実させ、地域のスポーツ活動推進力を高めます。

さらに、幼児から高齢者はもとより、障がいの有無に関わらず幅広い世代が参加できるスポーツ機会を提供し、誰もが気軽に参加できる環境を整備します。

## “選べる学び”で続けやすい小川町

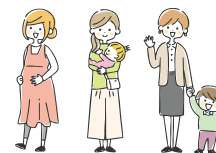
忙しさも、家族の都合も、得意・不得意も、人それぞれ。だからこそ学びの形は一つではありません。短時間で、近い場所で、オンラインでも、自分に合う入口から始められると、学びはぐっと続けやすくなります。

### ポイント 学びを“自分に合わせる”3つのコツ

- **時間を合わせる**  
夜間・週末・短時間(30~60分)など、生活リズムに合う回を選ぶ。録画付き講座なら「スキ間時間」で復習も可能。
- **形式を合わせる**  
対面／オンライン／ハイブリッドを使い分け。初めはオンラインで様子見、慣れたら対面で深めるのも◎。
- **目標を合わせる**  
「暮らしの基礎力を上げたい」「仕事に生かしたい」「地域で役立てたい」—目的に応じて、入門→実践へ小さく段階を上げる。

### ポイント 小川町ならではの“道すじ”例

- **子育て・介護と両立しながら**  
短時間のオンライン入門→必要な回だけ対面に参加→録画で復習→自宅で試して、次の回へ。
- **働く世代のスキルアップ**  
平日夜の基礎講座→週末の実践ワーク→図書館・電子図書館で関連図書→職場で活用→振り返り回で定着。
- **地域資源を深める学び**  
和紙・郷土史の基礎講座→現地見学(フィールド学習)→ミニ発表や展示→地域イベントでの案内補助へ“半歩”。



はじめの一步は、小さくて大丈夫。自分に合う入口から、まずは一回。続けるほどに、できることが増えていきます。

## 分野別取組3 学びを活かせる仕組みづくり

### 【現状・課題】

学んだ成果を地域社会に還元する仕組みが不足しており、町民が自身の学びを地域活動や課題解決に活かす機会が限定的となっています。また、社会教育団体の活動支援や学習成果の発表・交流の場が求められています。

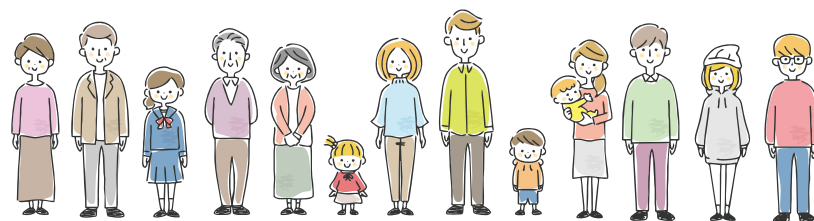
### 【取組方針】

町民が学びを地域課題の解決に活かせるよう、成果発表や交流の機会を充実させます。また、社会教育団体や地域で活動する団体への支援を強化し、町民が地域社会の担い手として活躍できるよう、学習成果を地域貢献につなげる仕組みを構築します。

### 【目標指標】

指標名	令和6年	令和12年
公民館まつり等事業参加者数(人/年)*	2,182	<b>2,100</b>
高校・大学との連携件数*	14	<b>16</b>
あおいし派遣人数(人/年)	8	<b>10</b>
やまなみのおはなし会開催回数(回/年)	49	<b>49</b>
郷土芸能まつり参加団体数	4	<b>5</b>

★第6次総合振興計画に位置づけられた指標等



## 【主な取組】

### （１）生涯学習リーダーの育成

生涯学習指導者「あおいしいいききサポーター」や「おがわ学」指導者を育成し、地域の学びを支える人材の確保に努めます。グループやサークル活動への学習・情報提供を行い、ボランティア育成や住民主体の地域課題解決を支援します。



大人・教職員の「おがわ学」

### （２）町民文化活動の支援

グループやサークルの発表会・展示を通じて成果発表と交流を促進します。芸術・文化活動イベントや文化交流の支援を行い、町民の参加機会を広げます。

さらに、歴史講座や企画展示を拡充し、文化活動団体の交流を支援して自主的な文化活動を推進します。



文化活動



公民館舞台発表会

### （３）社会教育関係団体等への支援と連携

社会教育団体や文化・スポーツ団体との連携を強化し、広報支援や共同イベントを充実させます。団体間の相互研修や事例共有を通じて活性化を図ります。

また、中学校部活動の地域展開を支援し、指導者育成や活動環境の整備を進めるとともに、公民館におけるサークル活動など地域団体への支援に努めます。

## コラムⅢ

### 学びが“地域之力”に変わるとき – 生涯学習と地域貢献

学ぶよこびは、それ自体が豊かな体験ですが、地域のだれかの役に立つ瞬間に、いっそう深まります。国の審議会が示した「生涯学習×ボランティア」の三つの視点（①ボランティア自身が学び、②学びで得た力を実践で深める、③学びを支えるボランティアが生涯学習を広げる）を、小川町の暮らしに沿って考えてみましょう。

#### ポイント 学びとボランティアの“つながり方” 3視点

- **ボランティアそのものが学びに**  
例：図書館や公民館イベントの当日サポートに参加。運営の工夫や来場者との対話が、次の学びのテーマを生む。
- **学び→実践で深まる**  
例：和紙や郷土史の講座で学んだ内容を、町歩き案内や展示解説で発信。準備や説明を重ねるほど、理解が立体的に。
- **学びを支えるボランティ**  
例：講座の記録・広報、会場設営、子ども向けワークの見守りなど、学びの場を裏方で支える役割が、地域の学習機会を広げる。

#### ポイント 小川町ならではの“道すじ”例

- 和紙・伝統文化：体験学習 → 作品や工程のミニ展示 → 体験会の補助スタッフへ。
- 歴史・郷土：郷土講座 → 史跡めぐりの企画・原稿づくり → 町内イベントでの案内協力。
- 自然・環境：里山・川の学び → 清掃・保全活動 → 子ども向け自然観察のサポート。
- 防災・安全：防災講座 → 町内会の防災点検や訓練の手伝い → 学校や地域での啓発支援。いずれも、“学ぶ”と“やってみる”を小さく往復することで、無理なく続きます。

#### ポイント はじめの一步（実務ヒント）

- **関心を書き出す**：やってみたい分野を3つ。
- **入口を一つ決める**：公民館・図書館の催し、町の講座、地域行事のボランティア募集。

学びもボランティアも、最初の扉を開けると次の扉が見えてきます。小さく始めて、ゆっくり続けることが、いちばんの近道です。

## 分野別取組 4 学びを豊かにする環境づくり

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

### 【現状・課題】

公民館や図書館などの施設は広く利用されていますが、施設の利便性や設備の充実が不十分であると指摘されています。また、学校施設の地域開放や地域・事業者との連携も不足しており、学習環境としての利用拡大が課題となっています。

### 【取組方針】

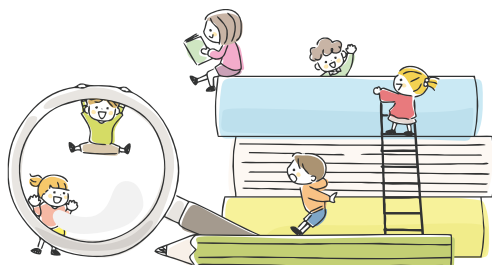
公民館や図書館等の施設について、利便性や快適性の向上を図るための整備を推進します。

学校教育に支障のない範囲で体育館・グラウンド等の学校施設の地域開放を積極的に進めるとともに、地域や民間事業者との連携を深め、地域全体での学習環境の充実を図ります。さらに施設情報の効果的な発信により、町民が気軽に施設を利用できるよう促進します。

### 【目標指標】

指標名	令和6年	令和12年
図書館来館者数(人/年)*	91,248	92,000
公民館利用者数(人/年)*	60,887	58,000
体育施設利用回数(回/年)*	3,132	3,300
学校開放 <sup>※12</sup> に伴う学校施設の利用者数(人/年)	56,185	40,000

★第6次総合振興計画に位置づけられた指標等



※12 学校開放：地域住民のスポーツ・レクリエーション活動の場として、学校教育に支障のない範囲で学校施設を開放することにより、住民の健康増進や教養の向上を図る

## 【主な取組】

### （１）生涯学習推進体制の確立

社会教育団体や文化・スポーツ団体との連携を強化し、広報支援や共同イベントを充実させます。団体間の相互研修や事例共有を通じて活性化を図ります。

また、町ホームページ等を活用した生涯学習情報の提供を充実させます。さらに、中学校部活動の地域展開を支援し、活動環境の整備を進めます。

### （２）生涯学習の拠点づくり

公民館や図書館などのサービスを充実させ、利用者の声を生かした運営や電子図書館の活用促進を進めます。県立小川げんきプラザ等の生涯学習施設における実施事業の活用を推進します。

また、学校開放の取組や既存施設の有効活用と計画的な維持管理により、安全で快適な学習環境を整備します。



町立図書館(児童開架)

### （３）地域の教育推進体制の充実

「おがわ学」における外部指導者等の活用や民間団体・企業・生涯学習関係機関との連携を図り、地域における教育推進体制の充実を図ります。

また、中学校部活動の地域展開に向け、スポーツ・文化団体等との連携及び推進体制の構築を図ります。

### （４）スポーツ推進体制の充実

スポーツ推進委員やスポーツ協会、スポーツ少年団を支援して指導者育成や活動場所の確保を行います。

また、障がい者や高齢者向けのスポーツ機会を充実させます。さらに、公式サイトやSNSなどで広報を強化し、参加促進と情報発信を行います。



スポーツ少年団

## (5) スポーツ施設の整備充実と開放

町営八幡台グラウンドや総合運動場などの施設整備を進め、幅広い世代が利用しやすい環境を整えます。学校教育に支障のない範囲での体育館・グラウンド等の開放を促進し、スポーツ環境を充実させます。

さらに、遊休施設の現況や課題を整理し、有効活用の方策を検討します。

## コラムⅣ

### “行きたくなる・続けたくなる” 小川町、学びの環境へ

学びは場所と導線で表情が変わります。気軽に相談できる窓口、居心地のよい場、見つけやすい情報、この三つが揃うと、初めの一步はぐっと軽くなります。まずは小さく始めてみませんか。学び始めることが、地域とつながる第一歩です。

#### ポイント 小川町の“環境づくり” 3ポイント

- **場をととのえる(施設・学校・まち)**  
公民館・図書館は、Wi-Fi や夜間開館日の設定、サイン計画や小さな展示・発表スペースで“行きたくなる理由”を増やします。学校施設の地域開放は、見学・体験の機会と結び、学内外の学びを往復させます。大学公開講座のような「短時間で質の高い講義」の紹介も、町の学びを広げる材料になります。
- **導線をととのえる(見つけやすさ・申し込みやすさ)**  
告知の入口は複数でも、詳細・申込は簡潔に。募集前(何が得られるか)→当日(雰囲気伝わる写真と短文)→事後(受講者の声と次の一步)を同じ場所でたどれるようにして、迷いを減らします。
- **相談をととのえる(不安を言語化する場所)**  
「具体的に決まっていなくても何かを学びたい」。そんな声を受け止める相談窓口を、来館・電話・フォームで用意します。相談は“今すぐ決める場”でなくて大丈夫。話してみる一步が、次の一步を見せてくれます。

#### ポイント 小川町の学習施設“小川町立図書館”ガイド

小川町で“学びの扉”を開きやすいのは、まず小川町立図書館です。  
約28万冊の蔵書により、多種多様な探究を深められます。郷土資料や企画展示を起点に、ほかの講座や発表の場へとつなげやすいのが特徴です。

こんな使い方どうですか？

- 特集棚→入門講座→発表の“学び導線”に
- 電子図書館で“短時間×反復”の自宅学習

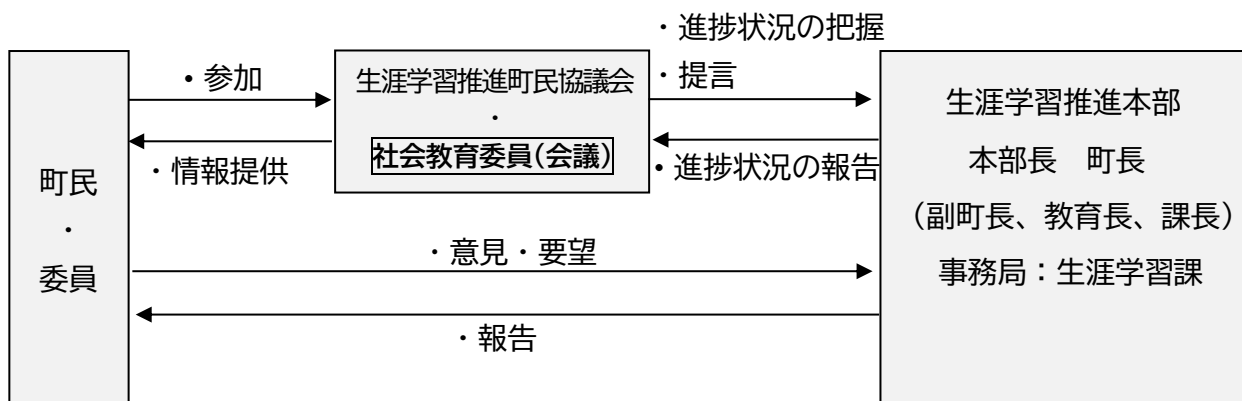


## 第6章 計画の推進に向けて

### 1 生涯学習推進体制

生涯学習推進体制として、「社会教育委員会」や「生涯学習推進町民協議会」を開催し、活動情報の共有、進捗管理、推進方策などを検討し、施策・事業に反映させます。また、庁内の推進体制として「生涯学習推進本部」を設置し、小川町の生涯学習の推進を図ります。

#### ■生涯学習推進体制



#### ○小川町生涯学習推進町民協議会

町民による生涯学習を推進するための協議会で、生涯学習推進計画の進捗状況を把握し協議し、町長に提言を行う機関です。

#### ○小川町社会教育委員(会議)

社会教育法に基づき、①地域の社会教育に関する諸計画の企画・立案、②教育委員会の諮問に対する意見具申、③地域課題等に必要な調査研究を行うで役割です。

### 2 協働による計画の推進

社会状況が変化していくなか、生涯学習を生活の様々な場面において効果的に推進していくには、町民、関係団体・関係機関、事業者等、幅広い主体が協働していくことが求められます。より充実した生涯学習環境をつくるため、それぞれの役割を明らかにし、協働による推進を図ります。

### 3 進捗管理と評価

#### (1) 推進状況の把握

本計画に関連して実施されている事業について、進捗状況を定期的に整理し、施策の充実に、改善を図ります。

また、計画を効果的に推進するため、個別に指標を設定し、社会教育委員会、生涯学習推進町民協議会において実施状況を確認するなど、進捗管理を行います。

#### (2) 計画の評価

指標となる数値が計画終了年度の時点でどのように変化しているかによって目標の達成度を測り、各施策についての進捗状況調査による事業の実績と合わせて、本計画を評価します。

数値だけでは評価が難しい取組の状況も含めて、社会教育委員会や生涯学習推進町民協議会で状況を報告し、事業の改善の必要性等についての意見を受けて、施策の改善を図ります。

#### (3) 計画の構成

本計画の構成は、基本方向と基本計画とします。基本方向は、小川町総合振興計画期間との整合を図り、令和8年度から令和17年度までとします。社会状況の変化に対応するため、基本計画は、前期：令和8年度から令和12年度までの5か年、後期：令和13年度から令和17年度までの5か年とします。

#### (4) 目標指標の設定

本計画の進捗評価にあたり、数量的な側面からの評価を可能とするよう、分野別取組ごとに目標指標を定めます。

事業の評価にあたっては、指標を用いた数量的な評価だけでなく、本計画の基本理念・基本施策に照らした事業の趣旨や、社会的な役割といった質的な側面からの評価も行うものとしてします。

## 第7章 資料編

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

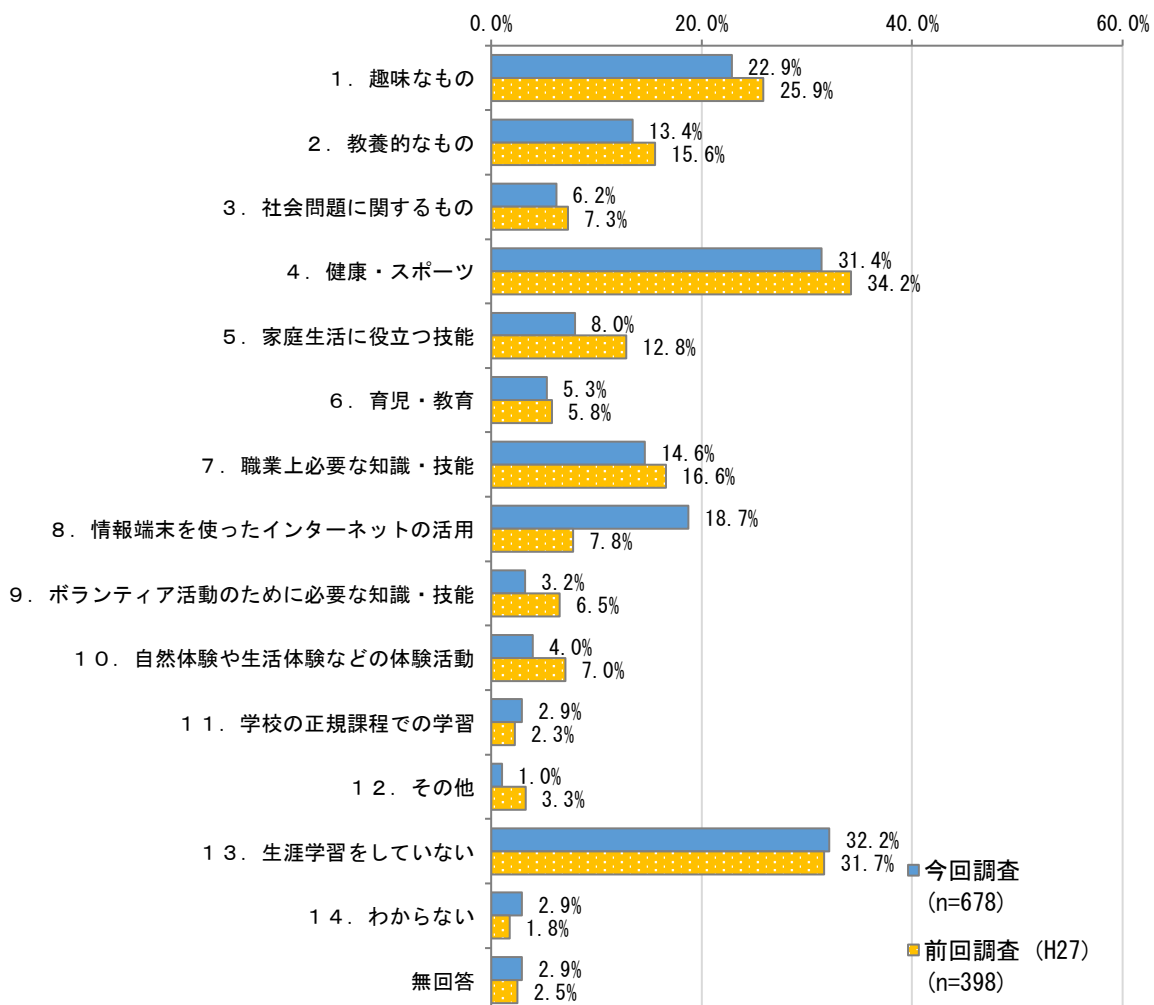
### 1 アンケート調査結果

#### (1) 一般町民

##### 1. 生涯学習の現状について

問1 あなたは、この1年くらいの間、以下のような生涯学習を行いましたか。  
(あてはまるものすべてに○)

1年くらいの間、以下のような生涯学習を行ったかについては、「生涯学習をしていない」32.2%が最も高く、次いで「健康・スポーツ」31.4%、「趣味なもの」22.9%となっている。  
前回調査と比較すると、「情報端末を使ったインターネットの活用」は10.9ポイント増加している。



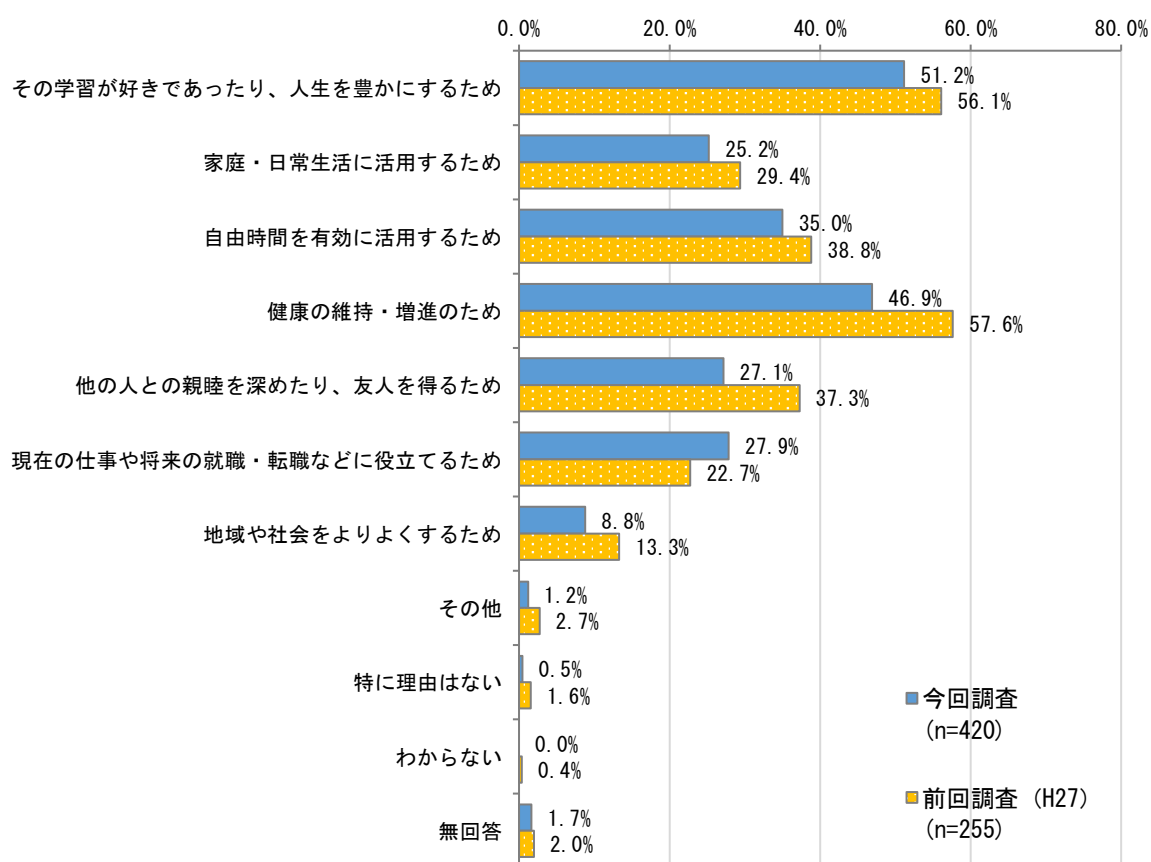
複数回答のため 合計は100%に ならない  上段:回答者数 下段:構成比  ■ 上位1項目		サンプル数	趣味なもの	教養的なもの	社会問題に関するもの	健康・スポーツ	家庭生活に役立つ技能	育児・教育	職業上必要な知識・技能	情報端末を使ったインターネットの活用	ポラリティア活動のために必要な知識・技能	自然体験や生活体験などの体験活動	学校の正規課程での学習	その他	生涯学習をしていない	わからない	無回答
全体	678	155 22.9%	91 13.4%	42 6.2%	213 31.4%	54 8.0%	36 5.3%	99 14.6%	127 18.7%	22 3.2%	27 4.0%	20 2.9%	7 1.0%	218 32.2%	20 2.9%	20 2.9%	
前回調査(H27)	398	103 25.9%	62 15.6%	29 7.3%	136 34.2%	51 12.8%	23 5.8%	66 16.6%	31 7.8%	26 6.5%	28 7.0%	9 2.3%	13 3.3%	126 31.7%	7 1.8%	10 2.5%	
性別	男性	301	58 19.3%	45 15.0%	31 10.3%	106 35.2%	10 3.3%	16 5.3%	47 15.6%	70 23.3%	7 2.3%	14 4.7%	10 3.3%	4 1.3%	94 31.2%	11 3.7%	6 2.0%
	女性	346	87 25.1%	40 11.6%	7 2.0%	100 28.9%	40 11.6%	19 5.5%	48 13.9%	51 14.7%	15 4.3%	13 3.8%	10 2.9%	3 0.9%	115 33.2%	7 2.0%	11 3.2%
	無回答	31	10 32.3%	6 19.4%	4 12.9%	7 22.6%	4 12.9%	1 3.2%	4 12.9%	6 19.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 29.0%	2 6.5%	3 9.7%
年代別	18~29歳	60	21 35.0%	12 20.0%	6 10.0%	14 23.3%	4 6.7%	8 13.3%	22 36.7%	12 20.0%	2 3.3%	3 5.0%	17 28.3%	0 0.0%	8 13.3%	2 3.3%	0 0.0%
	30~39歳	45	12 26.7%	7 15.6%	2 4.4%	15 33.3%	2 4.4%	5 11.1%	12 26.7%	8 17.8%	2 4.4%	1 2.2%	1 2.2%	0 0.0%	12 26.7%	0 0.0%	1 2.2%
	40~49歳	89	18 20.2%	11 12.4%	3 3.4%	22 24.7%	7 7.9%	8 9.0%	18 20.2%	16 18.0%	0 0.0%	3 3.4%	0 0.0%	1 1.1%	33 37.1%	4 4.5%	0 0.0%
	50~59歳	100	24 24.0%	7 7.0%	5 5.0%	27 27.0%	5 5.0%	4 4.0%	19 19.0%	20 20.0%	2 2.0%	4 4.0%	0 0.0%	1 1.0%	39 39.0%	2 2.0%	1 1.0%
	60~69歳	207	39 18.8%	28 13.5%	15 7.2%	75 36.2%	22 10.6%	6 2.9%	22 10.6%	37 17.9%	5 2.4%	10 4.8%	2 1.0%	3 1.4%	75 36.2%	3 1.4%	6 2.9%
	70~79歳	146	34 23.3%	21 14.4%	9 6.2%	51 34.9%	10 6.8%	4 2.7%	5 3.4%	29 19.9%	10 6.8%	6 4.1%	0 0.0%	2 1.4%	40 27.4%	8 5.5%	9 6.2%
	80歳以上	16	3 18.8%	3 18.8%	0 0.0%	5 31.3%	2 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	2 12.5%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 31.3%	0 0.0%	1 6.3%
	無回答	15	4 26.7%	2 13.3%	2 13.3%	4 26.7%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 40.0%	1 6.7%	2 13.3%
満足度	満足している	134	54 40.3%	33 24.6%	12 9.0%	68 50.7%	16 11.9%	14 10.4%	33 24.6%	34 25.4%	9 6.7%	10 7.5%	5 3.7%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	どちらかといえば満足している	221	79 35.7%	44 19.9%	24 10.9%	121 54.8%	29 13.1%	18 8.1%	52 23.5%	71 32.1%	13 5.9%	10 4.5%	9 4.1%	4 1.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	どちらかといえば満足していない	32	11 34.4%	8 25.0%	3 9.4%	13 40.6%	6 18.8%	3 9.4%	6 18.8%	15 46.9%	0 0.0%	3 9.4%	3 9.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	満足していない	13	7 53.8%	3 23.1%	1 7.7%	5 38.5%	0 0.0%	0 0.0%	5 38.5%	2 15.4%	0 0.0%	1 7.7%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	わからない	14	2 14.3%	1 7.1%	1 7.1%	5 35.7%	2 14.3%	1 7.1%	2 14.3%	4 28.6%	0 0.0%	2 14.3%	2 14.3%	2 14.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	6	2 33.3%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問1-1 【問1で「1」～「12」と回答した方に伺います。】

あなたが生涯学習を行う目的は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

生涯学習を行う目的については、「その学習が好きであったり、人生を豊かにするため」51.2%が最も高く、次いで「健康の維持・増進のため」46.9%、「自由時間を有効に活用するため」35.0%となっている。

前回調査と比較すると、「健康の維持・増進のため」、「他の人との親睦を深めたり、友人を得るため」はいずれも10ポイント以上減少した一方、「現在の仕事や将来の就職・転職などに役立つため」は5.2ポイント増加している。



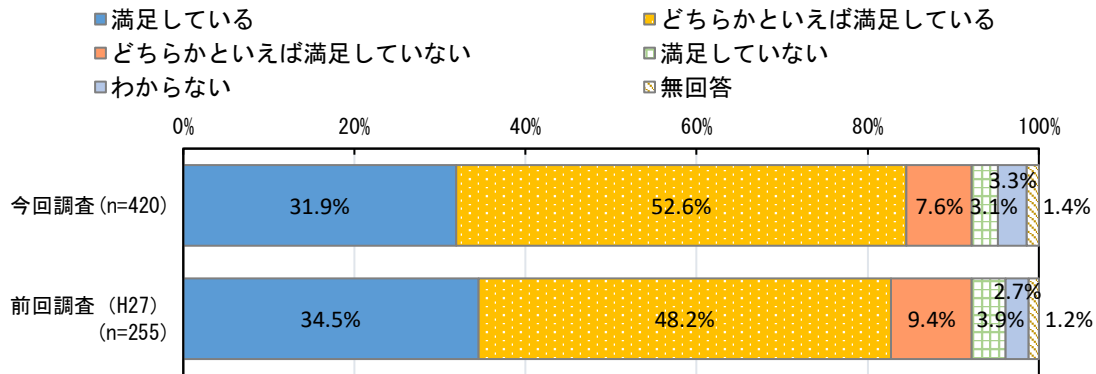
複数回答のため 合計は100%に ならない  上段:回答者数 下段:構成比  ■ 上位1項目		サンプル数	か あ そ の 学 習 が 好 き で あ っ た り 、 人 生 を 豊 か に す る た め	家 庭 ・ 日 常 生 活 に 活 用 す る た め	自 由 時 間 を 有 効 に 活 用 す る た め	健 康 の 維 持 ・ 増 進 の た め	た め の 人 と の 親 睦 を 深 め た り 、 友 人 を 得 る た め	他 の 人 と の 親 睦 を 深 め た り 、 友 人 を 得 る た め	就 職 ・ 転 職 な ど に 役 立 て る た め	現 在 の 仕 事 や 将 来 の 就 職 ・ 転 職 な ど に 役 立 て る た め	地 域 や 社 会 を よ り よ く す る た め	そ の 他	特 に 理 由 は な い	わ か ら な い	無 回 答
全体		420	215 51.2%	106 25.2%	147 35.0%	197 46.9%	114 27.1%	117 27.9%	37 8.8%	5 1.2%	2 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	7 1.7%	
前回調査(H27)		255	143 56.1%	75 29.4%	99 38.8%	147 57.6%	95 37.3%	58 22.7%	34 13.3%	7 2.7%	4 1.6%	1 0.4%	1 0.4%	5 2.0%	
性別	男性	190	96 50.5%	44 23.2%	76 40.0%	98 51.6%	50 26.3%	52 27.4%	22 11.6%	2 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	
	女性	213	108 50.7%	57 26.8%	64 30.0%	94 44.1%	56 26.3%	62 29.1%	13 6.1%	3 1.4%	2 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	5 2.3%	
	無回答	17	11 64.7%	5 29.4%	7 41.2%	5 29.4%	8 47.1%	3 17.6%	2 11.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 5.9%	
年代別	18~29歳	50	32 64.0%	9 18.0%	18 36.0%	12 24.0%	15 30.0%	27 54.0%	6 12.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 2.0%	
	30~39歳	32	16 50.0%	10 31.3%	6 18.8%	11 34.4%	1 3.1%	17 53.1%	3 9.4%	1 3.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	40~49歳	52	28 53.8%	10 19.2%	12 23.1%	17 32.7%	7 13.5%	22 42.3%	4 7.7%	2 3.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	50~59歳	58	30 51.7%	16 27.6%	22 37.9%	29 50.0%	13 22.4%	21 36.2%	4 6.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	60~69歳	123	60 48.8%	39 31.7%	42 34.1%	71 57.7%	33 26.8%	27 22.0%	9 7.3%	1 0.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.6%	
	70~79歳	89	39 43.8%	19 21.3%	42 47.2%	51 57.3%	35 39.3%	3 3.4%	9 10.1%	1 1.1%	1 1.1%	0 0.0%	0 0.0%	4 4.5%	
	80歳以上	10	5 50.0%	1 10.0%	2 20.0%	3 30.0%	7 70.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	無回答	6	5 83.3%	2 33.3%	3 50.0%	3 50.0%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
満足度	満足している	134	82 61.2%	32 23.9%	34 25.4%	64 47.8%	45 33.6%	42 31.3%	9 6.7%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	どちらかといえば満足している	221	109 49.3%	59 26.7%	90 40.7%	111 50.2%	62 28.1%	58 26.2%	23 10.4%	4 1.8%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	4 1.8%	
	どちらかといえば満足していない	32	16 50.0%	9 28.1%	12 37.5%	14 43.8%	3 9.4%	8 25.0%	3 9.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	満足していない	13	5 38.5%	1 7.7%	4 30.8%	5 38.5%	2 15.4%	5 38.5%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	わからない	14	3 21.4%	5 35.7%	6 42.9%	2 14.3%	1 7.1%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	無回答	6	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	

問1-2 【問1で「1」～「12」と回答した方に伺います。】

あなたは、ご自身が行った生涯学習について満足していますか。(1つに○)

生涯学習への満足度について、『満足』（「満足している」+「どちらかといえば満足している」）と回答した割合は全体の84.5%を占める。

前回調査と比較して、大きな差異はみられない。



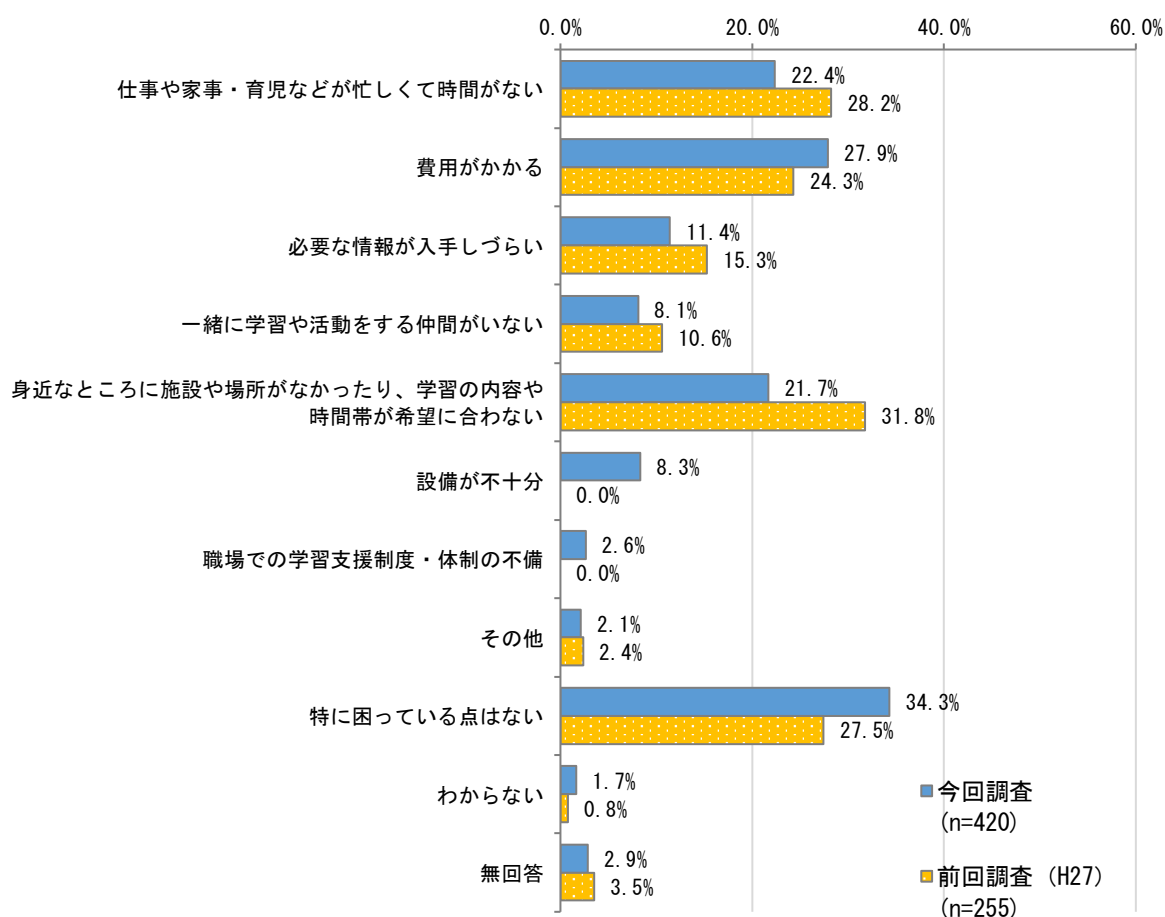
		サンプル数	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば満足していない	満足していない	わからない	無回答
<small>小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある</small> <small>上段: 回答者数 下段: 構成比</small> <small>■ 上位1項目</small>								
全体		420	134	221	32	13	14	6
		100.0%	31.9%	52.6%	7.6%	3.1%	3.3%	1.4%
前回調査 (H27)		255	88	123	24	10	7	3
		100.0%	34.5%	48.2%	9.4%	3.9%	2.7%	1.2%
性別	男性	190	52	109	18	6	4	1
		100.0%	27.4%	57.4%	9.5%	3.2%	2.1%	0.5%
	女性	213	78	102	13	6	9	5
	100.0%	36.6%	47.9%	6.1%	2.8%	4.2%	2.3%	
	無回答	17	4	10	1	1	1	0
		100.0%	23.5%	58.8%	5.9%	5.9%	5.9%	0.0%
年代別	18～29歳	50	18	22	7	1	2	0
		100.0%	36.0%	44.0%	14.0%	2.0%	4.0%	0.0%
	30～39歳	32	9	18	2	3	0	0
		100.0%	28.1%	56.3%	6.3%	9.4%	0.0%	0.0%
	40～49歳	52	18	30	2	1	1	0
		100.0%	34.6%	57.7%	3.8%	1.9%	1.9%	0.0%
	50～59歳	58	15	35	3	2	3	0
		100.0%	25.9%	60.3%	5.2%	3.4%	5.2%	0.0%
60～69歳	123	42	59	12	3	4	3	
	100.0%	34.1%	48.0%	9.8%	2.4%	3.3%	2.4%	
70～79歳	89	27	48	6	2	3	3	
	100.0%	30.3%	53.9%	6.7%	2.2%	3.4%	3.4%	
80歳以上	10	4	4	0	1	1	0	
	100.0%	40.0%	40.0%	0.0%	10.0%	10.0%	0.0%	
	無回答	6	1	5	0	0	0	0
		100.0%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

問1-3 【問1で「1」～「12」と回答した方に伺います。】

あなたにとって、生涯学習を行うに当たってお困りになっている点は何ですか。  
 (あてはまるものすべてに○)

生涯学習を行うにあたり困っていることについては、「特に困っている点はない」34.3%が最も高く、次いで「費用がかかる」27.9%、「仕事や家事・育児などが忙しくて時間がない」22.4%となっている。

前回調査と比較すると、「仕事や家事・育児などが忙しくて時間がない」、「身近なところに施設や場所がなかったり、学習の内容や時間帯が希望に合わない」はいずれも5ポイント以上減少した一方、「設備が不十分」、「特に困っている点はない」はいずれも6ポイント以上増加している。



複数回答のため 合計は100%に ならない		サンプル数	仕事や家事・育児などが忙しくて時間がない	費用がかかる	必要な情報が入手しづらい	一緒に学習や活動をする仲間がない	身近なところに施設や場所がなかったり、学習の内容や時間が希望に合わない	設備が不十分	職場での学習支援制度・体制の不備	その他	特に困っている点はない	わからない	無回答
上段: 回答者数	下段: 構成比												
■ 上位1項目													
全体		420	94 22.4%	117 27.9%	48 11.4%	34 8.1%	91 21.7%	35 8.3%	11 2.6%	9 2.1%	144 34.3%	7 1.7%	12 2.9%
前回調査(H27)		255	72 28.2%	62 24.3%	39 15.3%	27 10.6%	81 31.8%	-	-	6 2.4%	70 27.5%	2 0.8%	9 3.5%
性別	男性	190	34 17.9%	49 25.8%	24 12.6%	17 8.9%	35 18.4%	22 11.6%	5 2.6%	3 1.6%	68 35.8%	3 1.6%	2 1.1%
	女性	213	57 26.8%	64 30.0%	23 10.8%	16 7.5%	52 24.4%	12 5.6%	6 2.8%	5 2.3%	70 32.9%	4 1.9%	9 4.2%
	無回答	17	3 17.6%	4 23.5%	1 5.9%	1 5.9%	4 23.5%	1 5.9%	0 0.0%	1 5.9%	6 35.3%	0 0.0%	1 5.9%
年代別	18～29歳	50	10 20.0%	19 38.0%	9 18.0%	11 22.0%	12 24.0%	3 6.0%	3 6.0%	2 4.0%	9 18.0%	2 4.0%	1 2.0%
	30～39歳	32	16 50.0%	12 37.5%	4 12.5%	1 3.1%	10 31.3%	2 6.3%	1 3.1%	1 3.1%	5 15.6%	0 0.0%	0 0.0%
	40～49歳	52	21 40.4%	25 48.1%	7 13.5%	4 7.7%	17 32.7%	4 7.7%	3 5.8%	0 0.0%	12 23.1%	0 0.0%	0 0.0%
	50～59歳	58	22 37.9%	17 29.3%	5 8.6%	3 5.2%	10 17.2%	8 13.8%	4 6.9%	0 0.0%	18 31.0%	0 0.0%	1 1.7%
	60～69歳	123	19 15.4%	18 14.6%	7 5.7%	7 5.7%	27 22.0%	8 6.5%	0 0.0%	4 3.3%	60 48.8%	2 1.6%	3 2.4%
	70～79歳	89	5 5.6%	23 25.8%	15 16.9%	7 7.9%	12 13.5%	9 10.1%	0 0.0%	2 2.2%	32 36.0%	2 2.2%	7 7.9%
	80歳以上	10	0 0.0%	2 20.0%	1 10.0%	1 10.0%	2 20.0%	1 10.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 40.0%	1 10.0%	0 0.0%
	無回答	6	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
満足度	満足している	134	32 23.9%	38 28.4%	8 6.0%	5 3.7%	23 17.2%	5 3.7%	3 2.2%	0 0.0%	59 44.0%	0 0.0%	3 2.2%
	どちらかといえば満足している	221	42 19.0%	61 27.6%	29 13.1%	19 8.6%	57 25.8%	25 11.3%	5 2.3%	4 1.8%	75 33.9%	2 0.9%	4 1.8%
	どちらかといえば満足していない	32	12 37.5%	9 28.1%	6 18.8%	5 15.6%	4 12.5%	4 12.5%	1 3.1%	2 6.3%	8 25.0%	0 0.0%	0 0.0%
	満足していない	13	5 38.5%	6 46.2%	5 38.5%	2 15.4%	6 46.2%	1 7.7%	1 7.7%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	わからない	14	2 14.3%	3 21.4%	0 0.0%	3 21.4%	1 7.1%	0 0.0%	1 7.1%	1 7.1%	2 14.3%	5 35.7%	0 0.0%
	無回答	6	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 83.3%

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

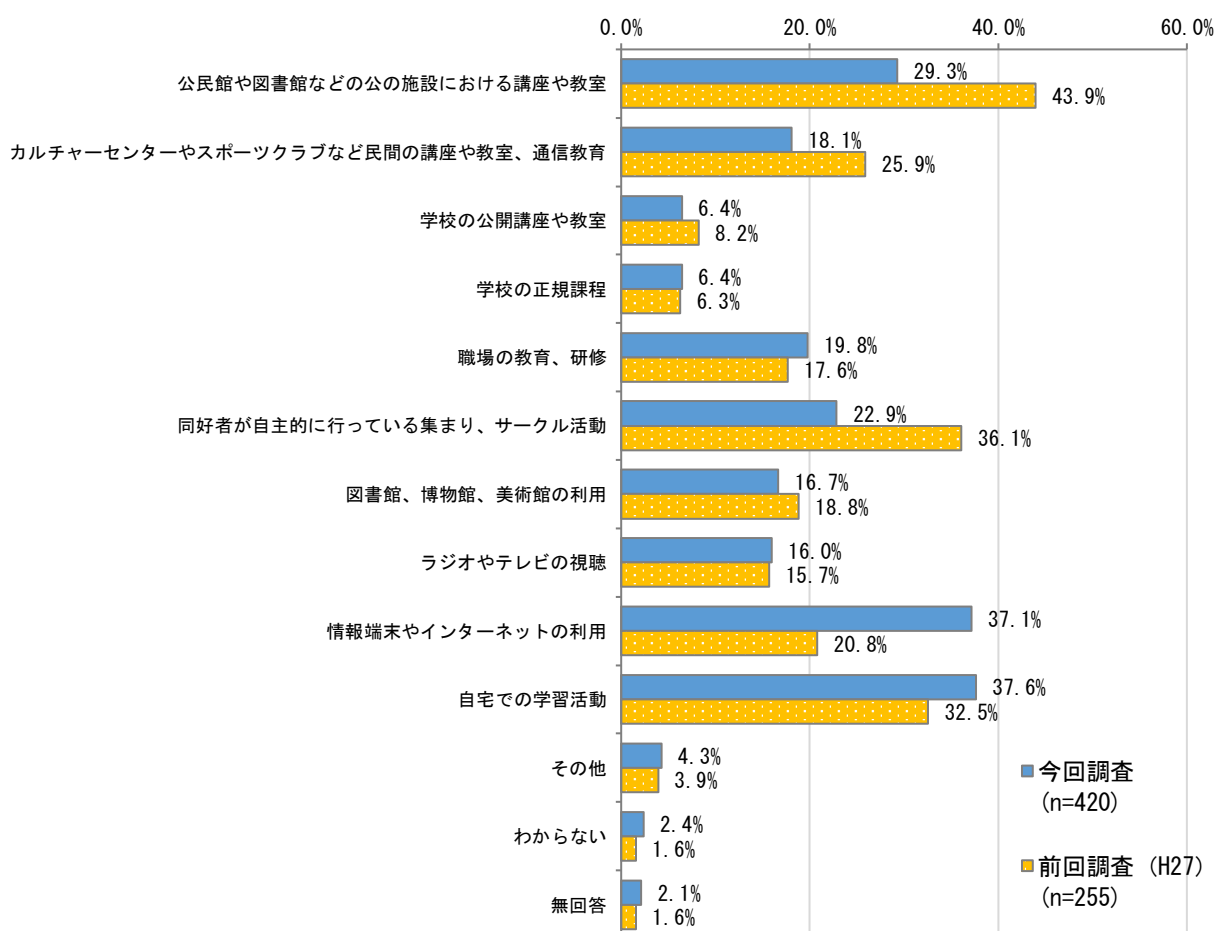
問1-4 【問1で「1」～「12」と回答した方に伺います。】

あなたは、どのような場所や形態で生涯学習を行ったことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

どのような場所や形態で生涯学習を行ったことがあるかについて、「自宅での学習活動」37.6%が最も高く、次いで「情報端末やインターネットの利用」37.1%、「公民館や図書館などの公の施設における講座や教室」29.3%となっている。

前回調査と比較すると、「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の講座や教室、通信教育」は7.8ポイント、「公民館や図書館などの公の施設における講座や教室」、「同好者が自主的にやっている集まり、サークル活動」はいずれも13ポイント以上減少した一方、「自宅での学習活動」は5.1ポイント、「情報端末やインターネットの利用」は16.3ポイント増加している。



複数回答のため 合計は100%に ならない  上段：回答者数 下段：構成比  ■ 上位1項目		サンプル数	施設における講座や教室の公	公民館や図書館などの公	座や教室、通信教育	ポータルセンターやス	学校の公開講座や教室	学校の正規課程	職場の教育、研修	同好者が自主的に行ってい	る集まり、サークル活動	図書館、博物館、美術館の	利用	ラジオやテレビの視聴	情報端末やインターネット	の利用	自宅での学習活動	その他	わからない	無回答								
全体		420	123	76	27	27	83	96	70	67	156	158	18	10	9	29.3%	18.1%	6.4%	6.4%	19.8%	22.9%	16.7%	37.1%	37.6%	4.3%	2.4%	2.1%	
前回調査(H27)		255	112	66	21	16	45	92	48	40	53	83	10	4	4	43.9%	25.9%	8.2%	6.3%	17.6%	36.1%	18.8%	15.7%	20.8%	32.5%	3.9%	1.6%	1.6%
性別	男性	190	45	23	11	14	40	43	32	33	79	69	8	5	3	23.7%	12.1%	5.8%	7.4%	21.1%	22.6%	16.8%	17.4%	41.6%	36.3%	4.2%	2.6%	1.6%
	女性	213	71	51	15	13	41	47	35	33	70	85	10	4	6	33.3%	23.9%	7.0%	6.1%	19.2%	22.1%	16.4%	15.5%	32.9%	39.9%	4.7%	1.9%	2.8%
	無回答	17	7	2	1	0	2	6	3	1	7	4	0	1	0	41.2%	11.8%	5.9%	0.0%	11.8%	35.3%	17.6%	5.9%	41.2%	23.5%	0.0%	5.9%	0.0%
年代別	18～29歳	50	7	5	8	20	12	12	9	6	23	21	0	2	0	14.0%	10.0%	16.0%	40.0%	24.0%	24.0%	18.0%	12.0%	46.0%	42.0%	0.0%	4.0%	0.0%
	30～39歳	32	6	6	3	4	10	4	6	4	18	15	0	0	0	18.8%	18.8%	9.4%	12.5%	31.3%	12.5%	18.8%	12.5%	56.3%	46.9%	0.0%	0.0%	0.0%
	40～49歳	52	10	12	4	1	17	6	7	6	24	22	2	3	0	19.2%	23.1%	7.7%	1.9%	32.7%	11.5%	13.5%	11.5%	46.2%	42.3%	3.8%	5.8%	0.0%
	50～59歳	58	9	12	1	0	14	14	5	11	31	28	2	1	0	15.5%	20.7%	1.7%	0.0%	24.1%	24.1%	8.6%	19.0%	53.4%	48.3%	3.4%	1.7%	0.0%
	60～69歳	123	42	24	6	1	26	20	27	23	35	43	10	3	2	34.1%	19.5%	4.9%	0.8%	21.1%	16.3%	22.0%	18.7%	28.5%	35.0%	8.1%	2.4%	1.6%
	70～79歳	89	41	13	4	1	4	33	12	15	21	24	4	1	6	46.1%	14.6%	4.5%	1.1%	4.5%	37.1%	13.5%	16.9%	23.6%	27.0%	4.5%	1.1%	6.7%
	80歳以上	10	6	3	0	0	0	4	2	2	1	3	0	0	1	60.0%	30.0%	0.0%	0.0%	40.0%	20.0%	20.0%	20.0%	10.0%	30.0%	0.0%	0.0%	10.0%
	無回答	6	2	1	1	0	0	3	2	0	3	2	0	2	0	33.3%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
満足度	満足している	134	46	32	9	7	30	31	27	20	40	50	8	2	1	34.3%	23.9%	6.7%	5.2%	22.4%	23.1%	20.1%	14.9%	29.9%	37.3%	6.0%	1.5%	0.7%
	どちらかといえば満足している	221	63	35	15	16	41	57	32	33	94	85	6	3	3	28.5%	15.8%	6.8%	7.2%	18.6%	25.8%	14.5%	14.9%	42.5%	38.5%	2.7%	1.4%	1.4%
	どちらかといえば満足していない	32	7	5	2	3	6	2	9	12	16	17	2	1	0	21.9%	15.6%	6.3%	9.4%	18.8%	6.3%	28.1%	37.5%	50.0%	53.1%	6.3%	3.1%	0.0%
	満足していない	13	4	3	0	1	3	3	1	1	4	2	0	0	0	30.8%	23.1%	0.0%	7.7%	23.1%	23.1%	7.7%	7.7%	30.8%	15.4%	0.0%	0.0%	0.0%
	わからない	14	3	0	1	0	2	3	1	1	2	3	2	4	1	21.4%	0.0%	7.1%	0.0%	14.3%	21.4%	7.1%	7.1%	14.3%	21.4%	14.3%	28.6%	7.1%
	無回答	6	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	4	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	66.7%

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

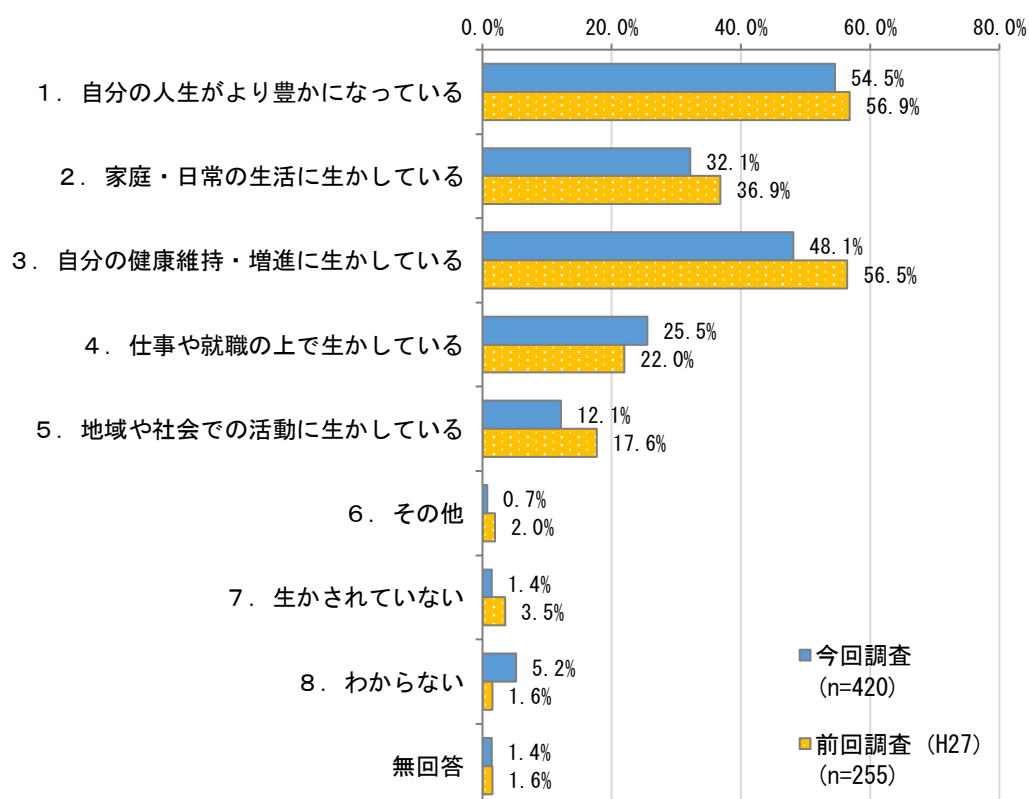
第7章

問1-5 【問1で「1」~「12」と回答した方に伺います。】

あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験が、ご自身にとってどのように生かされていると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

身につけた知識・技能や経験が、どのように生かされているかについては、「自分の人生がより豊かになっている」54.5%が最も高く、次いで「自分の健康維持・増進に生かしている」48.1%、「家庭・日常の生活に生かしている」32.1%となっている。

前回調査と比較すると、「自分の健康維持・増進に生かしている」、「地域や社会での活動に生かしている」はいずれも5ポイント以上減少している。



複数回答のため 合計は100%に ならない  上段: 回答者数 下段: 構成比  ■ 上位1項目		サ ン プ ル 数	か に な っ て い る	自 分 の 人 生 が よ り 豊 か に な っ て い る	家 庭 ・ 日 常 の 生 活 に 生 か し て い る	自 分 の 健 康 維 持 ・ 増 進 に 生 か し て い る	仕 事 や 就 職 の 上 で 生 か し て い る	地 域 や 社 会 で の 活 動 に 生 か し て い る	そ の 他	生 か さ れ て い ない	わ か ら な い	無 回 答
全体	420	229 54.5%	135 32.1%	202 48.1%	107 25.5%	51 12.1%	3 0.7%	6 1.4%	22 5.2%	6 1.4%		
前回調査(H27)	255	145 56.9%	94 36.9%	144 56.5%	56 22.0%	45 17.6%	5 2.0%	9 3.5%	4 1.6%	4 1.6%		
性別	男性	190	104 54.7%	56 29.5%	99 52.1%	54 28.4%	27 14.2%	1 0.5%	1 0.5%	10 5.3%	2 1.1%	
	女性	213	116 54.5%	73 34.3%	97 45.5%	48 22.5%	22 10.3%	2 0.9%	4 1.9%	11 5.2%	4 1.9%	
	無回答	17	9 52.9%	6 35.3%	6 35.3%	5 29.4%	2 11.8%	0 0.0%	1 5.9%	1 5.9%	0 0.0%	
年代別	18～29歳	50	27 54.0%	13 26.0%	14 28.0%	25 50.0%	4 8.0%	1 2.0%	1 2.0%	5 10.0%	0 0.0%	
	30～39歳	32	19 59.4%	9 28.1%	11 34.4%	11 34.4%	4 12.5%	0 0.0%	3 9.4%	1 3.1%	0 0.0%	
	40～49歳	52	28 53.8%	19 36.5%	19 36.5%	20 38.5%	8 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	3 5.8%	0 0.0%	
	50～59歳	58	38 65.5%	17 29.3%	24 41.4%	21 36.2%	4 6.9%	1 1.7%	1 1.7%	4 6.9%	0 0.0%	
	60～69歳	123	64 52.0%	40 32.5%	70 56.9%	26 21.1%	15 12.2%	0 0.0%	0 0.0%	6 4.9%	1 0.8%	
	70～79歳	89	44 49.4%	31 34.8%	55 61.8%	3 3.4%	11 12.4%	1 1.1%	1 1.1%	3 3.4%	4 4.5%	
	80歳以上	10	5 50.0%	3 30.0%	6 60.0%	0 0.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%	
	無回答	6	4 66.7%	3 50.0%	3 50.0%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
満足度	満足している	134	92 68.7%	40 29.9%	69 51.5%	37 27.6%	17 12.7%	3 2.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	どちらかといえば 満足している	221	115 52.0%	80 36.2%	116 52.5%	58 26.2%	31 14.0%	0 0.0%	1 0.5%	7 3.2%	2 0.9%	
	どちらかといえば 満足していない	32	16 50.0%	9 28.1%	10 31.3%	8 25.0%	2 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	6 18.8%	0 0.0%	
	満足していない	13	4 30.8%	3 23.1%	4 30.8%	3 23.1%	1 7.7%	0 0.0%	4 30.8%	2 15.4%	0 0.0%	
	わからない	14	2 14.3%	3 21.4%	3 21.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.1%	6 42.9%	0 0.0%	
	無回答	6	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	4 66.7%	

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

第7章

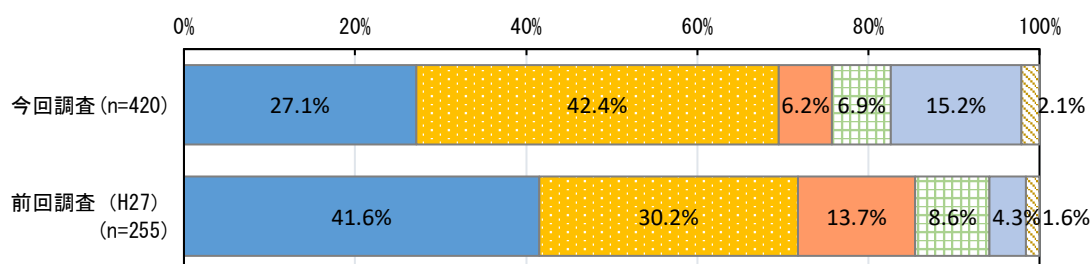
問1-6 【問1で「1」～「12」と回答した方に伺います。】

あなたは、生涯学習を通じて身につけた知識・技能や経験を、仕事や地域活動に生かしたいと思いませんか。(1つに○)

身につけた知識・技能や経験を、仕事や地域活動に生かしたいかについて、『思う』（「思う」＋「どちらかといえば思う」）と回答した割合は全体の69.5%を占める。

前回調査と比較すると、「どちらかといえば思わない」は7.5ポイント減少した一方、「わからない」は10.9ポイント増加している。

■ 思う ■ どちらかといえば思う ■ どちらかといえば思わない ■ 思わない ■ わからない ■ 無回答

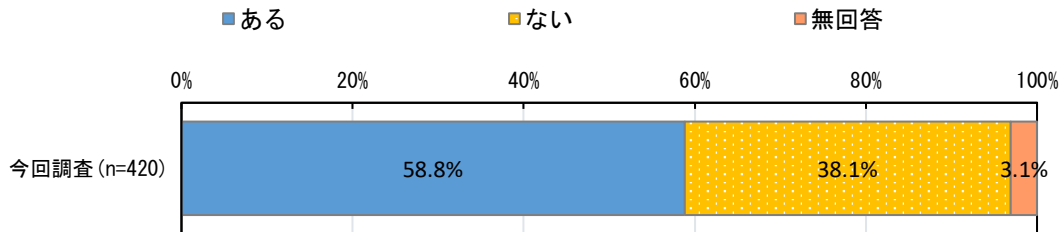


		サンプル数	思う	どちらかといえば思う	どちらかといえば思わない	思わない	わからない	無回答
小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある								
上段: 回答者数 下段: 構成比								
■ 上位1項目								
全体		420	114	178	26	29	64	9
		100.0%	27.1%	42.4%	6.2%	6.9%	15.2%	2.1%
前回調査 (H27)		255	106	77	35	22	11	4
		100.0%	41.6%	30.2%	13.7%	8.6%	4.3%	1.6%
性別	男性	190	49	94	8	11	24	4
		100.0%	25.8%	49.5%	4.2%	5.8%	12.6%	2.1%
	女性	213	63	74	17	17	37	5
	100.0%	29.6%	34.7%	8.0%	8.0%	17.4%	2.3%	
	無回答	17	2	10	1	1	3	0
		100.0%	11.8%	58.8%	5.9%	5.9%	17.6%	0.0%
年代別	18～29歳	50	22	21	2	2	3	0
		100.0%	44.0%	42.0%	4.0%	4.0%	6.0%	0.0%
	30～39歳	32	10	13	1	2	6	0
		100.0%	31.3%	40.6%	3.1%	6.3%	18.8%	0.0%
	40～49歳	52	14	22	4	1	11	0
		100.0%	26.9%	42.3%	7.7%	1.9%	21.2%	0.0%
	50～59歳	58	20	25	0	5	8	0
		100.0%	34.5%	43.1%	0.0%	8.6%	13.8%	0.0%
60～69歳	123	31	53	8	7	22	2	
	100.0%	25.2%	43.1%	6.5%	5.7%	17.9%	1.6%	
70～79歳	89	16	33	11	11	12	6	
	100.0%	18.0%	37.1%	12.4%	12.4%	13.5%	6.7%	
80歳以上	10	1	6	0	1	1	1	
	100.0%	10.0%	60.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	
	無回答	6	0	5	0	0	1	0
		100.0%	0.0%	83.3%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
満足度	満足している	134	45	50	11	7	20	1
		100.0%	33.6%	37.3%	8.2%	5.2%	14.9%	0.7%
	どちらかといえば満足している	221	56	106	13	12	31	3
		100.0%	25.3%	48.0%	5.9%	5.4%	14.0%	1.4%
	どちらかといえば満足していない	32	8	14	1	4	5	0
		100.0%	25.0%	43.8%	3.1%	12.5%	15.6%	0.0%
満足していない	13	2	6	1	3	1	0	
	100.0%	15.4%	46.2%	7.7%	23.1%	7.7%	0.0%	
わからない	14	2	2	0	3	6	1	
	100.0%	14.3%	14.3%	0.0%	21.4%	42.9%	7.1%	
	無回答	6	1	0	0	0	1	4
		100.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	66.7%

## 問1-7 【問1で「1」～「12」と回答した方に伺います。】

あなたは、情報端末やインターネットを利用して生涯学習を行ったことがありますか。(1つに○)

情報端末やインターネットを利用して生涯学習を行ったことがあるかについては、「ある」58.8%、「ない」38.1%となっている。

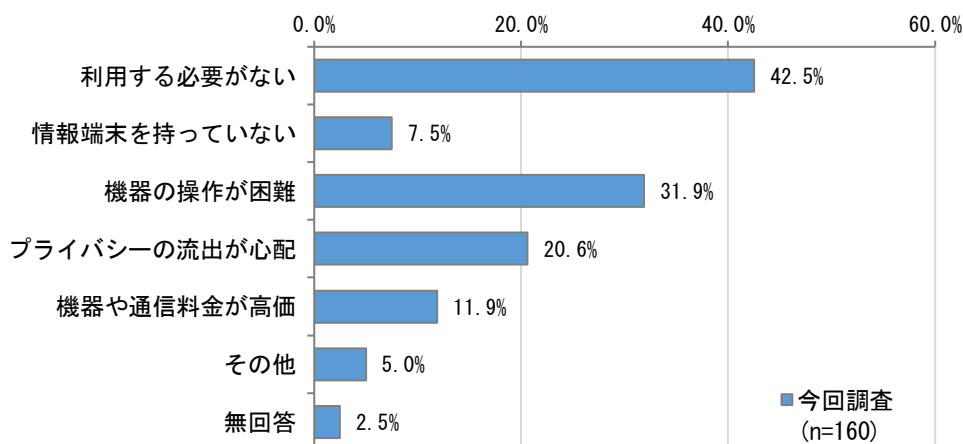


		サンプル数	ある	ない	無回答
小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある					
上段: 回答者数 下段: 構成比					
上位1項目					
全体		420	247	160	13
		100.0%	58.8%	38.1%	3.1%
性別	男性	190	126	62	2
		100.0%	66.3%	32.6%	1.1%
	女性	213	115	87	11
	100.0%	54.0%	40.8%	5.2%	
	無回答	17	6	11	0
		100.0%	35.3%	64.7%	0.0%
年代別	18～29歳	50	38	11	1
		100.0%	76.0%	22.0%	2.0%
	30～39歳	32	25	6	1
		100.0%	78.1%	18.8%	3.1%
	40～49歳	52	37	15	0
		100.0%	71.2%	28.8%	0.0%
	50～59歳	58	41	15	2
		100.0%	70.7%	25.9%	3.4%
	60～69歳	123	63	58	2
	100.0%	51.2%	47.2%	1.6%	
70～79歳	89	40	44	5	
	100.0%	44.9%	49.4%	5.6%	
80歳以上	10	1	7	2	
	100.0%	10.0%	70.0%	20.0%	
	無回答	6	2	4	0
		100.0%	33.3%	66.7%	0.0%
満足度	満足している	134	73	60	1
		100.0%	54.5%	44.8%	0.7%
	どちらかといえば満足している	221	142	71	8
		100.0%	64.3%	32.1%	3.6%
	どちらかといえば満足していない	32	22	10	0
		100.0%	68.8%	31.3%	0.0%
	満足していない	13	7	6	0
	100.0%	53.8%	46.2%	0.0%	
わからない	14	2	12	0	
	100.0%	14.3%	85.7%	0.0%	
	無回答	6	1	1	4
		100.0%	16.7%	16.7%	66.7%

問1-8 【問1-7で「2 ない」と回答した方に伺います。】

利用しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

利用しない理由については、「利用する必要がない」42.5%が最も高く、次いで「機器の操作が困難」31.9%、「プライバシーの流出が心配」20.6%となっている。

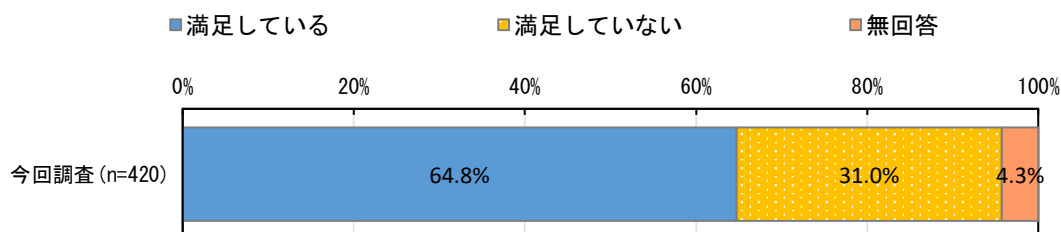


複数回答のため 合計は100%に ならない		サ ン プ ル 数	利 用 す る 必 要 が な い	情 報 端 末 を 持 っ て い な い	機 器 の 操 作 が 困 難	プ ラ イ バ シ ー の 流 出 が 心 配	機 器 や 通 信 料 金 が 高 価	そ の 他	無 回 答
上段: 回答者数	下段: 構成比								
全体		160	68 42.5%	12 7.5%	51 31.9%	33 20.6%	19 11.9%	8 5.0%	4 2.5%
性別	男性	62	31 50.0%	1 1.6%	14 22.6%	11 17.7%	8 12.9%	5 8.1%	1 1.6%
	女性	87	35 40.2%	10 11.5%	33 37.9%	19 21.8%	9 10.3%	2 2.3%	2 2.3%
	無回答	11	2 18.2%	1 9.1%	4 36.4%	3 27.3%	2 18.2%	1 9.1%	1 9.1%
年代別	18~29歳	11	7 63.6%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 9.1%	2 18.2%
	30~39歳	6	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%
	40~49歳	15	10 66.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	3 20.0%	1 6.7%	0 0.0%
	50~59歳	15	7 46.7%	0 0.0%	2 13.3%	3 20.0%	1 6.7%	2 13.3%	0 0.0%
	60~69歳	58	26 44.8%	3 5.2%	18 31.0%	17 29.3%	5 8.6%	1 1.7%	2 3.4%
	70~79歳	44	14 31.8%	7 15.9%	22 50.0%	7 15.9%	8 18.2%	2 4.5%	0 0.0%
	80歳以上	7	1 14.3%	2 28.6%	5 71.4%	2 28.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	4	1 25.0%	0 0.0%	2 50.0%	1 25.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%
満足度	満足している	60	31 51.7%	6 10.0%	18 30.0%	12 20.0%	7 11.7%	1 1.7%	0 0.0%
	どちらかといえば満足している	71	30 42.3%	5 7.0%	20 28.2%	14 19.7%	8 11.3%	6 8.5%	2 2.8%
	どちらかといえば満足していない	10	3 30.0%	1 10.0%	5 50.0%	3 30.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 10.0%
	満足していない	6	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%
	わからない	12	3 25.0%	0 0.0%	5 41.7%	3 25.0%	3 25.0%	1 8.3%	0 0.0%
	無回答	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

問1-9 【問1で「1」～「12」と回答した方に伺います。】

あなたは、現在の学習内容や活動の環境に満足していますか。(1つに○)

現在の学習内容や活動の環境に満足しているかについて、「満足している」64.8%、「満足していない」31.0%となっている。



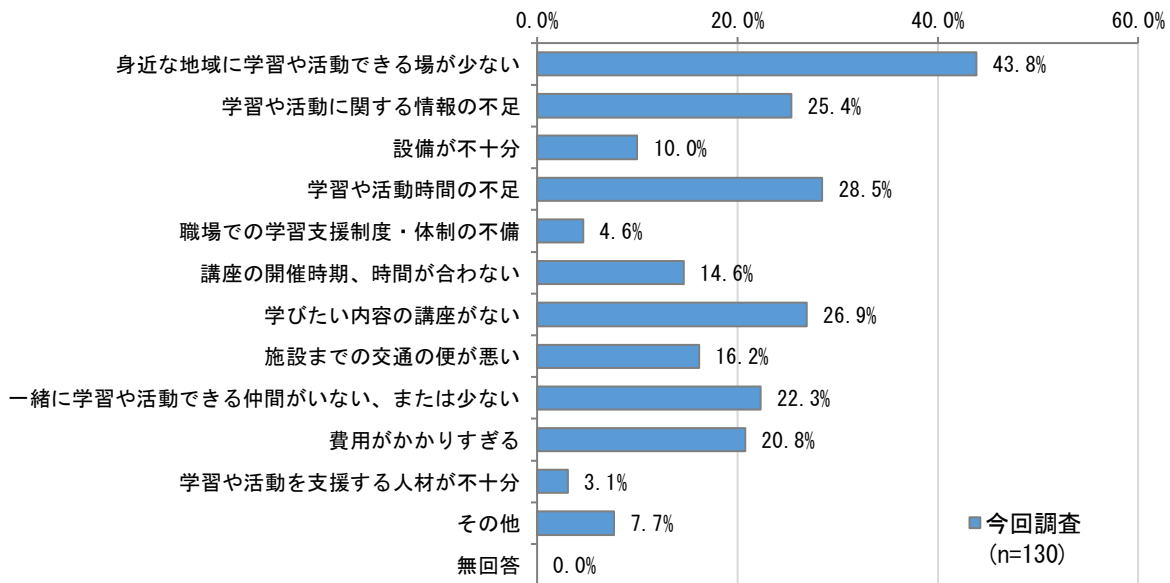
		サンプル数	満足している	満足していない	無回答
<small>小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある</small> <small>上段: 回答者数</small> <small>下段: 構成比</small> <small>上位1項目</small>					
全体		420	272 64.8%	130	18 4.3%
性別	男性	190	129 67.9%	55	6 3.2%
	女性	213	135 63.4%	66	12 5.6%
	無回答	17	8 47.1%	9	0 0.0%
年代別	18～29歳	50	31 62.0%	17	2 4.0%
	30～39歳	32	20 62.5%	11	1 3.1%
	40～49歳	52	34 65.4%	17	1 1.9%
	50～59歳	58	37 63.8%	18	3 5.2%
	60～69歳	123	86 69.9%	33	4 3.3%
	70～79歳	89	56 62.9%	28	5 5.6%
	80歳以上	10	5 50.0%	3	2 20.0%
	無回答	6	3 50.0%	3	0 0.0%
満足度	満足している	134	107 79.9%	22	5 3.7%
	どちらかといえば満足している	221	143 64.7%	72	6 2.7%
	どちらかといえば満足していない	32	10 31.3%	20	2 6.3%
	満足していない	13	4 30.8%	9	0 0.0%
	わからない	14	6 42.9%	7	1 7.1%
	無回答	6	2 33.3%	0	4 66.7%

問1-10【問1-9で「2 満足していない」と回答した方に伺います。】

学習内容や活動の環境に満足していない理由は何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

学習内容や活動の環境に満足していない理由については、「身近な地域に学習や活動できる場が少ない」43.8%が最も高く、次いで「学習や活動時間の不足」28.5%、「学びたい内容の講座がない」26.9%となっている。

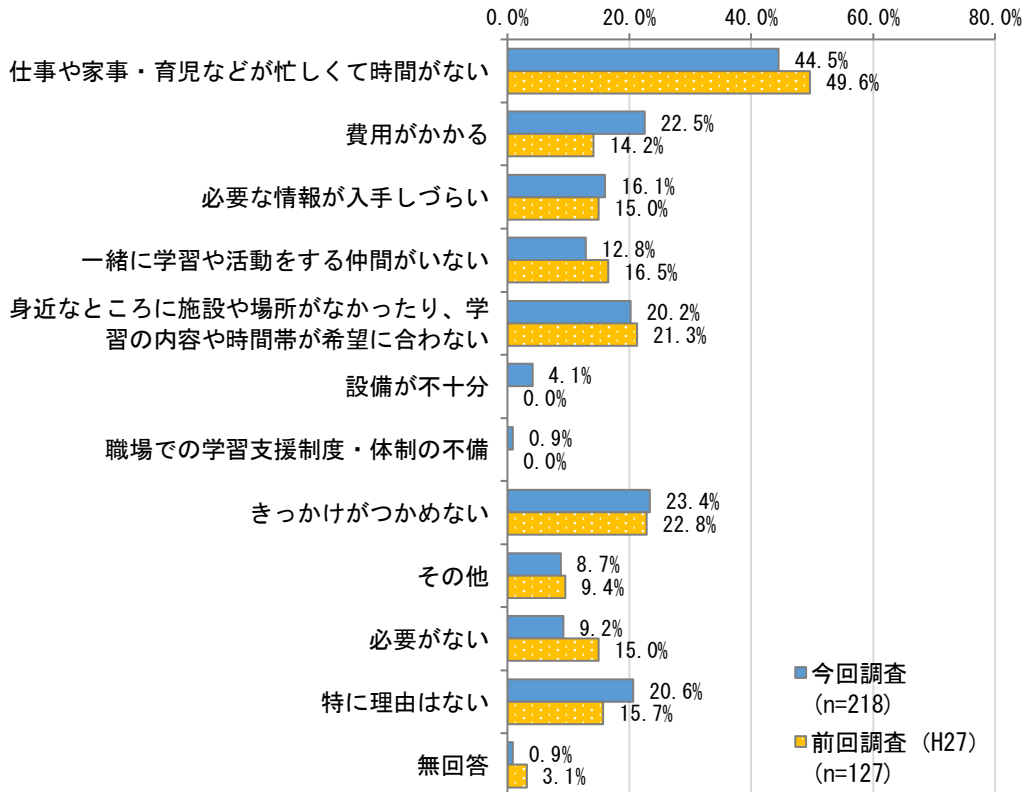


複数回答のため合計は100%にならない		サンプル数	身近な地域に学習や活動できる場が少ない	学習や活動に関する情報の不足	設備が不十分	学習や活動時間の不足	職場での学習支援制度・体制の不備	講座の開催時期、時間が合わない	学びたい内容の講座がない	施設までの交通の便が悪い	一緒に学習や活動できる仲間が少ない	費用がかかりすぎる	学習や活動を支援する人材が不十分	その他	無回答
上段: 回答者数	下段: 構成比														
全体		130	57 43.8%	33 25.4%	13 10.0%	37 28.5%	6 4.6%	19 14.6%	35 26.9%	21 16.2%	29 22.3%	27 20.8%	4 3.1%	10 7.7%	0 0.0%
性別	男性	55	30 54.5%	15 27.3%	8 14.5%	18 32.7%	1 1.8%	7 12.7%	9 16.4%	6 10.9%	15 27.3%	10 18.2%	1 1.8%	3 5.5%	0 0.0%
	女性	66	23 34.8%	15 22.7%	4 6.1%	18 27.3%	4 6.1%	10 15.2%	24 36.4%	13 19.7%	13 19.7%	16 24.2%	3 4.5%	6 9.1%	0 0.0%
	無回答	9	4 44.4%	3 33.3%	1 11.1%	1 11.1%	1 11.1%	2 22.2%	2 22.2%	2 22.2%	2 22.2%	1 11.1%	1 11.1%	0 0.0%	1 11.1%
年代別	18~29歳	17	7 41.2%	7 41.2%	1 5.9%	6 35.3%	1 5.9%	2 11.8%	4 23.5%	2 11.8%	7 41.2%	3 17.6%	0 0.0%	2 11.8%	0 0.0%
	30~39歳	11	5 45.5%	2 18.2%	0 0.0%	8 72.7%	1 9.1%	3 27.3%	2 18.2%	2 18.2%	1 9.1%	4 36.4%	0 0.0%	1 9.1%	0 0.0%
	40~49歳	17	8 47.1%	2 11.8%	2 11.8%	7 41.2%	1 5.9%	3 17.6%	4 23.5%	3 17.6%	3 17.6%	6 35.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	50~59歳	18	9 50.0%	1 5.6%	1 5.6%	8 44.4%	2 11.1%	3 16.7%	3 16.7%	1 5.6%	4 22.2%	6 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	60~69歳	33	14 42.4%	9 27.3%	3 9.1%	4 12.1%	1 3.0%	3 9.1%	12 36.4%	5 15.2%	5 15.2%	4 12.1%	3 9.1%	3 9.1%	0 0.0%
	70~79歳	28	10 35.7%	10 35.7%	6 21.4%	3 10.7%	0 0.0%	3 10.7%	7 25.0%	7 25.0%	7 25.0%	4 14.3%	0 0.0%	4 14.3%	0 0.0%
	80歳以上	3	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	3 100.0%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%
	無回答	3	3 100.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
満足度	満足している	22	9 40.9%	5 22.7%	2 9.1%	7 31.8%	0 0.0%	3 13.6%	7 31.8%	5 22.7%	6 27.3%	7 31.8%	0 0.0%	3 13.6%	0 0.0%
	どちらかといえば満足している	72	32 44.4%	21 29.2%	9 12.5%	18 25.0%	4 5.6%	15 20.8%	19 26.4%	10 13.9%	13 18.1%	12 16.7%	2 2.8%	3 4.2%	0 0.0%
	どちらかといえば満足していない	20	8 40.0%	4 20.0%	1 5.0%	8 40.0%	1 5.0%	1 5.0%	5 25.0%	2 10.0%	4 20.0%	4 20.0%	1 5.0%	1 5.0%	0 0.0%
	満足していない	9	7 77.8%	3 33.3%	0 0.0%	3 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 33.3%	2 22.2%	3 33.3%	3 33.3%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%
	わからない	7	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%	1 14.3%	2 28.6%	3 42.9%	1 14.3%	1 14.3%	0 0.0%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

問1-11 【問1で「13 生涯学習をしていない」と回答した方に伺います。  
 あなたが、生涯学習を行っていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

生涯学習を行っていない理由については、「仕事や家事・育児などが忙しくて時間がない」44.5%が最も高く、次いで「きっかけがつかめない」23.4%、「費用がかかる」22.5%となっている。

前回調査と比較すると、「仕事や家事・育児などが忙しくて時間がない」、「必要がない」はいずれも5ポイント以上減少した一方、「費用がかかる」は8.3ポイント増加している。



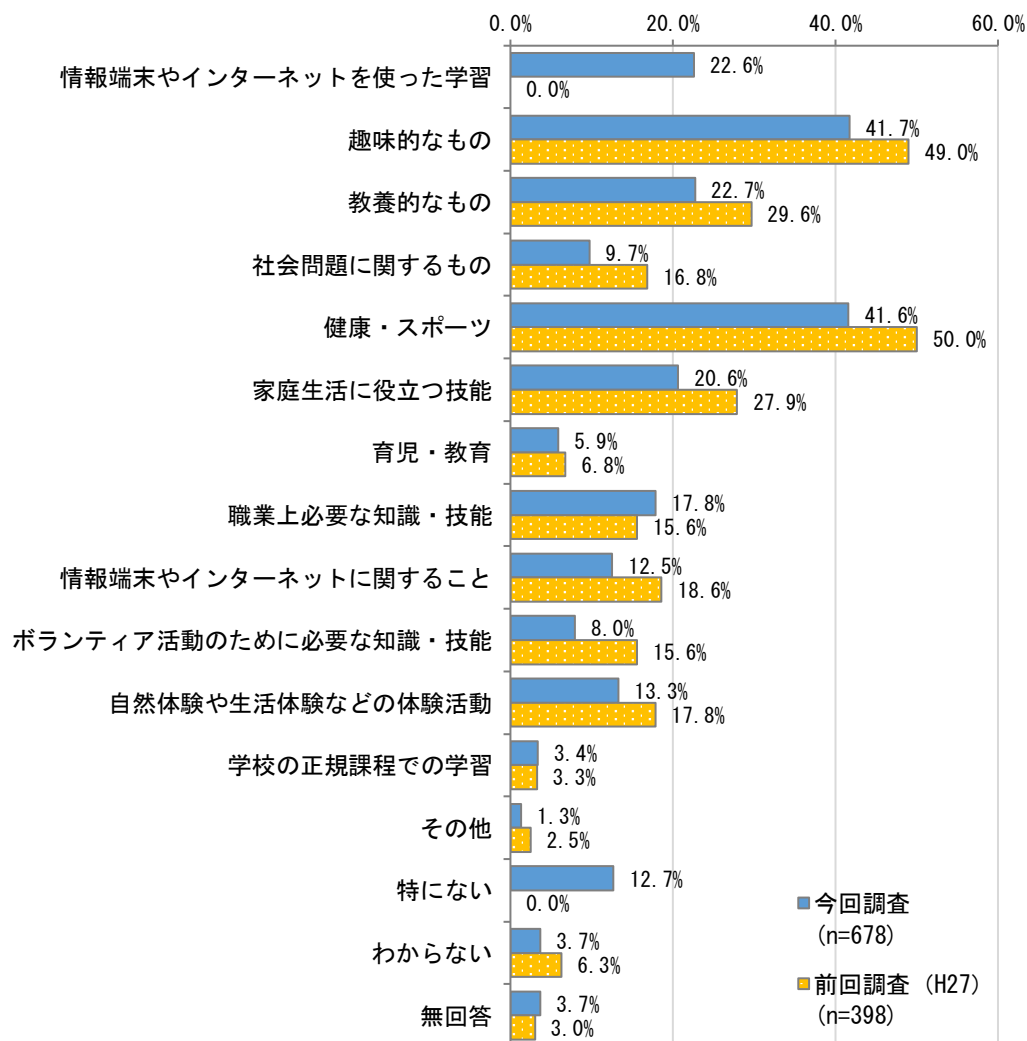
複数回答のため合計は100%にならない 上段:回答者数 下段:構成比 上段1項目		サンプル数	仕事や家事・育児などが忙しくて時間がない	費用がかかる	必要な情報が入手しづらい	一緒に学習や活動をする仲間がいない	身近なところに施設や場所がなかったり、学習の内容や時間帯が希望に合わない	設備が不十分	職場での学習支援制度・体制の不備	きっかけがつかめない	その他	必要がない	特に理由はない	無回答
全体		218	97 44.5%	49 22.5%	35 16.1%	28 12.8%	44 20.2%	9 4.1%	2 0.9%	51 23.4%	19 8.7%	20 9.2%	45 20.6%	2 0.9%
前回調査(H27)		127	63 49.6%	18 14.2%	19 15.0%	21 16.5%	27 21.3%	-	-	29 22.8%	12 9.4%	19 15.0%	20 15.7%	4 3.1%
性別	男性	94	36 38.3%	20 21.3%	15 16.0%	11 11.7%	12 12.8%	5 5.3%	2 2.1%	23 24.5%	7 7.4%	13 13.8%	22 23.4%	0 0.0%
	女性	115	59 51.3%	27 23.5%	17 14.8%	17 14.8%	31 27.0%	4 3.5%	0 0.0%	27 23.5%	10 8.7%	6 5.2%	21 18.3%	1 0.9%
	無回答	9	2 22.2%	2 22.2%	3 33.3%	0 0.0%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%
年代別	18~29歳	8	6 75.0%	3 37.5%	2 25.0%	1 12.5%	2 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	1 12.5%	0 0.0%
	30~39歳	12	6 50.0%	4 33.3%	1 8.3%	3 25.0%	2 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	2 16.7%	1 8.3%	3 25.0%	2 16.7%	0 0.0%
	40~49歳	33	19 57.6%	11 33.3%	7 21.2%	6 18.2%	7 21.2%	3 9.1%	0 0.0%	13 39.4%	4 12.1%	1 3.0%	2 6.1%	0 0.0%
	50~59歳	39	21 53.8%	12 30.8%	6 15.4%	4 10.3%	11 28.2%	3 7.7%	2 5.1%	10 25.6%	3 7.7%	2 5.1%	8 20.5%	0 0.0%
	60~69歳	75	36 48.0%	15 20.0%	11 14.7%	9 12.0%	13 17.3%	3 4.0%	0 0.0%	15 20.0%	4 5.3%	8 10.7%	14 18.7%	0 0.0%
	70~79歳	40	8 20.0%	2 5.0%	5 12.5%	5 12.5%	8 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	9 22.5%	4 10.0%	5 12.5%	14 35.0%	1 2.5%
	80歳以上	5	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 40.0%	1 20.0%	1 40.0%	0 0.0%
	無回答	6	1 16.7%	2 33.3%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	1 16.7%

## 2. 生涯学習に関する今後の意向について

問2 あなたは、どのような生涯学習をしたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

どのような生涯学習をしたいかについては、「趣味的なもの」41.7%が最も高く、次いで「健康・スポーツ」41.6%、「教養的なもの」22.7%となっている。

前回調査と比較すると、「趣味的なもの」、「教養的なもの」、「社会問題に関するもの」、「健康・スポーツ」、「家庭生活に役立つ技能」、「情報端末やインターネットに関すること」、「ボランティア活動のために必要な知識・技能」は6ポイント以上減少している。



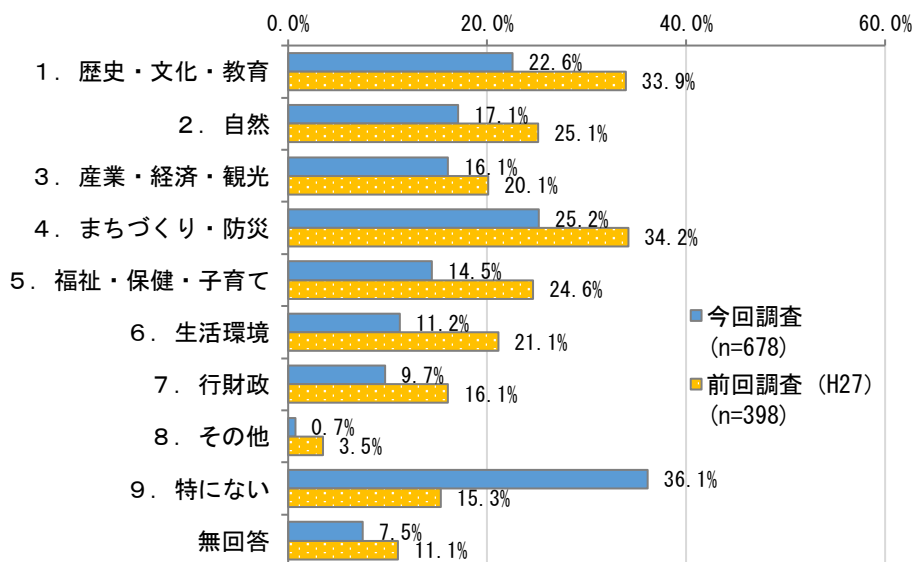
複数回答のため 合計は100%に ならない  上段: 回答者数 下段: 構成比  ■ 上位1項目		サンプル数	情報端末やインターネットを使った学習	趣味的なもの	教養的なもの	社会問題に関するもの	健康・スポーツ	家庭生活に役立つ技能	育児・教育	職業上必要な知識・技能	情報端末やインターネットに関すること	ボランティア活動のために必要な知識・技能	自然体験や生活体験などの体験活動	学校の正規課程での学習	その他	特になし	わからない	無回答
全体	678	153	283	154	66	282	140	40	121	85	54	90	23	9	86	25	25	
前回調査(H27)	398	-	195	118	67	199	111	27	62	74	62	71	13	10	-	25	12	
性別	男性	301	83	94	71	35	132	31	15	54	40	24	48	12	3	47	12	6
	女性	346	66	173	75	27	140	103	24	64	38	28	38	11	5	37	12	14
	無回答	31	4	16	8	4	10	6	1	3	7	2	4	0	1	2	1	5
年代別	18~29歳	60	14	29	18	7	21	8	6	31	11	4	7	8	1	3	3	0
	30~39歳	45	15	24	13	7	19	15	11	18	8	3	8	2	0	3	0	2
	40~49歳	89	26	40	22	10	34	18	9	32	9	6	11	4	0	8	6	3
	50~59歳	100	30	47	21	10	46	24	5	19	15	9	16	5	1	11	4	1
	60~69歳	207	40	78	46	16	95	44	3	18	23	20	22	4	2	31	6	7
	70~79歳	146	25	53	29	13	57	27	5	3	15	10	21	0	4	26	5	6
	80歳以上	16	2	5	3	0	5	1	0	0	1	1	3	0	1	3	1	1
	無回答	15	1	7	2	3	5	3	1	0	3	1	2	0	0	1	0	5
満足度	満足している	134	32	71	49	15	64	30	14	29	25	8	21	5	0	7	0	1
	どちらかといえば満足している	221	70	107	55	34	124	59	19	40	32	28	42	9	2	5	4	3
	どちらかといえば満足していない	32	12	18	11	4	16	7	2	10	7	2	2	2	1	1	0	0
	満足していない	13	5	8	2	1	4	4	1	5	2	1	3	0	2	0	0	0
	わからない	14	2	5	1	0	3	3	1	3	1	1	2	1	1	4	0	1
	無回答	6	0	0	3	1	2	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	1

- 第1章
- 第2章
- 第3章
- 第4章
- 第5章
- 第6章
- 第7章

問3 小川町の町民が、知っておくべきことや学ぶべきことは、何だと思いますか。  
 (あてはまるものすべてに○) また、1~7を選んだ方は、具体的な内容をお書きください。

町民が、知っておくべきことや学ぶべきことは何かについて、「特にない」36.1%が最も高く、次いで「まちづくり・防災」25.2%、「歴史・文化・教育」22.6%となっている。

前回調査と比較すると、「特にない」を除く全ての項目で減少しており、「歴史・文化・教育」、「福祉・保健・子育て」はいずれも10ポイント以上減少している。



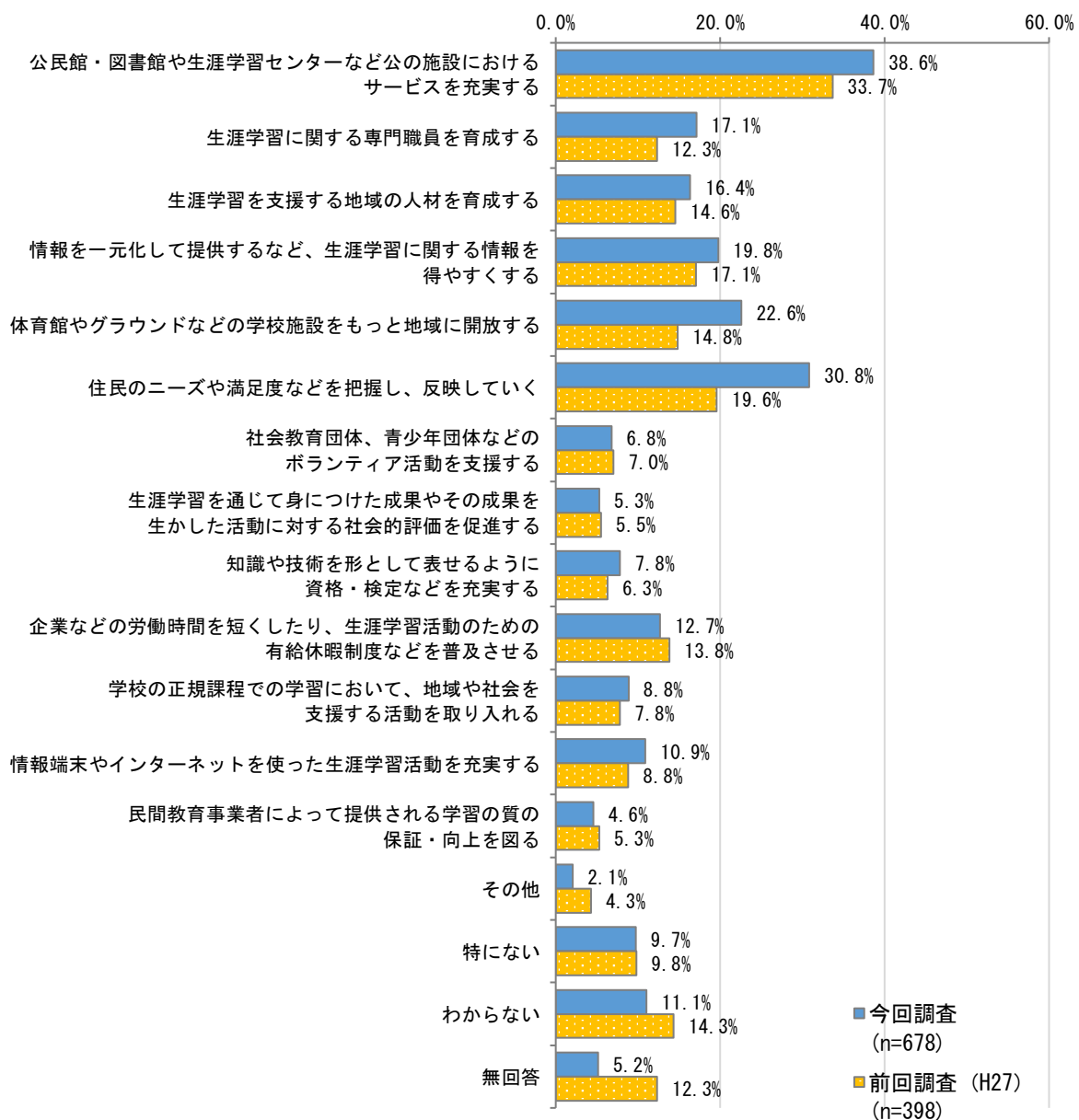
複数回答のため 合計は100%に ならない	サンプル数	歴史・文化・教育	自然	産業・経済・観光	まちづくり・防災	福祉・保健・子育て	生活環境	行財政	その他	特にない	無回答	
		上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	
全体	678	153 22.6%	116 17.1%	109 16.1%	171 25.2%	98 14.5%	76 11.2%	66 9.7%	5 0.7%	245 36.1%	51 7.5%	
前回調査(H27)	398	135 33.9%	100 25.1%	80 20.1%	136 34.2%	98 24.6%	84 21.1%	64 16.1%	14 3.5%	61 15.3%	44 11.1%	
性別	男性	301 26.9%	81 18.9%	57 19.6%	59 24.6%	74 13.3%	40 11.6%	35 11.6%	35 11.6%	4 1.3%	106 35.2%	14 4.7%
	女性	346 20.2%	70 15.9%	55 13.6%	47 26.6%	92 15.6%	54 11.0%	38 8.1%	28 0.3%	1 37.3%	129 8.1%	28 8.1%
	無回答	31 6.5%	2 12.9%	4 9.7%	3 16.1%	5 12.9%	4 9.7%	3 9.7%	3 0.0%	0 32.3%	10 29.0%	9 29.0%
年代別	18~29歳	60 18.3%	11 15.0%	9 20.0%	12 26.7%	16 16.7%	10 5.0%	3 8.3%	5 3.3%	2 36.7%	22 6.7%	4 6.7%
	30~39歳	45 26.7%	12 33.3%	15 20.0%	9 22.2%	10 24.4%	11 4.4%	2 11.1%	5 0.0%	0 37.8%	17 2.2%	1 2.2%
	40~49歳	89 29.2%	26 12.4%	11 14.6%	13 23.6%	21 14.6%	13 5.6%	5 13.5%	12 0.0%	0 37.1%	33 6.7%	6 6.7%
	50~59歳	100 20.0%	20 22.0%	22 19.0%	19 15.0%	15 17.0%	17 13.0%	13 9.0%	9 1.0%	1 37.0%	37 4.0%	4 4.0%
	60~69歳	207 21.7%	45 13.5%	28 13.0%	27 29.0%	60 10.6%	22 9.2%	19 8.2%	17 0.0%	0 37.2%	77 7.2%	15 7.2%
	70~79歳	146 23.3%	34 18.5%	27 15.8%	23 30.1%	44 12.3%	18 18.5%	27 11.0%	16 1.4%	2 34.2%	50 8.2%	12 8.2%
	80歳以上	16 25.0%	4 18.8%	3 25.0%	4 18.8%	3 25.0%	4 25.0%	4 6.3%	1 0.0%	0 31.3%	5 18.8%	3 18.8%
	無回答	15 6.7%	1 6.7%	1 13.3%	2 13.3%	2 20.0%	3 20.0%	3 6.7%	1 0.0%	0 26.7%	4 40.0%	6 40.0%
満足度	満足している	134 26.9%	36 17.2%	23 20.1%	27 27.6%	37 13.4%	18 9.7%	13 6.7%	9 0.7%	1 35.1%	47 4.5%	6 4.5%
	どちらかといえば満足している	221 31.2%	69 25.3%	56 19.0%	42 29.4%	65 18.1%	40 14.0%	31 11.8%	26 0.9%	2 27.1%	60 6.3%	14 6.3%
	どちらかといえば満足していない	32 15.6%	5 9.4%	3 18.8%	6 21.9%	7 25.0%	8 9.4%	3 25.0%	8 0.0%	0 34.4%	11 3.1%	1 3.1%
	満足していない	13 15.4%	2 23.1%	3 15.4%	2 30.8%	4 7.7%	1 15.4%	2 23.1%	3 0.0%	0 23.1%	3 7.7%	1 7.7%
	わからない	14 0.0%	0 7.1%	1 14.3%	2 42.9%	6 14.3%	2 21.4%	3 7.1%	1 0.0%	0 42.9%	6 14.3%	2 14.3%
	無回答	6 16.7%	1 16.7%	1 0.0%	0 33.3%	2 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	0 0.0%	3 50.0%	1 16.7%

### 3. 生涯学習の振興方策について

問4 あなたは、町民の生涯学習をより盛んにしていくために、国や地方自治体はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

国や地方自治体はどのようなことに力を入れるべきかについては、「公民館・図書館や生涯学習センターなど公の施設におけるサービスを充実する」38.6%が最も高く、次いで「住民のニーズや満足度などを把握し、反映していく」30.8%、「体育館やグラウンドなどの学校施設をもっと地域に開放する」22.6%となっている。

前回調査と比較すると、「体育館やグラウンドなどの学校施設をもっと地域に開放する」、「住民のニーズや満足度などを把握し、反映していく」は7ポイント以上増加している。



		サンプル数	公民館・図書館や生涯学習センターなど公の施設におけるサービ	生涯学習に関する専門職員を育成	生涯学習を支援する地域の人材を育成	生涯学習に関する情報を得やすく	情報を一元化して提供するなど、設をもっと地域に開放する	体育館やグラウンドなどの学校施設をもっと地域に開放する	住民のニーズや満足度などを把握し、反映していく	社会教育団体、青少年団体などのボランティア活動を支援する	生涯学習を通じて身につけた成果やその成果を生かした活動に対する社会的評価を促進する	知識や技術を形として表せるように資格・検定などを充実する	暇制度などを普及させる	企業などの労働時間を短くしたり、生涯学習活動のための有給休暇制度などを普及させる	学校の正規課程での学習において、地域や社会を支援する活動を取り入れる	情報端末やインターネットを使った生涯学習活動を充実する	民間教育事業者によって提供される学習の質の保証・向上を図る	その他	特にな	わからない	無回答	
複数回答のため合計は100%にならない 上段:回答者数 下段:構成比 ■ 上位1項目																						
全体		678 -	262 38.6%	116 17.1%	111 16.4%	134 19.8%	153 22.6%	209 30.8%	46 6.8%	36 5.3%	53 7.8%	86 12.7%	60 8.8%	74 10.9%	31 4.6%	14 2.1%	66 9.7%	75 11.1%	35 5.2%			
前回調査(H27)		398 -	134 33.7%	49 12.3%	58 14.6%	68 17.1%	59 14.8%	78 19.6%	28 7.0%	22 5.5%	25 6.3%	55 13.8%	31 7.8%	35 8.8%	21 5.3%	17 4.3%	39 9.8%	57 14.3%	49 12.3%			
性別	男性	301 -	115 38.2%	63 20.9%	54 17.9%	67 22.3%	73 24.3%	89 29.6%	23 7.6%	20 6.6%	24 8.0%	45 15.0%	26 8.6%	49 16.3%	15 5.0%	6 2.0%	39 13.0%	26 8.6%	10 3.3%			
	女性	346 -	139 40.2%	52 15.0%	55 15.9%	66 19.1%	70 20.2%	112 32.4%	22 6.4%	15 4.3%	26 7.5%	38 11.0%	32 9.2%	24 6.9%	16 4.6%	7 2.0%	25 7.2%	47 13.6%	18 5.2%			
	無回答	31 -	8 25.8%	1 3.2%	2 6.5%	1 3.2%	10 32.3%	8 25.8%	1 3.2%	1 3.2%	3 9.7%	3 9.7%	2 6.5%	1 3.2%	0 0.0%	2 6.5%	2 6.5%	2 6.5%	7 22.6%			
年代別	18～29歳	60 -	17 28.3%	15 25.0%	11 18.3%	12 20.0%	18 30.0%	18 30.0%	6 10.0%	10 16.7%	6 10.0%	18 30.0%	7 11.7%	12 20.0%	3 5.0%	4 6.7%	6 10.0%	9 15.0%	1 1.7%			
	30～39歳	45 -	21 46.7%	7 15.6%	7 15.6%	16 35.6%	21 46.7%	15 33.3%	3 6.7%	4 8.9%	8 17.8%	10 22.2%	8 17.8%	8 17.8%	4 8.9%	0 0.0%	3 6.7%	1 2.2%	1 2.2%			
	40～49歳	89 -	33 37.1%	20 22.5%	22 24.7%	16 18.0%	28 31.5%	31 34.8%	5 5.6%	6 6.7%	11 12.4%	15 16.9%	10 11.2%	12 13.5%	5 5.6%	3 3.4%	3 3.4%	11 12.4%	3 3.4%			
	50～59歳	100 -	37 37.0%	13 13.0%	16 16.0%	21 21.0%	20 20.0%	34 34.0%	4 4.0%	7 7.0%	8 8.0%	21 21.0%	9 9.0%	9 9.0%	4 4.0%	0 0.0%	5 5.0%	19 19.0%	2 2.0%			
	60～69歳	207 -	89 43.0%	39 18.8%	34 16.4%	38 18.4%	32 15.5%	60 29.0%	13 6.3%	6 2.9%	7 3.4%	19 9.2%	12 5.8%	22 10.6%	11 5.3%	3 1.4%	22 10.6%	19 9.2%	7 3.4%			
	70～79歳	146 -	53 36.3%	20 13.7%	20 13.7%	28 19.2%	26 17.8%	42 28.8%	12 8.2%	2 1.4%	9 6.2%	2 1.4%	14 9.6%	9 6.2%	4 2.7%	3 2.1%	24 16.4%	14 9.6%	13 8.9%			
	80歳以上	16 -	10 62.5%	2 12.5%	1 6.3%	3 18.8%	3 18.8%	4 25.0%	2 12.5%	1 6.3%	2 12.5%	1 6.3%	1 6.3%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	3 18.8%	2 12.5%	1 6.3%		
	無回答	15 -	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 33.3%	5 33.3%	1 6.7%	0 0.0%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	7 46.7%			
満足度	満足している	134 -	59 44.0%	27 20.1%	23 17.2%	24 17.9%	34 25.4%	42 31.3%	13 9.7%	8 6.0%	11 8.2%	20 14.9%	15 11.2%	15 11.2%	7 5.2%	5 3.7%	11 8.2%	6 4.5%	3 2.2%			
	どちらかといえば満足している	221 -	104 47.1%	52 23.5%	51 23.1%	48 21.7%	73 33.0%	85 38.5%	22 10.0%	14 6.3%	19 8.6%	36 16.3%	23 10.4%	35 15.8%	10 4.5%	3 1.4%	9 4.1%	12 5.4%	5 2.3%			
	どちらかといえば満足していない	32 -	15 46.9%	5 15.6%	7 21.9%	5 15.6%	3 9.4%	10 31.3%	2 6.3%	2 6.3%	0 0.0%	2 6.3%	1 3.1%	3 9.4%	3 9.4%	0 0.0%	3 9.4%	4 12.5%	3 9.4%			
	満足していない	13 -	4 30.8%	3 23.1%	4 30.8%	5 38.5%	3 23.1%	5 38.5%	2 15.4%	1 7.7%	2 15.4%	2 15.4%	3 23.1%	1 7.7%	1 7.7%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%			
	わからない	14 -	4 28.6%	1 7.1%	1 7.1%	0 0.0%	2 14.3%	2 14.3%	2 14.3%	2 14.3%	1 7.1%	1 7.1%	2 14.3%	1 7.1%	2 14.3%	0 0.0%	2 14.3%	3 21.4%	2 14.3%	1 7.1%		
	無回答	6 -	3 50.0%	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%		

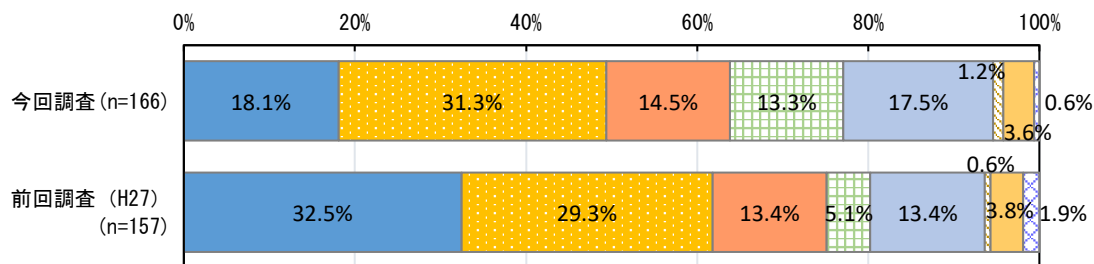
## (2) 関係団体

※問1～3は省略

### 問4 貴団体が主に活動している地区はどこですか。(1つに○)

主に活動している地区については、「小川地区」31.3%が最も高く、次いで「町内全域」18.1%、「八和田地区」17.5%となっている。

■町内全域 ■小川地区 ■大河地区 ■竹沢地区 ■八和田地区 ■東小川地区 ■みどりが丘地区 ■無回答

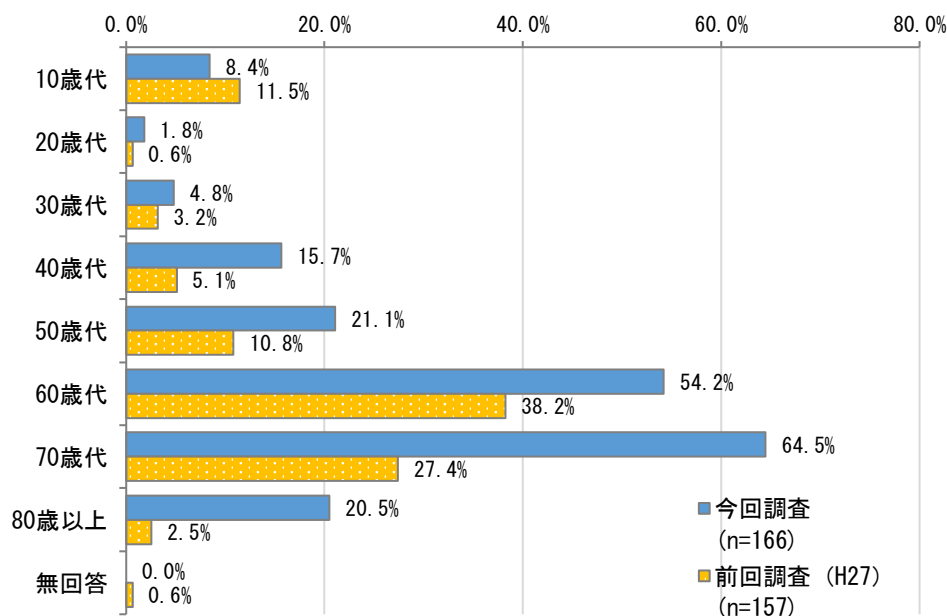


小数点第2位を四捨五入しているため、合計は100%と一致しない場合がある		サンプル数	町内全域	小川地区	大河地区	竹沢地区	八和田地区	東小川地区	みどりが丘地区	無回答
■ 上位1項目										
今回調査		166	30	52	24	22	29	2	6	1
		100.0%	18.1%	31.3%	14.5%	13.3%	17.5%	1.2%	3.6%	0.6%
前回調査(H27)		157	51	46	21	8	21	1	6	3
		100.0%	32.5%	29.3%	13.4%	5.1%	13.4%	0.6%	3.8%	1.9%
会員数	9人以下	85	12	26	15	14	17	0	1	0
		100.0%	14.1%	30.6%	17.6%	16.5%	20.0%	0.0%	1.2%	0.0%
	10～19人	62	13	19	7	8	7	2	5	1
		100.0%	21.0%	30.6%	11.3%	12.9%	11.3%	3.2%	8.1%	1.6%
	20～49人	17	5	5	2	0	5	0	0	0
	100.0%	29.4%	29.4%	11.8%	0.0%	29.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
50人以上	2	0	2	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

問5 貴団体の会員構成としては、どの年代が多いですか。(あてはまるものすべてに○)

会員構成はどの年代が多いかについて、「70歳代」64.5%が最も高く、次いで「60歳代」54.2%、「50歳代」21.1%となっている。

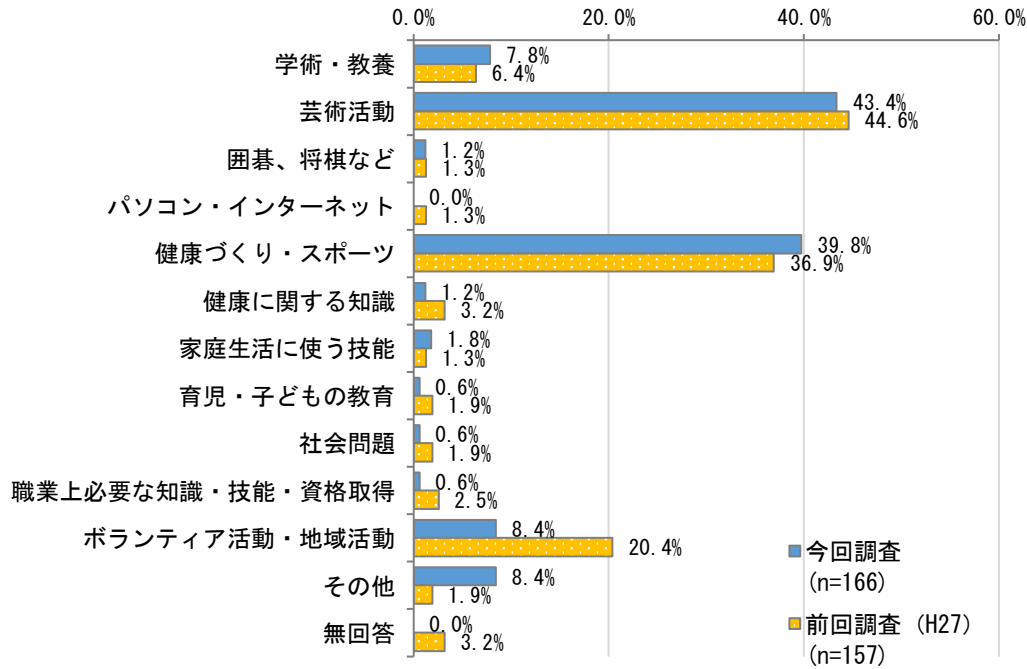
前回調査と比較すると、10歳代を除く全ての項目で増加しており、60歳代は16.0ポイント、70歳代は37.1ポイント増加している。



複数回答のため 合計は100%に ならない		サ ン プ ル 数	1 0 歳 代	2 0 歳 代	3 0 歳 代	4 0 歳 代	5 0 歳 代	6 0 歳 代	7 0 歳 代	8 0 歳 以 上	無 回 答
上段: 回答者数	下段: 構成比										
今回調査	166	14 8.4%	3 1.8%	8 4.8%	26 15.7%	35 21.1%	90 54.2%	107 64.5%	34 20.5%	0 0.0%	
前回調査(H27)	157	18 11.5%	1 0.6%	5 3.2%	8 5.1%	17 10.8%	60 38.2%	43 27.4%	4 2.5%	1 0.6%	
会員数	9人以下	85	1 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	9 10.6%	12 14.1%	42 49.4%	61 71.8%	20 23.5%	0 0.0%
	10～19人	62	9 14.5%	1 1.6%	4 6.5%	11 17.7%	18 29.0%	38 61.3%	38 61.3%	13 21.0%	0 0.0%
	20～49人	17	4 23.5%	1 5.9%	4 23.5%	4 23.5%	4 23.5%	9 52.9%	7 41.2%	1 5.9%	0 0.0%
	50人以上	2	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	0	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
活動地区	町内全域	30	2 6.7%	0 0.0%	1 3.3%	3 10.0%	4 13.3%	19 63.3%	17 56.7%	9 30.0%	0 0.0%
	小川地区	52	5 9.6%	3 5.8%	4 7.7%	8 15.4%	13 25.0%	27 51.9%	35 67.3%	9 17.3%	0 0.0%
	大河地区	24	3 12.5%	0 0.0%	1 4.2%	4 16.7%	8 33.3%	18 75.0%	15 62.5%	2 8.3%	0 0.0%
	竹沢地区	22	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 13.6%	2 9.1%	11 50.0%	17 77.3%	5 22.7%	0 0.0%
	八和田地区	29	1 3.4%	0 0.0%	1 3.4%	5 17.2%	6 20.7%	11 37.9%	19 65.5%	8 27.6%	0 0.0%
	東小川地区	2	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	みどりが丘地区	6	2 33.3%	0 0.0%	1 16.7%	2 33.3%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%
	無回答	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%

問6 貴団体の活動分野はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

活動分野はどのようなものかについては、「芸術活動」43.4%が最も高く、次いで「健康づくり・スポーツ」39.8%、「ボランティア活動・地域活動」、「その他」がいずれも8.4%となっている。前回調査と比較すると、「ボランティア活動・地域活動」は12.0ポイント減少した一方、「その他」は6.5ポイント増加している。



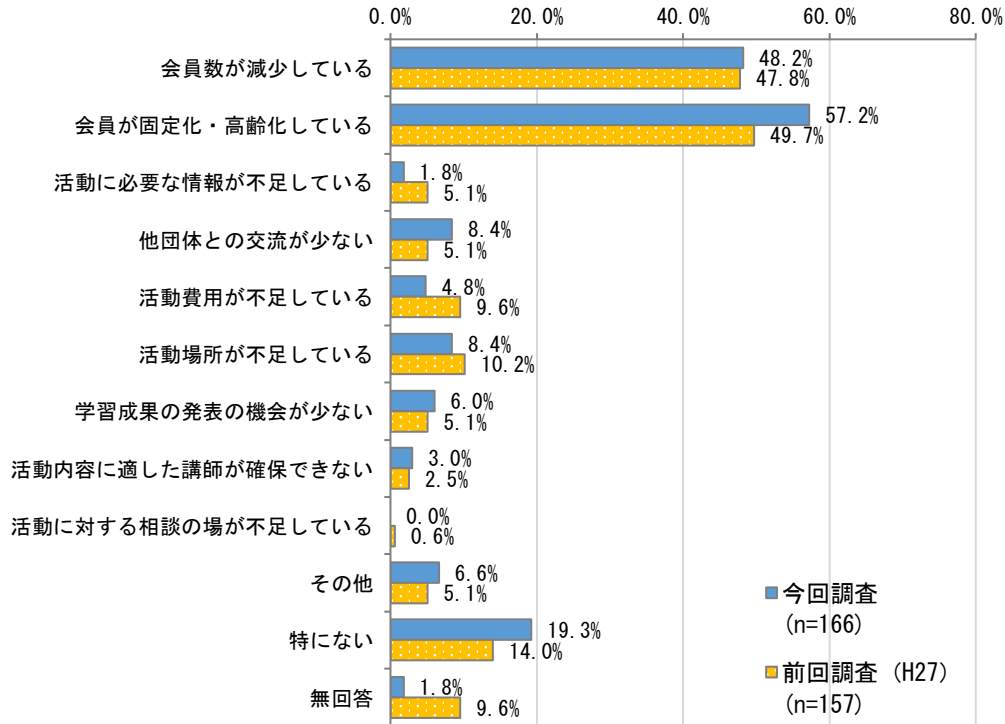
複数回答のため 合計は100%に ならない	サンプル数	学術・教養	芸術活動	囲碁、将棋など	パソコン・インターネット	健康づくり・スポーツ	健康に関する知識	家庭生活に使う技能	育児・子どもの教育	社会問題	職業上必要な知識・技能・資格取得	ボランティア活動・地域活動	その他	無回答
		上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比	上段: 回答者数 下段: 構成比
上段1項目														
今回調査	166	13 7.8%	72 43.4%	2 1.2%	0 0.0%	66 39.8%	2 1.2%	3 1.8%	1 0.6%	1 0.6%	1 0.6%	14 8.4%	14 8.4%	0 0.0%
前回調査 (H27)	157	10 6.4%	70 44.6%	2 1.3%	2 1.3%	58 36.9%	5 3.2%	2 1.3%	3 1.9%	3 1.9%	4 2.5%	32 20.4%	3 1.9%	5 3.2%
会員数	9人以下	85 10.6%	9 10.6%	47 55.3%	0 0.0%	0 0.0%	21 24.7%	2 2.4%	1 1.2%	0 0.0%	1 1.2%	14 9.4%	8 9.4%	0 0.0%
	10~19人	62 6.5%	4 6.5%	22 35.5%	2 3.2%	0 0.0%	33 53.2%	0 0.0%	1 1.6%	1 1.6%	0 0.0%	3 4.8%	2 3.2%	0 0.0%
	20~49人	17 0.0%	0 0.0%	3 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	10 58.8%	0 0.0%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 17.6%	4 23.5%	0 0.0%
	50人以上	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
活動地区	町内全域	30 10.0%	3 10.0%	14 46.7%	2 6.7%	0 0.0%	7 23.3%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.3%	1 3.3%	7 23.3%	3 10.0%	0 0.0%
	小川地区	52 9.6%	5 9.6%	24 46.2%	0 0.0%	0 0.0%	25 48.1%	1 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 9.6%	1 1.9%	0 0.0%
	大河地区	24 8.3%	2 8.3%	5 20.8%	0 0.0%	0 0.0%	13 54.2%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	5 20.8%	0 0.0%
	竹沢地区	22 4.5%	1 4.5%	11 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	7 31.8%	0 0.0%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 9.1%	0 0.0%
	八和田地区	29 6.9%	2 6.9%	17 58.6%	0 0.0%	0 0.0%	6 20.7%	0 0.0%	2 6.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.4%	3 10.3%	0 0.0%
	東小川地区	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	みどりが丘地区	6 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	5 83.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	1 -	0 -	0 -	0 -	0 -	1 100.0%	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -

問7 活動上の課題(困っていることなど)はどのようなことですか。

(あてはまるものすべてに○)

活動上の課題については、「会員が固定化・高齢化している」57.2%が最も高く、次いで「会員数が減少している」48.2%、「特にない」19.3%となっている。

前回調査と比較すると、「会員が固定化・高齢化している」は7.5ポイント増加している。

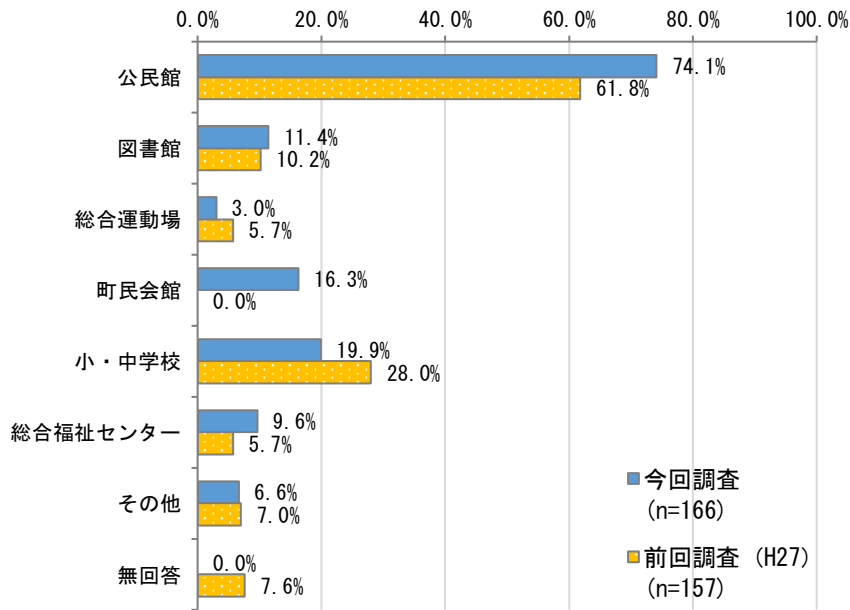


複数回答のため 合計は100%に ならない  上段: 回答者数 下段: 構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	る	化	不	な	い	活	活	学	師	場	活	そ	特	無
		会員 数が 減少 して い	会員 が固 定化 ・高 齢	活動 に必 要な 情報 が	他団 体と の交 流が 少	活動 費用 が不 足し て	活動 場所 が不 足し て	習成 果の 発表 の機	活動 内容 に適 した 講	活動 に對 する 相談 の	他	特 に な い	回 答		
今回調査	166	80 48.2%	95 57.2%	3 1.8%	14 8.4%	8 4.8%	14 8.4%	10 6.0%	5 3.0%	0 0.0%	11 6.6%	32 19.3%	3 1.8%		
前回調査 (H27)	157	75 47.8%	78 49.7%	8 5.1%	8 5.1%	15 9.6%	16 10.2%	8 5.1%	4 2.5%	1 0.6%	8 5.1%	22 14.0%	15 9.6%		
会員数	9人以下	85 51.8%	44 67.1%	1 1.2%	7 8.2%	3 3.5%	6 7.1%	4 4.7%	3 3.5%	0 0.0%	7 8.2%	12 14.1%	0 0.0%		
	10~19人	62 50.0%	31 54.8%	2 3.2%	6 9.7%	3 4.8%	5 8.1%	6 9.7%	2 3.2%	0 0.0%	2 3.2%	13 21.0%	2 3.2%		
	20~49人	17 29.4%	5 23.5%	4 0.0%	1 5.9%	2 11.8%	3 17.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 11.8%	5 29.4%	1 5.9%		
	50人以上	2 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	
	無回答	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	
活動地区	町内全域	30 40.0%	12 50.0%	1 3.3%	3 10.0%	2 6.7%	5 16.7%	2 6.7%	1 3.3%	0 0.0%	1 3.3%	7 23.3%	0 0.0%		
	小川地区	52 48.1%	25 59.6%	0 0.0%	4 7.7%	2 3.8%	5 9.6%	6 11.5%	1 1.9%	0 0.0%	4 7.7%	8 15.4%	2 3.8%		
	大河地区	24 62.5%	15 54.2%	0 0.0%	3 12.5%	2 8.3%	3 12.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	4 16.7%	3 12.5%	0 0.0%		
	竹沢地区	22 40.9%	9 63.6%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	1 4.5%	1 4.5%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	6 27.3%	0 0.0%		
	八和田地区	29 51.7%	15 58.6%	1 3.4%	4 13.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 6.9%	0 0.0%	0 0.0%	6 20.7%	1 3.4%		
	東小川地区	2 50.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%		
	みどりが丘地区	6 50.0%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	1 16.7%	0 0.0%		
	無回答	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%		

問8 町の生涯学習関連施設のうち、団体活動でよく利用するものはどれですか。  
(主なもの2つに○)

生涯学習関連施設のうち、団体活動でよく利用するものについては、「公民館」74.1%が最も高く、次いで「小・中学校」19.9%、「町民会館」16.3%となっている。

前回調査と比較すると、「小・中学校」は8.1ポイント減少した一方、「公民館」は12.3ポイント増加している。



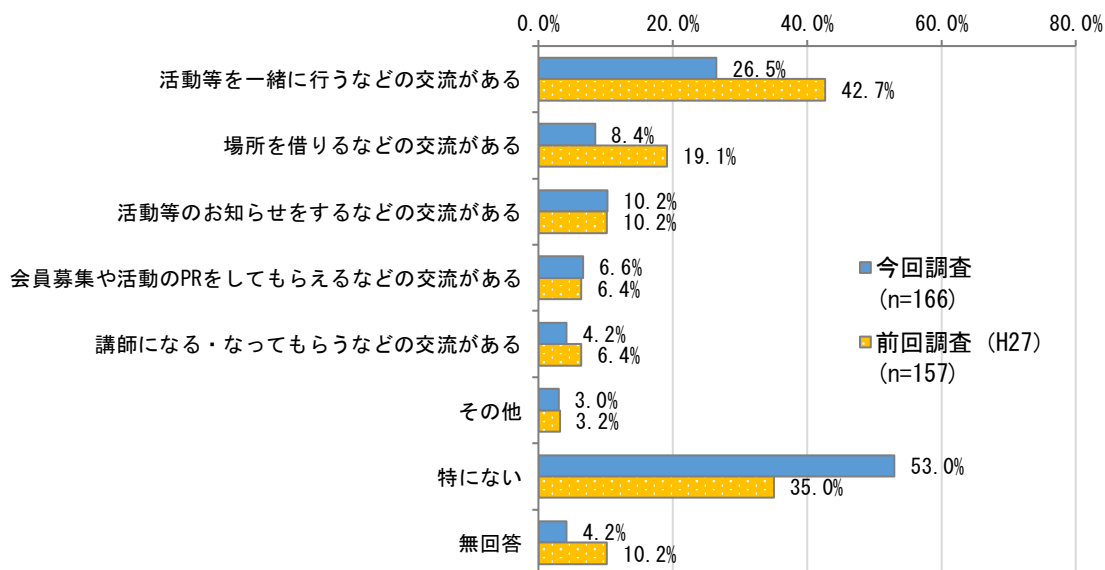
		サンプル数	公民館	図書館	総合運動場	町民会館	小・中学校	総合福祉センター	その他	無回答
複数回答のため合計は100%にならない										
上段: 回答者数 下段: 構成比										
■ 上位1項目										
今回調査		166	123 74.1%	19 11.4%	5 3.0%	27 16.3%	33 19.9%	16 9.6%	11 6.6%	0 0.0%
前回調査(H27)		157	97 61.8%	16 10.2%	9 5.7%	-	44 28.0%	9 5.7%	11 7.0%	12 7.6%
会員数	9人以下	85	73 85.9%	8 9.4%	0 0.0%	16 18.8%	3 3.5%	11 12.9%	5 5.9%	0 0.0%
	10～19人	62	39 62.9%	8 12.9%	3 4.8%	8 12.9%	23 37.1%	3 4.8%	5 8.1%	0 0.0%
	20～49人	17	11 64.7%	3 17.6%	2 11.8%	3 17.6%	5 29.4%	2 11.8%	1 5.9%	0 0.0%
	50人以上	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
活動地区	町内全域	30	25 83.3%	8 26.7%	1 3.3%	5 16.7%	3 10.0%	4 13.3%	0 0.0%	0 0.0%
	小川地区	52	29 55.8%	3 5.8%	2 3.8%	15 28.8%	12 23.1%	7 13.5%	8 15.4%	0 0.0%
	大河地区	24	18 75.0%	1 4.2%	0 0.0%	3 12.5%	6 25.0%	4 16.7%	2 8.3%	0 0.0%
	竹沢地区	22	21 95.5%	3 13.6%	1 4.5%	2 9.1%	1 4.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	八和田地区	29	26 89.7%	4 13.8%	1 3.4%	2 6.9%	4 13.8%	0 0.0%	1 3.4%	0 0.0%
	東小川地区	2	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	みどりが丘地区	6	2 33.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	5 83.3%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

## 2. 貴団体の活動に関する現況や今後の意向について

問9 貴団体では、地域の他団体や個人との交流がありますか。(あてはまるものすべてに○)

地域の他団体や個人との交流があるかについては、「特にない」53.0%が最も高く、次いで「活動等と一緒にいるなどの交流がある」26.5%、「活動等のお知らせをするなどの交流がある」10.2%となっている。

前回調査と比較すると、「活動等と一緒にいるなどの交流がある」、「場所を借りるなどの交流がある」は10ポイント以上減少した一方、「特にない」は18ポイント増加している。

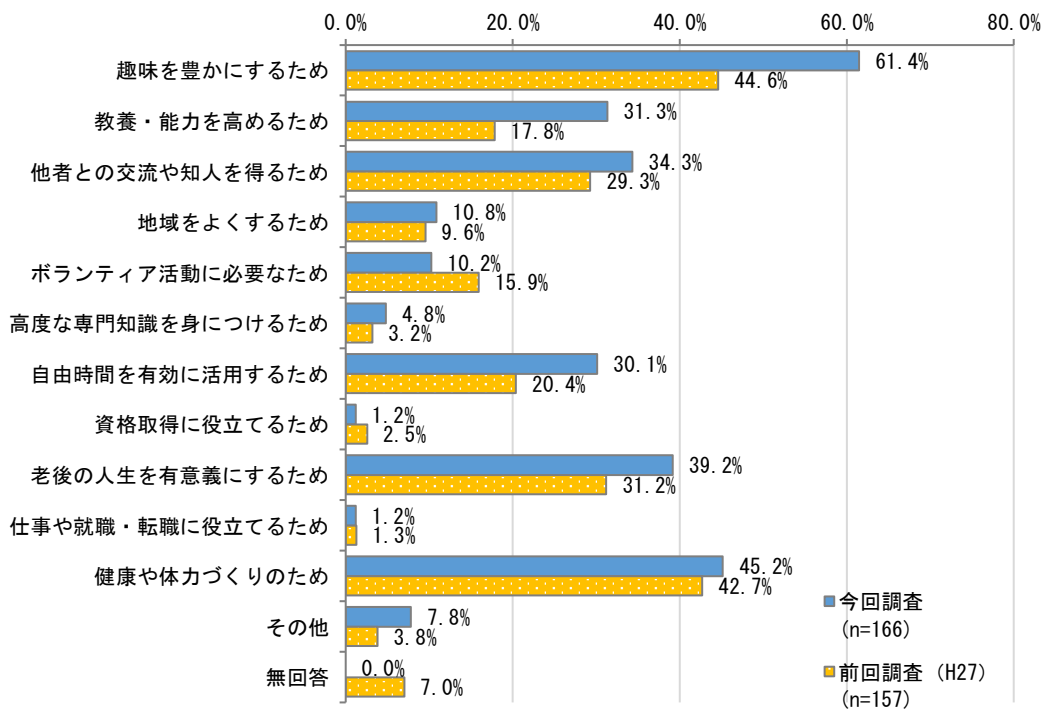


複数回答のため 合計は100%に ならない  上段: 回答者数 下段: 構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	活動等と一緒に いるなどの 交流がある	場所を借り るなどの 交流がある	活動等のお 知らせがあ る	PRをして もらえなど の交流があ る	会員募集 や活動の PRをする などの交 流がある	講師にな るなどの 交流があ る	その他	特にな い	無回 答
		回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数	構成比	回答者数
今回調査	166	44 26.5%	14 8.4%	17 10.2%	11 6.6%	7 4.2%	5 3.0%	88 53.0%	7 4.2%	
前回調査(H27)	157	67 42.7%	30 19.1%	16 10.2%	10 6.4%	10 6.4%	5 3.2%	55 35.0%	16 10.2%	
会員数	9人以下	85 20.0%	7 8.2%	6 7.1%	4 4.7%	2 2.4%	4 4.7%	51 60.0%	4 4.7%	
	10～19人	62 29.0%	18 8.1%	7 11.3%	7 6.5%	4 8.1%	5 0.0%	31 50.0%	2 3.2%	
	20～49人	17 41.2%	7 11.8%	2 23.5%	3 17.6%	0 0.0%	1 5.9%	6 35.3%	1 5.9%	
	50人以上	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
活動地区	町内全域	30 26.7%	8 3.3%	5 16.7%	3 10.0%	3 10.0%	0 0.0%	16 53.3%	1 3.3%	
	小川地区	52 28.8%	15 5.8%	3 5.8%	3 5.8%	0 0.0%	2 3.8%	29 55.8%	2 3.8%	
	大河地区	24 25.0%	6 20.8%	5 12.5%	1 4.2%	3 12.5%	0 0.0%	8 33.3%	2 8.3%	
	竹沢地区	22 27.3%	6 4.5%	1 4.5%	1 4.5%	0 0.0%	1 4.5%	13 59.1%	2 9.1%	
	八和田地区	29 20.7%	6 10.3%	3 13.8%	4 6.9%	2 3.4%	1 6.9%	17 58.6%	0 0.0%	
	東小川地区	2 0.0%	0 50.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	
	みどりが丘地区	6 50.0%	3 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	
	無回答	1 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	

問10 貴団体の活動目的は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

活動目的について、「趣味を豊かにするため」61.4%が最も高く、次いで「健康や体力づくりのため」45.2%、「老後の人生を有意義にするため」39.2%となっている。

前回調査と比較すると、「ボランティア活動に必要なため」、「資格取得に役立てるため」、「仕事や就職・転職に役立てるため」を除く全ての項目で増加しており、「趣味を豊かにするため」、「教養・能力を高めるため」はいずれも13ポイント以上増加している。

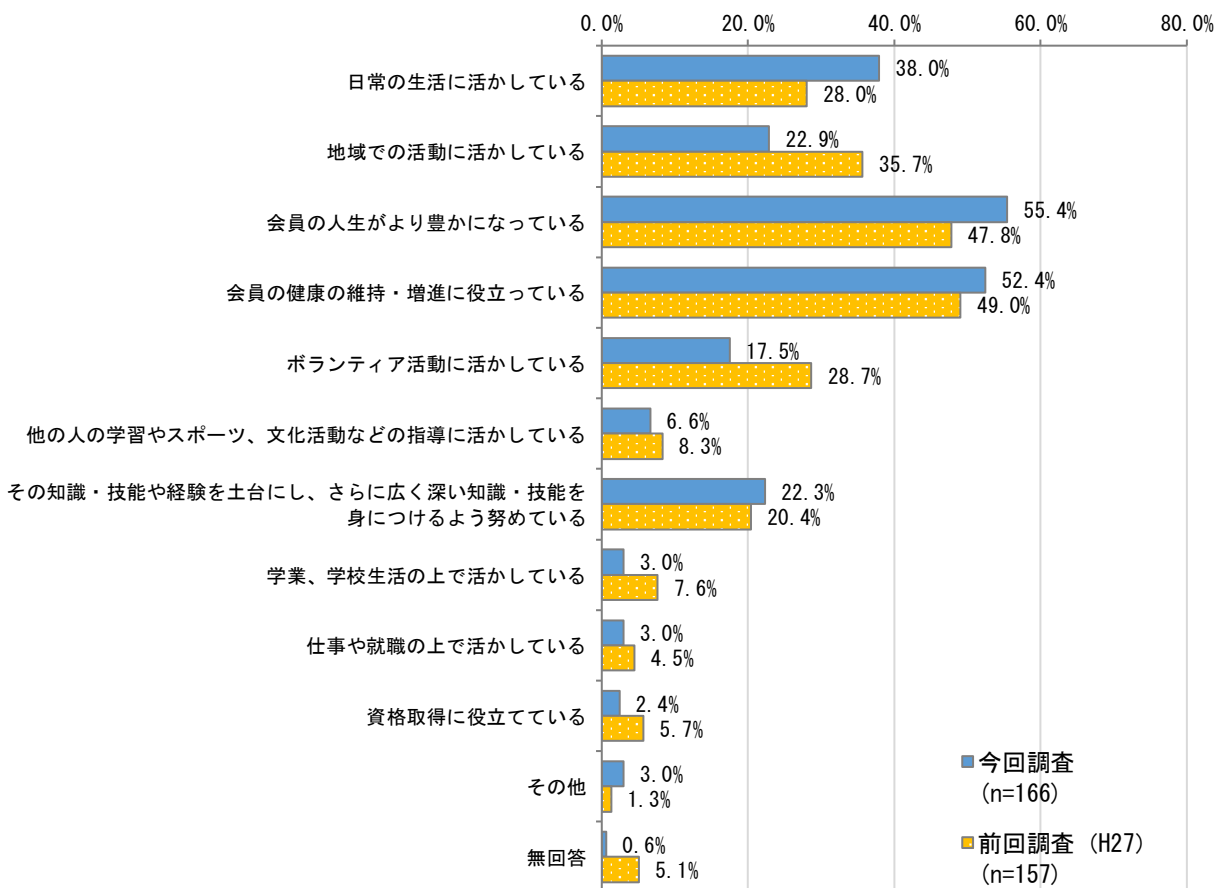


複数回答のため 合計は100%に ならない  上段:回答者数 下段:構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	趣味を豊かにするた	ため教養・能力を高める	を他者との交流や知人	地域をよくするため	必要ボランティア活動に	に高度な専門知識を身	用自由時間を有効に活	ため資格取得に役立てる	に老後の人生を有意義	役立仕事や就職・転職に	ため健康や体力づくりの	その他	無回答	
		め	め	め	め	め	め	め	め	め	め	め	め	め	
今回調査	166	102 61.4%	52 31.3%	57 34.3%	18 10.8%	17 10.2%	8 4.8%	50 30.1%	2 1.2%	65 39.2%	2 1.2%	75 45.2%	13 7.8%	0 0.0%	
前回調査 (H27)	157	70 44.6%	28 17.8%	46 29.3%	15 9.6%	25 15.9%	5 3.2%	32 20.4%	4 2.5%	49 31.2%	2 1.3%	67 42.7%	6 3.8%	11 7.0%	
会員数	9人以下	85	56 65.9%	24 28.2%	22 25.9%	5 5.9%	10 11.8%	2 2.4%	26 30.6%	1 1.2%	33 38.8%	1 1.2%	31 36.5%	9 10.6%	0 0.0%
	10~19人	62	35 56.5%	21 33.9%	22 35.5%	6 9.7%	3 4.8%	3 4.8%	19 30.6%	1 1.6%	27 43.5%	0 0.0%	34 54.8%	2 3.2%	0 0.0%
	20~49人	17	10 58.8%	7 41.2%	12 70.6%	6 35.3%	4 23.5%	3 17.6%	5 29.4%	0 0.0%	5 29.4%	1 5.9%	8 47.1%	2 11.8%	0 0.0%
	50人以上	2	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
活動地区	町内全域	30	18 60.0%	13 43.3%	9 30.0%	4 13.3%	7 23.3%	3 10.0%	7 23.3%	1 3.3%	12 40.0%	1 3.3%	9 30.0%	5 16.7%	0 0.0%
	小川地区	52	34 65.4%	15 28.8%	20 38.5%	6 11.5%	4 7.7%	2 3.8%	15 28.8%	1 1.9%	20 38.5%	1 1.9%	26 50.0%	3 5.8%	0 0.0%
	大河地区	24	12 50.0%	5 20.8%	6 25.0%	4 16.7%	1 4.2%	2 8.3%	7 29.2%	0 0.0%	10 41.7%	0 0.0%	15 62.5%	2 8.3%	0 0.0%
	竹沢地区	22	15 68.2%	5 22.7%	8 36.4%	0 0.0%	3 13.6%	0 0.0%	9 40.9%	0 0.0%	10 45.5%	0 0.0%	10 45.5%	0 0.0%	0 0.0%
	八和田地区	29	21 72.4%	12 41.4%	11 37.9%	3 10.3%	2 6.9%	1 3.4%	11 37.9%	0 0.0%	10 34.5%	0 0.0%	8 27.6%	3 10.3%	0 0.0%
	東小川地区	2	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	2 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
	みどりが丘地区	6	2 33.3%	2 33.3%	3 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	2 33.3%	0 0.0%	4 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

問11 貴団体(会員)では、身につけたことや活動成果をどのように活かしていますか。  
(あてはまるものすべてに○)

身につけたことや活動成果をどのように活かしているかについては、「会員の人生がより豊かになっている」55.4%が最も高く、次いで「会員の健康の維持・増進に役立っている」52.4%、「日常の生活に活かしている」38.0%となっている。

前回調査と比較すると、「地域での活動に活かしている」、「ボランティア活動に活かしている」は11ポイント以上減少した一方、「日常の生活に活かしている」、「会員の人生がより豊かになっている」は7ポイント以上増加している。



複数回答のため 合計は100%に ならない  上段: 回答者数 下段: 構成比  上位1項目		サンプル数	日常生活に活かしている	地域での活動に活かしている	会員の人生がより豊かになっている	会員の健康の維持・増進に役立っている	ボランティア活動に活かしている	他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に活かしている	その知識・技能や経験を土台にし、さらに広く深い知識・技能を身につけるよう努めている	学業、学校生活の上で活かしている	仕事や就職の上で活かしている	資格取得に役立っている	その他	無回答
今回調査	166	63 38.0%	38 22.9%	92 55.4%	87 52.4%	29 17.5%	11 6.6%	37 22.3%	5 3.0%	5 3.0%	4 2.4%	5 3.0%	1 0.6%	
前回調査(H27)	157	44 28.0%	56 35.7%	75 47.8%	77 49.0%	45 28.7%	13 8.3%	32 20.4%	12 7.6%	7 4.5%	9 5.7%	2 1.3%	8 5.1%	
会員数	9人以下	85	31 36.5%	22 25.9%	47 55.3%	37 43.5%	15 17.6%	2 2.4%	17 20.0%	0 0.0%	2 2.4%	1 1.2%	5 5.9%	0 0.0%
	10～19人	62	23 37.1%	13 21.0%	33 53.2%	39 62.9%	9 14.5%	5 8.1%	12 19.4%	4 6.5%	1 1.6%	2 3.2%	0 0.0%	1 1.6%
	20～49人	17	9 52.9%	3 17.6%	10 58.8%	10 58.8%	5 29.4%	3 17.6%	8 47.1%	1 5.9%	2 11.8%	1 5.9%	0 0.0%	0 0.0%
	50人以上	2	0 0.0%	0 0.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	0	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
活動地区	町内全域	30	8 26.7%	11 36.7%	16 53.3%	12 40.0%	10 33.3%	2 6.7%	8 26.7%	1 3.3%	0 0.0%	2 6.7%	1 3.3%	0 0.0%
	小川地区	52	20 38.5%	10 19.2%	34 65.4%	30 57.7%	9 17.3%	3 5.8%	9 17.3%	2 3.8%	3 5.8%	2 3.8%	1 1.9%	0 0.0%
	大河地区	24	10 41.7%	8 33.3%	12 50.0%	14 58.3%	3 12.5%	1 4.2%	5 20.8%	1 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.2%	0 0.0%
	竹沢地区	22	8 36.4%	2 9.1%	9 40.9%	13 59.1%	3 13.6%	0 0.0%	6 27.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 4.5%	1 4.5%
	八和田地区	29	14 48.3%	5 17.2%	16 55.2%	11 37.9%	3 10.3%	2 6.9%	8 27.6%	0 0.0%	2 6.9%	0 0.0%	1 3.4%	0 0.0%
	東小川地区	2	0 0.0%	1 50.0%	1 50.0%	2 100.0%	1 50.0%	0 0.0%	1 50.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	みどりが丘地区	6	2 33.3%	1 16.7%	4 66.7%	4 66.7%	0 0.0%	3 50.0%	0 0.0%	1 16.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	無回答	1	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

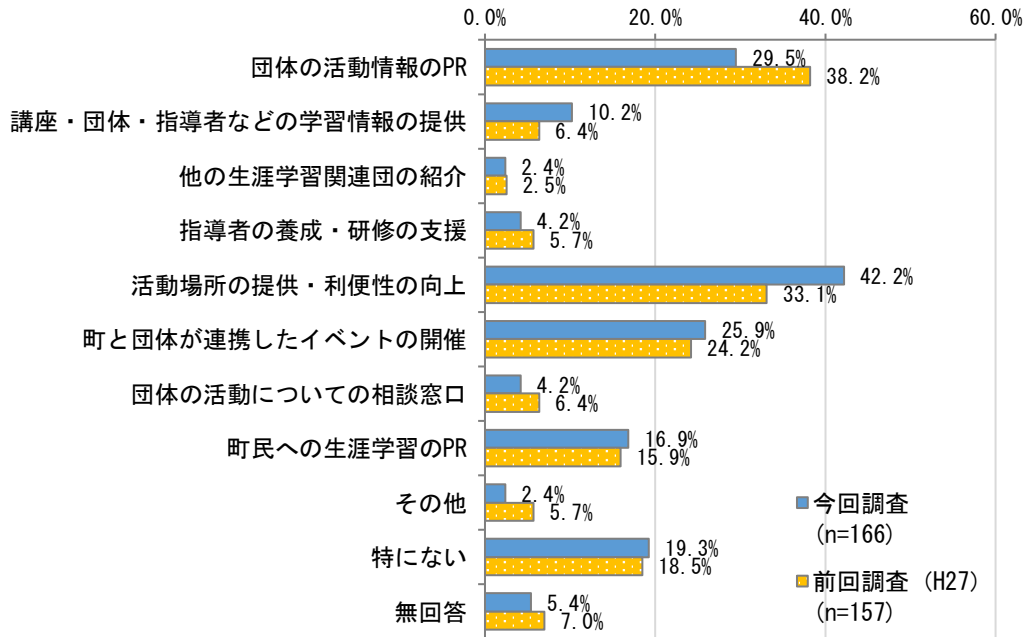
第6章

第7章

問12 貴団体が活動を展開していく上で町に望むことはどのようなことですか。  
(あてはまるものすべてに○)

活動を展開していく上で町に望むことはどのようなことかについては、「活動場所の提供・利便性の向上」42.2%が最も高く、次いで「団体の活動情報のPR」29.5%、「町と団体が連携したイベントの開催」25.9%となっている。

前回調査と比較すると、「団体の活動情報のPR」は8.7ポイント減少した一方、「活動場所の提供・利便性の向上」は9.1ポイント増加している。



複数回答のため 合計は100%に ならない  上段:回答者数 下段:構成比  ■ 上位1項目	サンプル数	P 団体の活動情報のPR	講座・団体・指導者などの学習情報の提供	他の生涯学習関連団体の紹介	指導者の養成・研修の支援	活動場所の提供・利便性の向上	町と団体が連携したイベントの開催	団体の活動についての相談窓口	P 町民への生涯学習のPR	その他	特にない	無回答	
		今回調査	今回調査	今回調査	今回調査	今回調査	今回調査	今回調査	今回調査	今回調査	今回調査	今回調査	今回調査
	166	49	17	4	7	70	43	7	28	4	32	9	
	-	29.5%	10.2%	2.4%	4.2%	42.2%	25.9%	4.2%	16.9%	2.4%	19.3%	5.4%	
	157	60	10	4	9	52	38	10	25	9	29	11	
	-	38.2%	6.4%	2.5%	5.7%	33.1%	24.2%	6.4%	15.9%	5.7%	18.5%	7.0%	
会員数	9人以下	85	24	10	1	1	29	19	2	12	2	21	4
	-	-	28.2%	11.8%	1.2%	1.2%	34.1%	22.4%	2.4%	14.1%	2.4%	24.7%	4.7%
	10~19人	62	20	6	2	3	29	20	4	12	1	8	5
	-	-	32.3%	9.7%	3.2%	4.8%	46.8%	32.3%	6.5%	19.4%	1.6%	12.9%	8.1%
	20~49人	17	5	1	1	3	10	4	1	3	1	3	0
-	-	29.4%	5.9%	5.9%	17.6%	58.8%	23.5%	5.9%	17.6%	5.9%	17.6%	0.0%	
50人以上	2	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	
-	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
活動地区	町内全域	30	13	3	1	2	11	12	2	6	1	5	2
	-	-	43.3%	10.0%	3.3%	6.7%	36.7%	40.0%	6.7%	20.0%	3.3%	16.7%	6.7%
	小川地区	52	12	5	3	1	26	12	2	8	3	10	2
	-	-	23.1%	9.6%	5.8%	1.9%	50.0%	23.1%	3.8%	15.4%	5.8%	19.2%	3.8%
	大河地区	24	9	3	0	2	11	7	0	6	0	2	0
	-	-	37.5%	12.5%	0.0%	8.3%	45.8%	29.2%	0.0%	25.0%	0.0%	8.3%	0.0%
	竹沢地区	22	7	5	0	1	7	4	1	3	0	4	3
	-	-	31.8%	22.7%	0.0%	4.5%	31.8%	18.2%	4.5%	13.6%	0.0%	18.2%	13.6%
八和田地区	29	5	1	0	1	9	6	2	3	0	11	1	
-	-	17.2%	3.4%	0.0%	3.4%	31.0%	20.7%	6.9%	10.3%	0.0%	37.9%	3.4%	
東小川地区	2	1	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	
-	-	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
みどりが丘地区	6	2	0	0	0	4	1	0	2	0	0	0	
-	-	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
-	-	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	

## 2 小川町生涯学習推進計画策定会議委員名簿

No.	氏名	所属	備考
1	原 真佐巳	小学校長代表（八和田小学校校長）	
2	大野 光男	中学校長代表（小川中学校校長）	
3	島田 かおり	小・中学校PTA代表（竹沢小学校）	
4	永井 良文	社会教育団体代表（小川町スポーツ少年団）	
5	加藤 正見	社会教育団体代表（大河郷流鏝馬保存会）	
6	島田 隆久	学識経験者	会長
7	岩田 孝雄	学識経験者	
8	山村 秀昭	学識経験者	副会長
9	内村 久子	学識経験者	
10	葦塚 雄一	学識経験者	
11	小栗 真紀	学識経験者	
12	内川 文子	学識経験者	
13	安藤 洋子	学識経験者	

## 第 4 次小川町生涯学習推進計画

---

小川町教育委員会 生涯学習課  
〒355-0392 埼玉県比企郡小川町大字大塚 55 番地  
TEL:0493-72-1221(代) FAX:0493-72-7144  
E-mail:ogawa117@town.saitama-ogawa.lg.jp



